

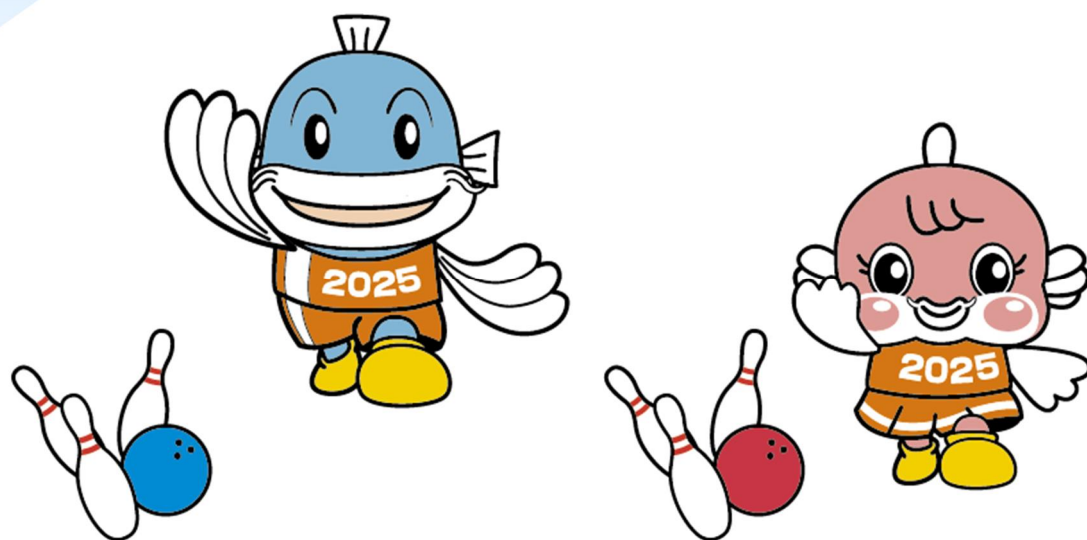


湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ

第79回国民スポーツ大会 2025

ボウリング競技会



2025年9月29日(月)～10月3日(金)

ラピュタボウル彦根

主催：  公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省

公益財団法人 JAPAN BOWLING

滋賀県・彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町

主管：滋賀県ボウリング連盟

国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。

都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストラレーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャッフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャッフィー

「キャッフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャッフィー」に教えてもらっています。

「キャッフィー」と「チャッフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

目 次

あいさつ

公益財団法人 日本スポーツ協会会長	遠藤 利明 . . .	1
文部科学大臣	盛山 正仁 . . .	2
公益財団法人 JAPAN BOWLING 会長	丹羽 秀樹 . . .	3

歓迎のことば

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会会長 滋賀県知事	三日月 大造 . . .	4
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ彦根市実行委員会会長 彦根市長	田島 一成 . . .	5
豊郷町長	伊藤 定勉 . . .	6
甲良町長	寺本 純二 . . .	7
多賀町長	久保 久良 . . .	8
滋賀県ボウリング連盟会長	岸邊 輝彌 . . .	9

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	10
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	11
大会役員	12
競技会役員	16
競技役員	18
競技補助員・競技会係員・競技会補助員	19
総 則	20
実施要項	39
式典日程・表彰式次第	44
競技日程	45
都道府県別参加人数一覧	46
参加監督一覧表	47
競技の見方	48
レーン配当表	49
男女総合成績（天皇杯得点）・女子総合成績（皇后杯得点）一覧表	75
男女総合成績（天皇杯得点）・女子総合成績（皇后杯得点）順位一覧表	76
ボウリング競技規則（抜粋）	77
競技者が国スポの参加資格に違反していることが判明したときの措置	80
J B褒賞	
栄光の記録	81
参考記録（種目別最高得点）	94
会場配置図&会場周辺案内図	95
関係機関連絡先一覧	101

あいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会

会 長 遠 藤 利 明

約 400 万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第 79 回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年 6 月、14 年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和 21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年 3 月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取り組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文 部 科 学 大 臣

あ べ 俊 子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していく素晴らしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様のお支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。

令和7年7月31日



あいさつ

公益財団法人 JAPAN BOWLING

会 長 丹 羽 秀 樹

第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」ボウリング競技が、各都道府県が誇る代表選手の参加のもとに盛大に開催されますことは、この上ない喜びであります。

様々なスポーツのトップアスリートが、都道府県の名誉をかけて天皇杯、皇后杯の獲得を目指す国民スポーツ大会は、国内最高のスポーツイベントであります。昨年「国体」から「国スポ」「JAPAN GAMES」へと名称も新たに生まれ変わり、日本のスポーツの大きな転換点となりました。

ボウリングは、年齢や性別だけでなく、様々な個性を持った人々が、誰でも気軽に楽しくプレーできるスポーツです。国スポと時を同じくして、JAPAN BOWLING も昨年「全日本ボウリング協会」から名称を変更いたしました。国スポの正式競技であることは、ボウリングがれっきとしたスポーツであることの証明であり、ゆえにトップアスリートボウラーは国スポを目指します。

晴れて出場を果たした選手の皆様が、「わた SHIGA 輝く国スポ」の愛称のとおり、この国スポの舞台で最高の輝きを放ち、人々に感動を与えてくれることを願って止みません。郷土の方々の声援を力に変え、頼もしい仲間たちとともに、栄光をつかんでください。

終わりに、国民スポーツ大会の開催のため、長い年月をかけて準備を進められました滋賀県、彦根市の皆様、ボランティアの皆様、会場のラピュタボウル彦根様と、主管の滋賀県ボウリング連盟、ならびにご支援、ご協力下さいました方々に厚く御礼を申し上げ、あいさついたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長

滋賀県知事 三 日 月 大 造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしてまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ彦根市実行委員会会長
彦根市長 田 島 一 成

「わた SHIGA 輝く国スポ」ボウリング競技会が、ここ彦根市において盛大に開催できますことを大変うれしく思いますとともに、全国各地からお越しいただきました選手、監督、関係者の皆様を、彦根市民を代表して心から歓迎申し上げます。

滋賀県における国スポ開催は、昭和 56 年の第 36 回国民体育大会「びわこ国体」以来、44 年ぶり 2 回目で、彦根市では初めての開催となるボウリング競技を始め、5 つの正式競技を開催いたします。

中でもボウリングは、わずかなフォームの違いや力加減が結果に大きく影響し、精密な技術が求められるとともに、一投ごとに集中力と冷静さといった高い精神性が必要とされる繊細で奥深い競技であります。出場される選手の皆様は、本大会への出場に向け、技術と精神の鍛錬に励んでこられたことと思いますが、皆様がその成果を十分に発揮され、記憶に残る熱戦が繰り広げられることを期待しております。

本市では、全国からお越しになる皆様を温かくお迎えし、滋賀県での国スポがいつまでも思い出に残る、心のこもった大会になるよう、市民と一体となって最大限のおもてなしができるよう努めてまいります。

また、国宝彦根城をはじめとする歴史的な資産や琵琶湖畔の美しい景観など多くの観光資産を有するとともに、近江牛や湖魚、近江米などすばらしい食をご賞味いただけますので、皆様、是非、この機会に彦根をご堪能いただき、城下町の魅力を感じていただければ幸いです。

結びになりますが、本競技会の開催にあたりご尽力を賜りました関係者の皆様に、心より感謝を申し上げますとともに、選手の皆様のご活躍をご祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

豊 郷 町 長 伊 藤 定 勉

第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」において、ボウリング競技が盛大に開催できますことを心よりお祝い申し上げます。

また、全国各地から参加される選手・役員の皆さま、監督・コーチ、ご家族、そして関係者の皆さま、ようこそ滋賀県へお越しくださいました。私たち豊郷町民を代表して、皆さまを心から歓迎いたします。

わた SHIGA 輝く国スポ ボウリング競技は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会様および公益財団法人 JAPAN BOWLING 様が主催され、競技会場となります「ラピュタボウル彦根」が所在するわた SHIGA 輝く国スポ・障スポ彦根市実行委員会をはじめ、豊郷町、多賀町、甲良町が合同で競技運営に携わりこれまで準備を進めてきました。

豊郷町としましては、来訪される皆さまに心のこもったおもてなしでお迎えし、当大会を通して、滋賀県をはじめ、1市3町の魅力を感じていただければと考えております。

豊郷町には昨年、日本で最初期の地下水を利用したかんがい揚水機場である龍ヶ池揚水機場が世界かんがい施設遺産に登録されました。また、米国人建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズの設計による豊郷小学校旧校舎群があり「白亜の教育殿堂」「東洋一の小学校」として町民に愛されています。この機会にぜひ豊郷町の魅力を体感いただけますと幸いです。

選手の皆さまにおかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域とふれあい、本大会が思い出に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと存じます。

結びに、開催にご尽力いただきました関係者の方々に深く敬意を表しますとともに、本大会のご成功ならびに選手の皆さまのご健闘をお祈りいたしまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



甲 良 町 長 寺 本 純 二

国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」ボウリング競技会が、彦根市、豊郷町、多賀町及び甲良町等が力をひとつに合わせ盛大に開催できますことを、大変嬉しく思うとともに、全国各地からお越しいただいた選手・監督、関係者の皆様に心から歓迎申し上げます。

ボウリングは、競技としてはもとより、趣味やレクリエーションなど様々なシーンで楽しまれ、小さなお子さんから高齢者まで老若男女を問わず親しむことのできる国民的なスポーツと言われます。厳しい練習を積み重ねてこられた選手の皆様の熱戦を、地域の皆様と一緒に応援していただき、感動の輪を広げ、ボウリング種目のさらなる普及につながることを期待しています。

甲良町は、会場の彦根市の東に位置し、国宝第1号に指定された「湖東三山西明寺」をはじめ数々の歴史遺産を有し、先の時代に偉業を成し遂げその名を今に残す「三大偉人」の郷土でもあります。また、古くから「甲良の荘」といわれ、稲作中心の農村地帯で、「甲良米」の産地でもあり、豊かな自然環境に囲まれた町です。この機会にぜひ当町の魅力に触れていただけるよう、皆様のお越しをお待ちしています。

結びに、この大会の開催に多大なるご支援、ご協力をいただきました関係者の皆様に、心から感謝申し上げますとともに、本大会の成功と選手の皆様のご健闘をお祈りしまして、歓迎のことばとさせていただきます。

歓迎のことば



多 賀 町 長 久 保 久 良

第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」ボウリング競技会にご参加いただき、誠にありがとうございます。ここに、心より歓迎の意を表します。

本大会は、昭和 56 年以来 44 年ぶりに開催され、全国各地から選手や役員の皆様をお迎えできることを大変嬉しく思っております。

多賀町は緑濃い鈴鹿山系の山々に抱かれ、芹川、犬上川の清流が広がる自然の宝庫であり、多賀大社をはじめとする文化遺産など、様々な魅力が溢れるまちです。また、これらの自然や文化が共にある暮らしを目指し、行政や住民が一体となって魅力あるまちづくりに励んでいます。

ご参加の皆様には、ぜひこの機会に当町の魅力を存分にご堪能いただき、大会の成果とともにたくさん楽しい思い出をお持ち帰りいただければ幸いです。

本大会は、滋賀県、彦根市、豊郷町、甲良町と協力し、参加されるすべての皆様にとってぬくもりに満ちた心に残る素晴らしい大会となるよう、準備してまいりました。

出場される選手の皆様には、日頃培ってきた力と技を存分に発揮していただくとともに、本大会が皆様にとって更なる飛躍と交流の場となりますことを心より期待しております。私たちの地域の良さを感じていただき、心に残るひとときをお過ごしいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり多大なご尽力を賜りました関係の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘をお祈りし、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



滋賀県ボウリング連盟

会 長 岸 邊 輝 彌

わた SHIGA 輝く国スポ（第 79 回国民スポーツ大会）ボウリング競技会が、全国各地における厳しい予選を勝ち抜かれた選手・役員の皆様をお迎えし、ここ滋賀県彦根市で盛大に開催されます事はこの上ない喜びであり、ご参加いただいた皆様方を心より歓迎申し上げます。

ボウリング競技は、昭和 63 年の 2 巡目京都国体から国民体育大会の正式競技となりました。この国内最高の大会の晴れの舞台で、郷土の栄えある代表として参加された選手各位が、日頃の実力を十分に発揮され、「わた SHIGA 輝く」アスリートとして大きな成果を上げられますよう切に願っております。我々滋賀県ボウリング連盟役員一同、最高のコンディションで競技を行っていただけるよう、万全を期して大会の運営にあたる所存でございます。

この大会を開催するにあたりましては、公益財団法人 JAPANBOWLING、滋賀県、彦根市、豊郷町、甲良町、多賀町をはじめ、ラピュタボウル彦根様、ボランティアの皆様など多くの皆様のご支援、ご協力を賜りながら、準備を進めてまいりました。あらためましてお世話になりました関係各位に厚く御礼申し上げます。

さて、滋賀県は古来から数々の歴史の舞台に登場して参りました。文化財の数も奈良、京都に次いでおり、日本一の湖「琵琶湖」をはじめ、四季折々の素晴らしい景観にも恵まれております。また、ここ彦根市は、幕末の大老井伊直弼の居城である彦根城を中心に世界遺産登録を目指しておりますし、関係の各町にも数々の名所・旧跡が御座います。この機会に、時間の許す限り各市町を散策していただきたいと存じます。

また夕食には、有名な「近江牛」に舌鼓を打っていただけたらとも思います。

終わりにになりましたが、本大会の開催にあたり格別のご支援・ご協力を賜りました関係各位、長期間会場をご提供いただきましたラピュタボウル彦根様に心より御礼申し上げ、歓迎のごあいさつといたします。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

大会役員

2025年7月31日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長	あべ 俊子			
会長	遠藤 利明			
副会長	益子 直美	田中 不二夫	三宮 恵利子	森岡 裕策
	室伏 広治	三日月 大造	河本 英典	
顧問	伊藤 雅俊	森 喜朗	橋本 聖子	安西 孝之
	岡崎 助一	越川 均	坂元 要	勝田 隆
	室伏 由佳	村松 さやか	湯川 和之	植田 実
	櫻井 由香	鹿島 丈博	吉岡 成子	石井 砂織
	笠師 久美子	飯塚 悟	久保 正美	浦 美奈子
	木平 芳定	中嶋 実	小寺 洋	桐木 陽子
	旗生 康之	池田 めぐみ	工藤 保子	久保 直生
	藤田 裕司	藤原 誠	室城 信之	金子 日出澄
	貝瀬 智洋	森 晃	土橋 登志久	石丸 元国
	多氣 洋平	井崎 洋志	鬼頭 有紀子	長谷川 洋子
	吉田 長寿	齋木 尚子	多賀 恒雄	安藤 淳
	上治 丈太郎	湧永 寛仁	上原 絵美	佐藤 健司
	馬場 美香	山口 宏	南 和文	宮永 美寿津
	千田 健一	中里 壮也	岡本 友章	大野 淳
	加藤 出	田村 恒彦	蒔田 実	山崎 勝洋
	浅見 敬子	山口 徹正	田中 伸周	村田 利衛
	建部 彰弘	市野 保己	丸石 博	中村 ゆり子
	齋藤 良太郎	谷田部 和彦	木村 博美	井上 弘
	今川 啓一	近藤 重和	池谷 正成	大澤 明美
	古城 資久	小野 賢二	園山 和夫	中山 俊行
	田中 徹	知念 かおる	出口 弘之	田邊 哲人
	城門 政文	前川 恵	上杉 晃央	布村 幸彦
	茂野 直久	生島 典明	大沢 陽子	谷藤 節雄
	熊谷 幸一	千葉 玲佳	奥山 雅信	酒井 祐一
	藤田 知巳	北條 俊明	田子 昌之	新井 彰
	山崎 成夫	塩見 清仁	田名部 高雄	井出 仁
	今西 博一	中村 宏平	松本 智広	森山 喜博
	南部 則雄	福永 秀樹	高橋 繁浩	山本 健次
	増田 和伯	猪飼 敏之	山本 誠三	松本 恭幸
	船田 一彦	奥田 晃	横尾 英治	小西 慎太郎

近藤 一幸	堂本 ひさ美	河村 祐一	渡邊 浩三
田中 稔	馬越 祐希	青木 章泰	城戸 英敏
藤本 武	小柳 勝彦	辛木 秀子	宮成 康蔵
藤本 格	岩元 幸成	平良 朝治	藤原 正樹
大河原 嘉朗	川上 隆弘	佐藤 廣子	奈良 隆
小菅 司	宇津木 妙子	菊 幸一	小林 久美
寺澤 正孝	山口 純子	武部 新宏	野中 厚彦
金城 泰邦	赤松 健行	増子 宏子	矢野 和彦
茂里 毅	浅野 敦子	有村 治子	上野 賢一郎
大岡 敏孝	嘉田 由紀子	北野 裕子	小寺 裕雄
こやり 隆史	斎藤 アレックス	武村 展英	宮本 和宏
目片 信悟	村井 泰彦	北村 嘉英	小椋 正清
伊藤 定勉	草野 聖地	杉浦 和人	永浜 明子
有森 裕子	鈴木 大地	宮本 恒靖	深澤 祐二
坂田 東一	三須 和泰	仲間 達也	川合 俊一
藤田 直志	三屋 裕子	富山 英明	馬場 益弘
砂岡 良治	金丸 恭文	安道 光二	河田 正也
豊田 章男	千 玄室	中村 真一	牧島 かれん
村井 満	永谷 喜一郎	真砂 威成	土田 雅人
町田 幸男	大野 正次	世耕 弘樹	笹川 善弘
番匠 幸一郎	久保 素子	丹羽 秀樹	岩城 光英
寶 馨	荒川 裕生	小谷 知也	達増 拓也
鶴田 有司	吉村 美栄子	北村 清士	大井川 和彦
福田 富一	遠藤 祐司	大野 元裕	熊谷 俊人
山本 博浩	岡田 伸浩	花角 英世	新田 八朗
馳 浩	杉本 達治	高野 剛章	阿部 守一
田口 義隆	中谷 多加二	大村 秀彦	伊藤 歳恭
西脇 隆俊	高橋 知史	齋藤 元彦	池田 誠也
宮崎 泉	林 昭男	丸山 達也	越宗 孝昌
荻田 知英	村岡 嗣政	後藤田 正純	楨田 實吾
大塚 岩男	服部 誠太郎	山口 祥義	大石 賢一
甲斐 隆博	麻生 益直	日隈 俊郎	塩田 康一
玉城 デニー			

参 与

子圭井 辰也狩 江泰川 成昭井 学里井 剛田 ひとみ水 樹英中 隆典口 行和山 庸元上 江織本 弘晃本 彦寛郷 一光山 稔井 史雅林 司健藤 涉川 樹直本 博和江 良久保 二郎祥橋 志正倉 一博本 也真原 成泰圓 太郎健橋 代照村 和弘井 浩本 昭史田 子敬永 朗哲原 裕文澤 彦利谷 晴千橋 憲克木

子住杉 彦政江 正芳村 二隆島 仁野桑 一栄田 則幸井 誠中田 明義波 宏武田 人成沢 一真井 之守村 人曉田 子美久原 晃久内 成一島 史高中 子代浦 治秀田 久善田 夫良田 努井 伸義村 祥幸林 太井 子とし野 宣弘長 雄孝西 和秀中 雄公垣 道博崎 崇田 誠橋 和弘 治和井

彦康井 也和崎 史浩東 代行千井 二清防 太郎松中 史雅川 代三千木 則重重 子知田 惠三村 也達中 惠佳田 義隆木 一陽正 義宣見 健村 啓克城 知国村 寿和津 寛堂 昭智岸 博文博澤 司貴田 幸良戸 治恒木 哉智野 子智美山

俊人國村 一人誠藤 人真田 惠佳口 次鉄水 紀利沼 隆成沢 子啓田 樹秀本 勝東 苗早村 春千田 利忠田 人信吹 誠田 二純川 理裕西 貴航永 也航田 二純本 司清村 弘昌村 明英田 順本 保西 郎太 稔忠川 子惠千田

委 員 長
副委員長
総務委員

国光藤 一礼田 武野 次榮下 之博佐

委 員

平 野 了
松 本 康 夫
渡 邊 圭太郎
寺 澤 淳
中 梶 秀 則
鈴 木 章 広
田 口 大 祐
菅 原 正 幸
渡 辺 久 雄
井 本 亘
吉 田 由美子
金 子 和 裕
政 岡 航 大
寺 垣 佑 介
南 野 芳 広
門 久仁裕
加 藤 雄 樹
太 田 真 美
金 田 貴 人
村 松 達 也
杉 浦 美 紀
高 橋 健 二
松 本 守 正
久次米 和 成
笠 井 康 行
吉 野 賢一郎
高 野 瑞 洋
須 藤 勇 司
東 瀬 義 人
井 上 哲
竹 内 俊 勝
寺 崎 雅 巳
渡嘉敷 通 之

高 橋 聖 一
福 士 幸 洋
佐久間 裕 司
黒 川 重 男
安 藤 正 美
川 口 巖
平 井 宏 治
高 橋 昇
三 井 千 壽
関 根 明 子
杉 本 好 二
野 口 友 里
坊 百 花
田 中 遥 大
池 本 佳 子
清 水 直 子
鈴 木 敦
高 野 正 規
新 保 暢
井 澤 克 行
藤 田 隆 司
吉 村 宗 浩
松 本 綾 子
高 田 孝 行
尾 鷲 一 成
横 山 美 和
遠 藤 信 哉
角 田 真 司
酒 井 雅 洋
今 後 元 彦
松 井 健 治
荒 木 健 吉 也
綾 部 吉 也

吉 村 政 弘
栗 原 崇
品 田 奥 義
舟 喜 信 生
加 藤 憲 二
和 田 潔
岸 川 剛 之
長 南 哲 生
鈴 木 信 吾
中 山 二三男
東 野 眞理子
品 治 恵 子
小河原 百 映
宇 高 章 広
横 江 弘 昭
高 井 和 紀
瀬 谷 尚 男
岩 埜 直 史
戒 田 由香里
林 剛 史
曾 我 学
中 嶋 純 也
田 口 新 也
辻 岡 英 幸
松 山 度 良
山 元 尚 史
千 葉 雅 也
柄 澤 宏 之
碓 井 稔
沼 田 守 弘
吉 岡 直 彦
平 江 公 一

若 月 等
細 野 光 史
濱 野 勉
高 野 修
宮 川 良 輔
岡 泉 茂
西 原 斗司男
衛 藤 敬 輔
山 中 博 史
越 前 浩 司
川 口 雅 三
富 澤 佑 也
田 口 雅 紀
近 藤 潤
沼 波 輝
見 田 茂 紀
大 貫 大 輔
深 谷 祐 紀
児 玉 晶 香
稲 葉 晴 伸
木 原 哲 也
前 田 康 博
河 口 英 史
前 田 義 朗
濱 本 昌 宏
宮 城 直 人
菅 間 裕 晃
竹 内 延 和
武 田 知 巳
田部 長右衛門
刈 谷 好 孝
黒 木 淳一郎

競 技 会 役 員

(順不同・敬称略)

名 譽 会 長	三日月 大造	田 島 一 成		
	伊 藤 定 勉	寺 本 純 二	久 保 久 良	
会 長	丹 羽 秀 樹			
副 会 長	西 林 康 憲	河 本 英 典	岸 邊 輝 彌	辻 睦 弘
	松 宮 智 之	小 田 柿 幸 男		
顧 問	不 破 伸 二	田 坂 幾 太	津 島 淳	富 谷 行 雄
	山 下 哲 郎	金 田 勝 年	吉 村 和 武	伊 藤 寛
	葉 梨 康 弘	佐 藤 勉	清 水 真 人	沼 上 孝 幸
	窪 田 洋	尾 形 恵	塚 田 芳 久	野 村 忠 利
	野上 浩太郎	高 田 直 人	西 本 恵 一	深 澤 陽 一
	田 口 隆 夫	村 瀬 恒 治	尾 辻 利 章	米 田 忠 則
	西 田 一 善	福 田 俊 史	森 山 健 一	加 計 孝 太 郎
	寺 田 稔	国 本 卓 也	大 野 敬 太 郎	山 口 俊 一
	戒能 潤之介	上 田 貢 太 郎	山 崎 拓	山 下 雄 平
	加 藤 竜 祥	丸 山 敬 生	岩 屋 毅	藤 元 良 一
	宮 路 拓 馬	翁 長 政 俊	目 片 信 悟	村 井 泰 彦
	和 田 一 繁	西 嶋 良 年	金 子 隆 昭	岸 田 清 次
	村 岸 善 一	堤 清 司	丸 山 恵 二	青 山 繁
	菅 森 照 雄	山 中 健 一		
参 与	北 川 薫	下 地 一 秀	依 藤 章	澤 田 典 子
	加 藤 誠 一	井 狩 辰 也	富 波 義 明	桐 田 真 人
	小 河 文 人	東 勝	岸 本 織 江	園 田 三 惠
	松 田 千 春	東 郷 寛 彦	中 村 守	中 村 達 也
	山 田 忠 利	奥 山 光 一	岡 田 暁 人	中 田 佳 恵
	伊 吹 信 人	白 井 稔	北 川 純 二	前 川 誠
	藤 原 久 美 子	正 木 隆 義	保 田 誠	小 林 雅 史
	池 内 久 晃	土 井 真 一	窪 田 知 子	野 村 早 苗
	塚 本 晃 弘	森 和 之	高 橋 祥 二 朗	猪 飼 敏 之
	市 田 良 夫	藤 堂 寛	野 村 昌 弘	赤 井 康 彦
	谷 口 典 隆	中 沢 啓 子	中 川 睦 子	角 井 英 明
	八 橋 龍 二	堀 口 達 也	中 野 正 剛	上 杉 正 敏
	北 川 元 氣	辻 真 理 子	森 野 克 彦	矢 吹 安 子
	小 川 吉 則	黒 澤 茂 樹	疋 田 菜 穂 子	伊 藤 容 子
	奥 野 嘉 己	安 澤 勝	野 村 博 雄	森 田 充
	戸 崎 克 司	馬 場 和 子	長 崎 任 男	林 利 幸
	小 川 隆 史	永 濱 隆	小 松 照 明	本 田 啓 子

田 附 孝 子	近 藤 弘 明	疋 田 元 伯	牛 澤 淳
奥 村 揮 一	野 島 英 樹	綾 木 陽 一	大 久 保 裕 次
前 川 昌 敏	山 岸 将 郎	稻 野 善 行	關 谷 真 治
古 川 雅 之	木 村 康 介	馬 場 敬 人	速 田 智 之
大 橋 茂 雄	武 山 智 昭	小 島 久 喜	梅 村 真 資
平 野 雅 穩	吉 永 富 彦	沼 田 淳	古 谷 英 生
川 瀬 安 希 子	大 久 保 貴 生	中 村 傳 一 郎	寺 崎 政 子
小 林 正 人	木 村 輝 男	高 橋 伊 三 男	安 居 伸 義
阪 東 実 子	山 内 徹 好	笥 谷 直 一	獅 子 堂 秀 雄
吉 嶋 幸 弘	中 川 裕 子	磯 大 塚 恵 昭	西 田 信 子
木 村 昌 一	田 井 中 徹	辻 北 村 源 和	大 橋 政 次 郎
中 野 喜 夫	藤 井 高 明	北 村 源 一	沼 尾 護 彦
久 保 田 郁 崇	柳 本 上 司	西 山 政 幸	伊 藤 喜 美 子
山 田 清 春	長 辻 本 勇	中 島 合 勇	井 上 前 田 広 幸
本 澤 博 一	鈴 木 勉 市	河 大 橋 裕 二	今 村 恵 美 子
西 村 貴 美 子	安 食 場 貞 子	大 熊 山 田 村 修	藤 野 原 悠 子
鈴 木 智 広	馬 居 吉 也	木 新 小 島 美 静	福 小 森 正 彦
木 村 誠 一	藤 瀬 真 照	新 小 川 岸 真 憲	西 小 島 つ や 子
西 川 隆 一	藤 野 真 照	小 川 財 田 幸 司	小 島 一 之 瀬 浩 治
尾 崎 一 弥	大 野 け い 子	大 山 谷 重 男	富 丸 尾 伊 久 人
大 谷 久 良 介	木 神 豊		

委員長
委員長
委員長

齋 藤 良 太 郎	佐 野 博 之	青 木 克 憲	宮 永 幹 雄
上 田 隆 一	柳 川 弘 行	高 橋 尚 代	上 田 永 暢 子
松 下 秀 美	根 田 光 朗	伊 藤 一 裕	森 永 耕 造
野 口 穰	川 上 秀 樹	四 宮 和 里	飯 島 祥 行
小 林 知 且	龜 島 愛 永	村 松 加 王 子	笹 川 麻 利 恵
山 下 博 美	石 嶺 可 奈 子	吉 田 由 美 子	川 口 藤 永 章
中 塩 信 安	三 嶋 本 昭 宏	諏 訪 間 恵 美 子	依 藤 本 雅 尚
由 田 典 子	島 本 誠 子	草 山 口 正 彦	池 崎 寿 征
澤 藤 浪 富 彦	山 中 川 み ち 子	藤 原 智 也	竹 西 健 治
松 田 久 仁 裕	門 打 谷 桂 子		

競 技 役 員

(順不同・敬称略)

競 技 役 員 長	西 林 康 憲				
競 技 副 役 員 長	齋 藤 良 太 郎	上 田 隆 一			
総 務 委 員 長	松 下 秀 雄				
総務副委員長/記録委員長	上 田 隆 一				
総 務 委 員	藤 浪 讓	澤 田 典 子	草 名 恵 美 子	拾 井 充 津 子	
競 技 委 員 長	柳 川 弘 行				
競 技 副 委 員 長	依 藤 章				
競 技 委 員	池 谷 茂 美	鈴 木 信 吾	島 本 昭 宏	松 田 富 彦	
	中 川 み ち 子	篠 原 琢 也	中 村 千 容		
審 判 委 員 長	川 上 秀 樹				
審 判 副 委 員 長	山 口 正 彦				
審 判 委 員	池 本 雅 尚	草 名 恵 美 子	竹 崎 寿 征	藤 原 智 也	
	中 川 み ち 子	中 西 健 治	松 本 八 重 子	細 井 徳 子	
	中 島 美 紀	石 野 裕 也	富 田 進	山 本 崇 之	
	渡 辺 辰 男	岡 部 俊 樹			
認 証 委 員 長	根 田 光 朗				
認 証 副 委 員 長	松 田 富 彦				
認 証 主 任	依 藤 章				
レ ー ン 認 証 委 員	大 澤 武 士				
記 録 委 員	腰 越 正 規	川 杉 裕 志	藤 浪 讓	島 本 昭 宏	
	大 司 秀 樹	小 林 幹 雄	伊 藤 一 明		
広 報 委 員 長	草 名 恵 美 子				
広 報 副 委 員 長	田 中 佳 一				
広 報 委 員	中 江 紀 子				
賞 典 委 員 長	澤 田 典 子				
賞 典 副 委 員 長	草 名 恵 美 子				
賞 典 委 員	梅 山 淑 子				
受 付 係 主 任	中 江 紀 子				
受 付 係 副 主 任	拾 井 充 津 子				
総 合 成 績 計 算 委 員 長	由 中 信 安				
総 合 成 績 計 算 委 員	上 田 隆 一				
会 場 係 主 任	島 本 昭 宏				
会 場 係 委 員	浦 部 年 男				
進 行 係	木 村 成 子				

競 技 補 助 員

(順不同・敬称略)

河瀬高等学校
国際情報高等学校
八幡高等学校
彦根総合高等学校

競 技 会 係 員

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

豊郷町

甲良町

多賀町

職員一同

競 技 会 補 助 員

彦根翔西館高等学校

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会運営ボランティア一同

大会実施要項

総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技（7 競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストレーションスポーツ（26 競技）

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウエルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカラム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレーボール、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第3（初代・二代目）

(4) 特別競技（1 競技）

高等学校野球

2 会期および会場地

(1) 正式競技・特別競技（15 市、4 町：計 19 市町）

会 期	会 場 地
2025年 9 月28 日（日） ～10月 8 日（水） 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年 9 月 6 日（土） ～ 9 月15 日（月） 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※ 水泳、体操、バレーボール（ビーチバレーボール）競技会は上記会場地で実施
2025年 9 月21 日（日） ～ 9 月25 日（木） 〔 5 日間〕	東近江市、京都府向日市 ※ 自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（7 市：計 7 市町）

会 期	会 場 地
2025年 8 月23 日（土） ～ 9 月21 日（日）	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

(3) デモンストレーションスポーツ（13 市、1 町：計 14 市町）

会 期	会 場 地
2025年 4 月12 日（土） ～ 9 月14 日（日）	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が 18 歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(イ) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(ロ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ハ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ハ)b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

[注] a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚または離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帯同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校

の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年4月30日以前から本大会終了時（2025年10月8日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
種別	4 人以下	24 点	21 点	18 点	15 点	12 点	9 点	6 点	3 点
	5 人以上 7 人以下	40 点	35 点	30 点	25 点	20 点	15 点	10 点	5 点
	8 人以上	64 点	56 点	48 点	40 点	32 点	24 点	16 点	8 点
種目	—	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

〔注〕 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

(1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第 1 位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3) 各正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

(4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5) 各競技の各種別および各種目などの第 1 位から第 8 位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に 1 枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
2025 年 8 月 20 日 (水) 【12 競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025 年 9 月 4 日 (木) 【27 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3, 0 0 0 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6, 0 0 0 円

〔注〕 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2025 年 9 月 5 日（金）

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上の場合、団長、総監督および総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合、団長、総監督および総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満の場合、団長、総監督および総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。
なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2026 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県 100 名以内、宮崎県および長野県 60 名以内、群馬県および島根県 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 AD カードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者には AD カード（Accreditation Card）を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報および肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載

(イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載

(エ) 大会関連ホームページへの掲載

(オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ア) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載

(ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。

なお、参加は1人1競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

- (7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員ならびにその他選手団役員とする。

- (2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

- (3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ

通知する。

19 わた SHIGA 輝く国スポの取組

(1) 環境に配慮した大会の実施

スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。

(2) おもてなしと滋賀の魅力発信

豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。

(3) 誰もが主役として輝ける取組の推進

年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20 その他

(1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

(3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項〔国民スポーツ大会開催基準要項第 8 項第 1 号および第 10 項第 4 号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第 3 項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の 4 月 30 日（冬季大会は前年の 4 月 30 日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1 回につき 2 年以上連続とし、利用できる回数は 2 回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記２ 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－(1)－1－③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記２(1)の場合は転居元、下記２(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記２(1)の場合は転居先、下記２(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－2)－②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。
- (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOC オリンピック強化指定選手

イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者について

は、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学して

いる実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

- ＜例＞
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

実 施 要 項

1 期 日 2025 年 9 月 29 日（月）から 10 月 3 日（金）まで（5 日間）

種別	9 月 29 日（月）	9 月 30 日（火）	10 月 1 日（水）	10 月 2 日（木）	10 月 3 日（金）
成年男子			個 人 戦 予選<前半>	団 体 戦 (2 人チーム戦) 予 選	団 体 戦 (4 人チーム戦) 予 選
			個 人 戦 予選<後半>	個 人 戦 決 勝	団 体 戦 (2 人チーム戦) 決 勝
					団 体 戦 (4 人チーム戦) 決 勝
成年女子		個 人 戦 予選<前半>	個 人 戦 予選<後半>	団 体 戦 (2 人チーム戦) 予 選	団 体 戦 (2 人チーム戦) 決 勝
				個 人 戦 決 勝	団 体 戦 (4 人チーム戦) 決 勝
				団 体 戦 (4 人チーム戦) 予 選	
少年男子	個 人 戦 予選<前半>	個 人 戦 決 勝			
	個 人 戦 予選<後半>	団 体 戦 決 勝			
	団 体 戦 予 選				
少年女子	個 人 戦 予選<前半>	個 人 戦 予選<後半>			
	団 体 戦 予 選	個 人 戦 決 勝			
		団 体 戦 決 勝			

2 会 場 彦根市（全種別） ラピュタボウル彦根（公認競技場No.125-025 号）

3 種別（種目）及び参加人数

種 別	種 目	種目数		監督	選手	参加都道府県	小計	合計（人）
成年男子	個 人 戦	1	10	1	4	25	125	400
	団体戦（2人）	1						
	団体戦（4人）	1						
成年女子	個 人 戦	1		1	4	25	125	
	団体戦（2人）	1						
	団体戦（4人）	1						
少年男子	個 人 戦	1		1	2	25	75	
	団 体 戦	1						
少年女子	個 人 戦	1		1	2	25	75	
	団 体 戦	1						

（注1） 成年選手は同種別の監督を兼任することができる。

4 競技上の規程及び方法

（1） 競技規程は、公益財団法人 JAPAN BOWLING のボウリング競技規則及びボウリング選手権競技会規程による。

（2） 審判員は、公益財団法人 JAPAN BOWLING 公認審判員が当たる。

（3） 競技方式は、デュアルレーン方式で実施する。

（4） 競技方法

ア 個人戦（成年男子、成年女子、少年男子、少年女子）

〔予 選〕

前半3ゲーム、後半3ゲームの計6ゲームの競技を行い、その合計得点の上位8名が決勝戦に進出する。

〔決 勝〕

予選にて選出された8名がさらに3ゲームの競技を行い、予選を含め合計9ゲームの総得点により順位を決定する。

イ 団体戦〔2人チーム戦〕（成年男子、成年女子、少年男子、少年女子）

〔予 選〕

各選手が3ゲームの競技を行い、チームの合計得点の上位8チームが決勝戦に進出する。

〔決 勝〕

予選にて選出された8チームがさらに各選手3ゲームの競技を行い、予選を含め合計6ゲームの総得点により順位を決定する。

ウ 団体戦〔4人チーム戦〕（成年男子、成年女子）

〔予 選〕

各選手が3ゲームの競技を行い、チームの合計得点の上位8チームが決勝戦に進出する。

〔決 勝〕

予選にて選出された8チームがさらに各選手3ゲームの競技を行い、予選を含め合計6ゲームの総得点により順位を決定する。

（5） 同位の裁定

各種目とも、予選において同順位が生じた場合、ボウリング競技規則第133条に基づき裁定する。ただし、決勝において同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

5 予選方法

(1) 都道府県大会

ア 各都道府県連盟は、種別ごとにブロック大会に出場する代表選手を決定する。

イ 都道府県大会は、公益財団法人 JAPAN BOWLING の各都道府県連盟が主管して実施する。
期日、実施方法については、当該都道府県スポーツ協会と協議の上、決定する。

(2) ブロック大会

ア 各種別ともブロック大会を実施し、各ブロックの代表を選出する。

イ 原則として、ブロック大会に登録・出場した選手、あるいは公益財団法人 JAPAN BOWLING の指定する期日までに予備登録を行った選手でなければ、本大会への参加は認められない。

ウ ブロック大会区分及びその代表都道府県数は下記のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年 男子	成年 女子	少年 男子	少年 女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	3	3	3	3
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	4	4	4	4
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	2	2	2
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	2	2	2	2
近 畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	3	3	3	3
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	3	3	3
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	2	2	2	2
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	4	4	4	4
開催県	滋賀	1	1	1	1
計		25	25	25	25

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるところによる。また、選手は公益財団法人 JAPAN BOWLING の 2025 年度登録会員であること。なお、少年種別に参加できる選手には、2010 年 4 月 2 日から 2011 年 4 月 1 日までの間に生まれた中学 3 年生を含むものとする。

また、監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ボウリングコーチ 1、公認ボウリングコーチ 2、又は公認ボウリングコーチ 3、公認ボウリングコーチ 4 いずれかの資格を有するものとし、合わせて、JB コーチ制度に基づく、レベル 1 コーチ、ブロンズコーチ、シルバーコーチいずれかの資格を有することが望ましい。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子 成 年 女 子 少 年 男 子 少 年 女 子	成 年 女 子 少 年 女 子	各種別とも個人戦は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点、団体戦は、1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種目の第1位から第8位までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025年8月20日（水）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手の変更は、疾病、傷害等の特別な場合のみ、各種別1名に限り予備登録選手との変更を認めるものとし、監督の変更も疾病、障害等の特別な場合のみ、各種別1名に限り認めるものとする。それらの取り扱いについては、次のとおりとする。

ア 提出期日 監督会議開催前まで

イ 提出先

- (ア) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 5F
公益財団法人 JAPAN BOWLING
TEL 03-6804-5605 FAX 03-6804-5606
MAIL kyougi@japan-bowling.or.jp
- (イ) 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係)
TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836
MAIL kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp
- (ウ) 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 県運営競技係 競技担当)

TEL 077-528-3349、 080-1302-1497 FAX 077-528-4836

MAIL bowling@shiga.pref.lg.jp

ウ 提出方法 上記メールアドレス宛にメールにて提出すること。

なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、上記への提出後、別途、所定の手続きにより、参加申込情報を修正すること。

10 参加上の注意

- (1) ユニフォームには、必ず所属都道府県名及び氏名を表示し、同一チームメンバーは、上下とも同一のユニフォームを着用のこと。
- (2) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300 円の発行手数料を添えて申請すること。

11 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2025 年 8 月 25 日 (月) 午後 1 時

場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号

(2) 監督会議

(少年種別)

日 時 2025 年 9 月 27 日 (土) 午後 2 時 30 分

場 所 ビバシティ彦根 研修室

〒522-0055 滋賀県彦根市竹ヶ鼻町 43 番の 1

(成年種別)

日 時 2025 年 9 月 29 日 (月) 午後 4 時 30 分

場 所 ビバシティ彦根 研修室

〒522-0055 滋賀県彦根市竹ヶ鼻町 43 番の 1

(3) 表彰式

(少年種別)

日 時 2025 年 9 月 30 日 (火) 午後 2 時 45 分

場 所 ラピュタボウル彦根

〒522-0044 滋賀県彦根市竹ヶ鼻町 43 番の 1 (ビバシティ彦根 3 階)

TEL 0749-27-5590 FAX 0749-27-5591

(成年種別)

日 時 2025 年 10 月 3 日 (金) 午後 6 時 50 分

場 所 ラピュタボウル彦根

〒522-0044 滋賀県彦根市竹ヶ鼻町 43 番の 1 (ビバシティ彦根 3 階)

TEL 0749-27-5590 FAX 0749-27-5591

式典日程・表彰式次第

○表彰式：少年女子・少年男子(個人戦・団体戦)

- | | | |
|-------|-----------------|----------|
| 1 日 時 | 令和7年9月30日(火) | 14時45分から |
| 場 所 | ラピュタボウル彦根 | |
| 次 第 | (1) 表彰式 | |
| | ① 少年女子・少年男子 個人戦 | |
| | ② 少年女子・少年男子 団体戦 | |

○表彰式・閉会式：成年女子・成年男子(個人戦・団体戦)

- | | | |
|-------|-------------------------|----------|
| 1 日 時 | 令和7年10月3日(金) | 18時50分から |
| 場 所 | ラピュタボウル彦根 | |
| 次 第 | (1) 表彰式 | |
| | ① 総合成績発表 | |
| | ② 成年女子・成年男子 個人戦 | |
| | ③ 成年女子・成年男子 団体戦(2人チーム戦) | |
| | ④ 成年女子・成年男子 団体戦(4人チーム戦) | |
| | ⑤ 女子総合表彰 | |
| | ⑥ 男女総合表彰 | |
| | (2) 競技会委員長・競技会副委員長あいさつ | |
| | (3) 歓送のことば | |
| | (4) 感謝状贈呈 | |
| | (5) 諸旗儀礼 | |
| | (6) 国旗儀礼 | |
| | (7) 競技会終了宣言 | |

競 技 日 程

会場：ラピュタボウル彦根（公認競技場No.125-025号）AMF30レーン

< 競技前々日 9月27日（土） >

14:30 ～ 15:30	少年男女監督会議	ビバシティ 2 階研修室
17:15 ～ 19:00	ふれあいボウリング	ラピュタボウル彦根

< 競技前日 9月28日（日） >

18:00 ～ 18:45	公式練習（少年男子）	ラピュタボウル彦根
19:15 ～ 20:00	公式練習（少年女子）	ラピュタボウル彦根

< 第 1 日目 9月29日（月） >

7:30 ～ 9:20	少年男子	個人戦	予選 前半	2×2名打（28L）
9:35 ～ 11:25	少年女子	個人戦	予選 前半	2×2名打（28L）
11:40 ～ 13:30	少年男子	個人戦	予選 後半	2×2名打（28L）
13:45 ～ 15:35	少年女子	団体戦	予選	2×2名打（26L）
15:50 ～ 17:40	少年男子	団体戦	予選	2×2名打（26L）
16:30 ～ 17:30	成年男女監督会議	ビバシティ 2 階研修室		
18:15 ～ 19:00	公式練習（成年女子）	ラピュタボウル彦根		
19:15 ～ 20:00	公式練習（成年男子）	ラピュタボウル彦根		

< 第 2 日目 9月30日（火） >

7:30 ～ 9:20	少年女子	個人戦	予選 後半	2×2名打（28L）
10:30 ～ 11:45	少年男子・少年女子	個人戦	決勝	1×1名打（16L）
12:05 ～ 14:00	少年男子・少年女子	団体戦	決勝	2×2名打（16L）
14:45 ～ 15:30	少年男子・少年女子	個人戦・団体戦	表彰式	
16:00 ～ 19:35	成年女子	個人戦	予選 前半	4×4名打（28L）

< 第 3 日目 10月1日（水） >

8:00 ～ 11:35	成年男子	個人戦	予選 前半	4×4名打（28L）
11:50 ～ 15:25	成年女子	個人戦	予選 後半	4×4名打（28L）
15:40 ～ 19:15	成年男子	個人戦	予選 後半	4×4名打（28L）

< 第 4 日目 10月2日（木） >

7:00 ～ 10:35	成年女子	団体戦(2人チーム)	予選	4×4名打（28L）
10:50 ～ 14:25	成年男子	団体戦(2人チーム)	予選	4×4名打（28L）
14:45 ～ 16:00	成年男子・成年女子	個人戦	決勝	1×1名打（16L）
16:20 ～ 20:00	成年女子	団体戦(4人チーム)	予選	4×4名打（26L）

< 第 5 日目 10月3日（金） >

7:00 ～ 10:40	成年男子	団体戦(4人チーム)	予選	4×4名打（26L）
11:00 ～ 12:55	成年男子・成年女子	団体戦(2人チーム)	決勝	2×2名打（16L）
13:15 ～ 15:25	成年女子	団体戦(4人チーム)	決勝	2×2名打（16L）
15:45 ～ 17:55	成年男子	団体戦(4人チーム)	決勝	2×2名打（16L）
18:50 ～ 20:20	成年男子・成年女子	個人戦	表彰式	
		団体戦(2人チーム)		
		団体戦(4人チーム)		
	団体総合			
		閉会式		

※当日、進行状況により時間が前後する場合があります。

都道府県別参加人数一覧

番号	都道府県	成年男子			成年女子			少年男子		少年女子		合　　計			総計
		監督		選手	監督		選手	監督	選手	監督	選手	監督		選手	
		専任	兼任		専任	兼任						専任	兼任		
1	北海道		1	4	1		4	1	2	1	2	3	1	12	15
2	青森県	1		4	1		4	1	2			3		10	13
3	岩手県	1		4						1	2	2		6	8
4	宮城県	1		4				1	2	1	2	3		8	11
5	秋田県				1		4					1		4	5
6	山形県							1	2	1	2	2		4	6
7	福島県				1		4					1		4	5
8	茨城県	1		4				1	2			2		6	8
9	栃木県									1	2	1		2	3
10	群馬県	1		4	1		4	1	2	1	2	4		12	16
11	埼玉県	1		4				1	2			2		6	8
12	千葉県					1	4						1	4	4
13	東京都	1		4	1		4			1	2	3		10	13
14	神奈川県				1		4	1	2	1	2	3		8	11
15	山梨県														
16	新潟県														
17	長野県									1	2	1		2	3
18	富山県				1		4	1	2	1	2	3		8	11
19	石川県	1		4	1		4	1	2			3		10	13
20	福井県	1		4								1		4	5
21	静岡県	1		4								1		4	5
22	愛知県				1		4	1	2	1	2	3		8	11
23	三重県	1		4	1		4	1	2	1	2	4		12	16
24	岐阜県														
25	滋賀県	1		4		1	4	1	2	1	2	3	1	12	15
26	京都府	1		4	1		4	1	2	1	2	4		12	16
27	大阪府									1	2	1		2	3
28	兵庫県	1		4				1	2			2		6	8
29	奈良県				1		4					1		4	5
30	和歌山県	1		4	1		4	1	2	1	2	4		12	16
31	鳥取県														
32	島根県														
33	岡山県	1		4	1		4	1	2	1	2	4		12	16
34	広島県	1		4	1		4	1	2	1	2	4		12	16
35	山口県	1		4	1		4	1	2	1	2	4		12	16
36	香川県														
37	徳島県	1		4	1		4	1	2	1	2	4		12	16
38	愛媛県				1		4	1	2	1	2	3		8	11
39	高知県	1		4								1		4	5
40	福岡県		1	4	1		4	1	2	1	2	3	1	12	15
41	佐賀県	1		4	1		4					2		8	10
42	長崎県	1		4	1		4			1	2	3		10	13
43	熊本県							1	2	1	2	2		4	6
44	大分県							1	2			1		2	3
45	宮崎県														
46	鹿児島県														
47	沖縄県	1		4		1	4	1	2	1	2	3	1	12	15
合　　計		23	2	100	22	3	100	25	50	25	50	95	5	300	400

参加監督一覧表

都 道 府 県	成 年 男 子	成 年 女 子	少 年 男 子	少 年 女 子
北 海 道	鈴 木 恒 有	仙 庭 雅 嗣	松 田 光 司	高 橋 恵 美 子
青 森 県	工 藤 壽 紀	工 藤 純 一 郎	深 堀 雄 一	
岩 手 県	木 村 聡			小 林 み ち 子
宮 城 県	本 郷 宏		茂 林 直 樹	渡 邊 雅 司
秋 田 県		遠 藤 博		
山 形 県			大 門 達 弘	小 野 貴 史
福 島 県		根 本 長 徳		
茨 城 県	横 山 進 一		野 口 圭	
栃 木 県				山 谷 新 也
群 馬 県	小 野 真 義	宮 沢 隆	園 部 恵 理	福 田 尊 仁
埼 玉 県	小 林 彌		秋 元 優 志	
千 葉 県		清 水 弘 子		
東 京 都	中 野 和 弘	原 邦 子		松 原 聡
神 奈 川 県		不 破 伸 二	中 尾 了	三 水 岳 人
山 梨 県				
新 潟 県				
長 野 県				両 角 英 樹
富 山 県		片 井 彰	境 明	小 倉 徳 二
石 川 県	渡 辺 正 広	奥 村 一 世	永 山 順 一	
福 井 県	小 澤 弘 幸			
静 岡 県	松 岡 真 弓			
愛 知 県		一 江 拓 生	林 伸 治	酒 井 孝 司
三 重 県	古 市 達 也	仲 摩 秀 康	菊 池 彰	長 田 陽 介
岐 阜 県				
滋 賀 県	池 本 雅 尚	山 本 さ お り	島 本 昭 宏	澤 田 典 子
京 都 府	横 田 正 一	奥 享 子	秋 元 充 秀	野 呂 貞 之
大 阪 府				尾 辻 利 章
兵 庫 県	水 井 手 孝 之		石 橋 一 陸	
奈 良 県		細 井 徳 子		
和 歌 山 県	西 田 一 善	福 島 正 久	山 口 厚 司	山 崎 俊 承
鳥 取 県				
島 根 県				
岡 山 県	小 阪 佳 弘	大 崎 智 浩	橘 川 尚	木 村 佳 苗
広 島 県	石 井 浩 次	難 波 江 美 佐	中 塩 貴 倫	中 塩 博 美
山 口 県	鬼 村 雅 和	岡 田 孝 宏	柳 江 利 章	野 村 佐 登 美
香 川 県				
徳 島 県	笠 井 稔 夫	曾 我 部 文 彦	坂 本 政 武	阿 部 一 雄
愛 媛 県		西 山 京 子	檜 垣 尚 登	市 川 芳 昭
高 知 県	大 崎 勝 彦			
福 岡 県	升 水 祐 介	大 賀 保 文	岸 川 正 次	山 上 英 章
佐 賀 県	前 原 健 吾	吉 村 勝 寿		
長 崎 県	橋 本 徳 善	辻 貴 司		本 田 博 次
熊 本 県			堀 田 浩 毅	中 路 近
大 分 県			大 秋 俊 典	
宮 崎 県				
鹿 児 島 県				
沖 縄 県	浜 比 嘉 忠	大 城 美 幸	下 地 良 信	我 如 古 泰 之

競技の見方

【ボウリング競技の特性】

ボウリングは老若男女誰でも競技でき、また同時に何人もの競技者が一緒にプレーできるスポーツです。室内競技のため、全国どこでも、いつでも予定通り競技できるのも大きな特徴です。動作はシンプルですが、想像以上に運動量のある競技です。そして比較的事故やケガの少ない安全なスポーツです。個人戦やチーム戦など、変化に富んだ競技方法や内容で試合を組むことができ、参加者の技術レベルに合わせてハンディキャップを盛り込み、同じように競技することも可能です。

国民スポーツ大会では、種別は 18 歳未満の「少年男子」「少年女子」と、18 歳以上の「成年男子」「成年女子」の 4 種別を設定し、少年種別では「個人戦」「団体戦(2 人チーム)」を、成年種別では「個人戦」「団体戦(2 人チーム)」「団体戦(4 人チーム)」を行います。予選(人数×3ゲーム)と決勝(人数×3ゲーム)という競技方法で実施します。

【主なルール】

ボウリングルールは、世界組織・国際ボウリング連盟(International Bowling Federation)のルールにより世界的に統一されています。

1 ゲームの構成

ボウリングの1ゲームは 10 個のフレームで構成され、1フレームは2球投げる権利が与えられます。ただし、10 フレーム目は、ストライクの場合はあと2投、スペアーの場合はあと1投、投球できます。セットされた 10 本のピンを最初の1投で全部倒した場合は、ストライクといい  印で表します。2投目で残ったピン全部を倒した場合をスペアーといい  印で表します。

助走する所をアプローチといい、この先がレーンとなり、その境がファールラインです。これを超えるとファールとなります。ファールをした場合、得点は0となり、F 印で表します。左右両側にある溝にボールを落とした場合、ガターといい、G 印でこれを表します(ただし、第2投目の場合は－印で表します)。

2 得点の計算方法

ストライクを出した場合、次の2投を加算できます。

スペアーの場合は次の1投を加算できます。その他の場合は、各フレームともそのフレームで倒されたピンの数だけ加算していきます。

1フレーム目から連続して 12 回ストライクを出した場合は 300 点となり、パーフェクトゲームといえます。

レーン配当表(1)

【少年女子・個人戦】

予選前半 9月29日(月) 9:35～11:25

予選後半 9月30日(火) 7:30～ 9:20

都道府県	選手氏名				後半		
		1G	2G	3G	4G	5G	6G
北海道	中田 彩花	8-2	9-2	12-2	17-1	20-1	21-1
	中田 京花	17-1	20-1	21-1	8-2	9-2	12-2
岩手県	相澤 茉季	15-2	4-2	5-2	22-1	23-1	26-1
	菅原 湊	26-2	27-2	30-2	7-1	10-1	11-1
宮城県	古川 英佳	10-2	11-2	14-2	19-1	22-1	23-1
	大山 愛	19-1	22-1	23-1	10-2	11-2	14-2
山形県	平田 璃子	15-1	4-1	5-1	20-1	21-1	24-1
	荒沢 瑠佳	18-1	19-1	22-1	11-2	14-2	15-2
栃木県	加藤 幸姫	10-1	11-1	14-1	17-2	20-2	21-2
	狩谷 玲花	25-1	28-1	29-1	16-1	3-1	6-1
群馬県	大谷 英羽奈	11-1	14-1	15-1	30-1	17-1	20-1
	日部 雪乃	30-1	17-1	20-1	9-2	12-2	13-2
東京都	藤田 妃夏	9-1	12-1	13-1	28-2	29-2	18-2
	高橋 亜子	25-2	28-2	29-2	4-1	5-1	8-1
神奈川県	細井 葉月	12-1	13-1	16-1	19-2	22-2	23-2
	網代 羅夢	20-1	21-1	24-1	13-2	16-2	3-2
長野県	小口 真里奈	14-2	15-2	4-2	23-1	26-1	27-1
	小泉 穂乃佳	17-2	20-2	21-2	10-1	11-1	14-1
富山県	吉崎 愛来	4-1	5-1	8-1	25-2	28-2	29-2
	近藤 希	18-2	19-2	22-2	13-1	16-1	3-1
愛知県	長屋 似奈	4-2	5-2	8-2	27-1	30-1	17-1
	田口 みちる	22-2	23-2	26-2	3-1	6-1	7-1
三重県	澤田 枇奈	12-2	13-2	16-2	21-1	24-1	25-1
	中村 心	24-2	25-2	28-2	5-1	8-1	9-1
滋賀県	藤居 心優	6-2	7-2	10-2	29-1	18-1	19-1
	廣田 楓	20-2	21-2	24-2	15-1	4-1	5-1

レーン配当表(2)

【少年女子・個人戦】

予選前半 9月29日(月) 9:35～11:25

予選後半 9月30日(火) 7:30～ 9:20

都道府県	選手氏名	前半			後半		
		1G	2G	3G	4G	5G	6G
京都府	藤原 彩花	16-2	3-2	6-2	25-1	28-1	29-1
	澤野 滢	21-2	24-2	25-2	14-1	15-1	4-1
大阪府	川口 暖乃花	13-1	16-1	3-1	18-2	19-2	22-2
	篠原 優佳	29-2	18-2	19-2	8-1	9-1	12-1
和歌山県	伊藤 有来	8-1	9-1	12-1	29-2	18-2	19-2
	佐津 那波	21-1	24-1	25-1	12-1	13-1	16-1
岡山県	塩尻 聡美	6-1	7-1	10-1	27-2	30-2	17-2
	畠沢 美佐季	26-1	27-1	30-1	5-2	8-2	9-2
広島県	北川 幸希	7-1	10-1	11-1	26-1	27-1	30-1
	中塩 美桜	27-1	30-1	17-1	4-2	5-2	8-2
山口県	奥田 琴弓	11-2	14-2	15-2	18-1	19-1	22-1
	松島 二葉	22-1	23-1	26-1	15-2	4-2	5-2
徳島県	村崎 遥香	3-2	6-2	7-2	24-1	25-1	28-1
	吉本 葵	30-2	17-2	20-2	11-1	14-1	15-1
愛媛県	藤井 日和	7-2	10-2	11-2	28-1	29-1	18-1
	大谷 心咲	28-1	29-1	18-1	7-2	10-2	11-2
福岡県	萩森 美和	14-1	15-1	4-1	21-2	24-2	25-2
	仲 愛莉	24-1	25-1	28-1	3-2	6-2	7-2
長崎県	中島 唯	3-1	6-1	7-1	22-2	23-2	26-2
	中島 佳音	28-2	29-2	18-2	9-1	12-1	13-1
熊本県	大鶴 眞悠子	16-1	3-1	6-1	23-2	26-2	27-2
	改喜 美友	29-1	18-1	19-1	6-1	7-1	10-1
沖縄県	荻堂 栞鈴	5-1	8-1	9-1	24-2	25-2	28-2
	稲福 観夕	23-1	26-1	27-1	14-2	15-2	4-2

レーン配当表(3)

【少年男子・個人戦】

予選前半 9月29日(月) 7:30～ 9:20

予選後半 9月29日(月) 11:40～13:30

都道府県	選手氏名	前半			後半		
		1G	2G	3G	4G	5G	6G
北海道	浅野目 拓也	4-2	5-2	8-2	27-1	30-1	17-1
	田村 悠	20-2	21-2	24-2	15-1	4-1	5-1
青森県	深堀 堅仁	5-1	8-1	9-1	24-2	25-2	28-2
	後藤 遼真	25-1	28-1	29-1	16-1	3-1	6-1
宮城県	中田 弥宏	16-1	3-1	6-1	23-2	26-2	27-2
	中村 開	22-1	23-1	26-1	15-2	4-2	5-2
山形県	大門 弘夢	15-2	4-2	5-2	22-1	23-1	26-1
	松木 千寛	28-2	29-2	18-2	9-1	12-1	13-1
茨城県	森江 航大	6-1	7-1	10-1	27-2	30-2	17-2
	高橋 宏輔	18-1	19-1	22-1	11-2	14-2	15-2
群馬県	折原 慶人	12-2	13-2	16-2	21-1	24-1	25-1
	須田 風海音	17-1	20-1	21-1	8-2	9-2	12-2
埼玉県	中川 結雅	15-1	4-1	5-1	20-1	21-1	24-1
	齋藤 大哉	29-2	18-2	19-2	8-1	9-1	12-1
神奈川県	彦田 晃嗣	14-2	15-2	4-2	23-1	26-1	27-1
	滝沢 樹	22-2	23-2	26-2	3-1	6-1	7-1
富山県	吉崎 一翔	10-1	11-1	14-1	17-2	20-2	21-2
	村田 伊亮	24-1	25-1	28-1	3-2	6-2	7-2
石川県	角見 優仁	7-1	10-1	11-1	26-1	27-1	30-1
	藤部 飛龍	26-2	27-2	30-2	7-1	10-1	11-1
愛知県	原 理人	11-2	14-2	15-2	18-1	19-1	22-1
	長谷川 星風	17-2	20-2	21-2	10-1	11-1	14-1
三重県	谷村 風翔	8-1	9-1	12-1	29-2	18-2	19-2
	馬場 琥太郎	23-1	26-1	27-1	14-2	15-2	4-2
滋賀県	山本 大貴	3-1	6-1	7-1	22-2	23-2	26-2
	川寄 亮太	21-2	24-2	25-2	14-1	15-1	4-1

レーン配当表(4)

【少年男子・個人戦】

予選前半 9月29日(月) 7:30～ 9:20

予選後半 9月29日(月) 11:40～13:30

都道府県	選手氏名	前半			後半		
		1G	2G	3G	4G	5G	6G
京都府	山口 直矢	14-1	15-1	4-1	21-2	24-2	25-2
	落合 唯斗	25-2	28-2	29-2	4-1	5-1	8-1
兵庫県	芝柳 迅人	4-1	5-1	8-1	25-2	28-2	29-2
	高橋 颯太	30-2	17-2	20-2	11-1	14-1	15-1
和歌山県	柴田 流行	12-1	13-1	16-1	19-2	22-2	23-2
	阪本 雷揮	29-1	18-1	19-1	6-1	7-1	10-1
岡山県	土肥 大輔	3-2	6-2	7-2	24-1	25-1	28-1
	吉富 孔悌	27-1	30-1	17-1	4-2	5-2	8-2
広島県	石原 大雅	7-2	10-2	11-2	28-1	29-1	18-1
	藤井 拓海	30-1	17-1	20-1	9-2	12-2	13-2
山口県	品川 圭佑	6-2	7-2	10-2	29-1	18-1	19-1
	佐野 裕葵矢	19-1	22-1	23-1	10-2	11-2	14-2
徳島県	伊達 幹人	16-2	3-2	6-2	25-1	28-1	29-1
	福島 滉己	18-2	19-2	22-2	13-1	16-1	3-1
愛媛県	御手洗 彰彦	9-1	12-1	13-1	28-2	29-2	18-2
	野村 直史	24-2	25-2	28-2	5-1	8-1	9-1
福岡県	篠塚 元豪	13-1	16-1	3-1	18-2	19-2	22-2
	三苫 総太	20-1	21-1	24-1	13-2	16-2	3-2
熊本県	有江 智貴	11-1	14-1	15-1	30-1	17-1	20-1
	林田 壮眞	28-1	29-1	18-1	7-2	10-2	11-2
大分県	荒金 秀宜	10-2	11-2	14-2	19-1	22-1	23-1
	巽 洸一	21-1	24-1	25-1	12-1	13-1	16-1
沖縄県	上原 瑠晟	8-2	9-2	12-2	17-1	20-1	21-1
	下地 良尚	26-1	27-1	30-1	5-2	8-2	9-2

レーン配当表(5)

【少年女子・団体戦】

予選 9月29日(月) 13:45～15:35

都道府県	第1投球者	第2投球者	予選		
			1G	2G	3G
北海道	中田 彩花	中田 京花	13	4	5
岩手県	相澤 茉季	菅原 湊	21	24	25
宮城県	古川 英佳	大山 愛	29	18	19
山形県	平田 璃子	荒沢 瑠佳	5	8	9
栃木県	加藤 幸姫	狩谷 玲花	3	6	7
群馬県	大谷 芙羽奈	日部 雪乃	28	29	18
東京都	藤田 妃夏	高橋 亜子	20	21	24
神奈川県	細井 葉月	網代 羅夢	27	30	17
長野県	小口 真里奈	小泉 穂乃佳	19	22	23
富山県	吉崎 愛来	近藤 希	8	9	12
愛知県	長屋 似奈	田口 みちる	6	7	10
三重県	澤田 枇奈	中村 心	9	12	13
滋賀県	藤居 心優	廣田 楓	7	10	11
京都府	藤原 彩花	澤野 滯	17	20	21
大阪府	川口 暖乃花	篠原 優佳	30	17	20
和歌山県	伊藤 有来	佐津 那波	23	26	27
岡山県	塩尻 聡美	畠沢 美佐季	18	19	22
広島県	北川 幸希	中塩 美桜	11	14	3
山口県	奥田 琴弓	松島 二葉	4	5	8
徳島県	村崎 遥香	吉本 葵	26	27	30
愛媛県	藤井 日和	大谷 心咲	14	3	6
福岡県	萩森 美和	仲 愛莉	10	11	14
長崎県	中島 唯	中島 佳音	12	13	4
熊本県	大鶴 眞悠子	改喜 美友	24	25	28
沖縄県	荻堂 栞鈴	稲福 観夕	22	23	26

レーン配当表(6)

【少年男子・団体戦】

予選 9月29日(月) 15:50～17:40

都道府県	第1投球者	第2投球者	予選		
			1G	2G	3G
北海道	浅野目 拓也	田村 悠	28	29	18
青森県	深堀 堅仁	後藤 遼真	22	23	26
宮城県	中田 弥宏	中村 開	30	17	20
山形県	大門 弘夢	松木 千寛	4	5	8
茨城県	森江 航大	高橋 宏輔	17	20	21
群馬県	折原 慶人	須田 風海音	20	21	24
埼玉県	中川 結雅	齋藤 大哉	5	8	9
神奈川県	彦田 晃嗣	滝沢 樹	18	19	22
富山県	吉崎 一翔	村田 伊亮	7	10	11
石川県	角見 優仁	藤部 飛龍	14	3	6
愛知県	原 理人	長谷川 星風	23	26	27
三重県	谷村 風翔	馬場 琥太郎	3	6	7
滋賀県	山本 大貴	川寄 亮太	26	27	30
京都府	山口 直矢	落合 唯斗	24	25	28
兵庫県	芝柳 迅人	高橋 颯太	21	24	25
和歌山県	柴田 流行	阪本 雷揮	29	18	19
岡山県	土肥 大輔	吉富 孔悌	10	11	14
広島県	石原 大雅	藤井 拓海	9	12	13
山口県	品川 圭佑	佐野 裕葵矢	13	4	5
徳島県	伊達 幹人	福島 滉己	11	14	3
愛媛県	御手洗 彰彦	野村 直史	27	30	17
福岡県	篠塚 元豪	三苫 総太	12	13	4
熊本県	有江 智貴	林田 壮真	8	9	12
大分県	荒金 秀宜	巽 洸一	6	7	10
沖縄県	上原 瑠晟	下地 良尚	19	22	23

レーン配当表(7)

【成年女子・個人戦】

予選前半 9月30日(火) 16:00～19:35

予選後半 10月 1日(水) 11:50～15:25

都道府県	選手氏名	前半			後半		
		1G	2G	3G	4G	5G	6G
北海道	浜田 由衣	7-3	10-3	11-3	28-1	29-1	18-1
	松本 ひとみ	5-3	8-3	9-3	26-1	27-1	30-1
	村瀬 聡子	28-4	29-4	18-4	9-2	12-2	13-2
	古賀 直美	27-3	30-3	17-3	6-1	7-1	10-1
青森県	武山 あ咲	15-2	4-2	5-2	24-3	25-3	28-3
	高橋 咲紀	6-2	7-2	10-2	25-4	28-4	29-4
	青山 千詞	22-1	23-1	26-1	11-3	14-3	15-3
	倉谷 美来	23-1	26-1	27-1	6-2	7-2	10-2
秋田県	佐藤 陽由	10-3	11-3	14-3	17-1	20-1	21-1
	田村 安恵	15-4	4-4	5-4	18-2	19-2	22-2
	千葉 久恵	28-1	29-1	18-1	3-3	6-3	7-3
	渡邊 久美子	21-1	24-1	25-1	4-3	5-3	8-3
福島県	志賀 未来	14-2	15-2	4-2	19-4	22-4	23-4
	鈴木 英子	16-4	3-4	6-4	25-2	28-2	29-2
	宇佐見 玲菜	22-3	23-3	26-3	15-1	4-1	5-1
	林 香織	28-3	29-3	18-3	7-1	10-1	11-1
群馬県	渡辺 莉央	4-2	5-2	8-2	23-4	26-4	27-4
	近藤 眞桜	11-2	14-2	15-2	20-3	21-3	24-3
	大野 萌葉	17-3	20-3	21-3	10-1	11-1	14-1
	竹内 琴音	29-1	18-1	19-1	12-2	13-2	16-2
千葉県	須藤 真海	16-1	3-1	6-1	19-3	22-3	23-3
	清水 弘子	16-2	3-2	6-2	21-4	24-4	25-4
	内野 ひかり	23-2	26-2	27-2	4-4	5-4	8-4
	石橋 怜奈	26-2	27-2	30-2	3-4	6-4	7-4
東京都	東野 桜子	12-1	13-1	16-1	29-3	18-3	19-3
	中島 梨沙	14-1	15-1	4-1	17-3	20-3	21-3
	針谷 明日香	30-1	17-1	20-1	5-3	8-3	9-3
	松野 琴美	18-1	19-1	22-1	7-3	10-3	11-3

レーン配当表(8)

【成年女子・個人戦】

予選前半 9月30日(火) 16:00～19:35

予選後半 10月 1日(水) 11:50～15:25

都道府県	選手氏名	前半			後半		
		1G	2G	3G	4G	5G	6G
神奈川県	中森 麻衣	6-4	7-4	10-4	29-2	18-2	19-2
	菅野 沙織	5-2	8-2	9-2	28-3	29-3	18-3
	畑 琴音	26-3	27-3	30-3	5-1	8-1	9-1
	高田 真帆	18-2	19-2	22-2	9-4	12-4	13-4
富山県	川縁 彩乃	8-3	9-3	12-3	29-1	18-1	19-1
	川西 明子	13-3	16-3	3-3	20-1	21-1	24-1
	山崎 優	23-3	26-3	27-3	16-1	3-1	6-1
	米田 有希	27-2	30-2	17-2	8-3	9-3	12-3
石川県	横山 小枝	12-2	13-2	16-2	17-4	20-4	21-4
	小西 寛子	7-2	10-2	11-2	30-3	17-3	20-3
	市田 彩華	26-4	27-4	30-4	7-2	10-2	11-2
	吉田 美咲	25-3	28-3	29-3	4-1	5-1	8-1
愛知県	林 育美	9-3	12-3	13-3	30-1	17-1	20-1
	酒井 愛	12-3	13-3	16-3	19-1	22-1	23-1
	熊澤 希香	18-3	19-3	22-3	11-1	14-1	15-1
	林 久美子	22-4	23-4	26-4	3-2	6-2	7-2
三重県	種瀬 楓華	3-1	6-1	7-1	28-2	29-2	18-2
	入江 菜々美	5-1	8-1	9-1	30-2	17-2	20-2
	森 恵美	25-2	28-2	29-2	6-3	7-3	10-3
	堀田 恵子	21-2	24-2	25-2	16-3	3-3	6-3
滋賀県	谷原 美来	10-4	11-4	14-4	19-2	22-2	23-2
	筈井 飛鳥	13-2	16-2	3-2	22-3	23-3	26-3
	河原田 沙穂	28-2	29-2	18-2	5-4	8-4	9-4
	山本 さおり	26-1	27-1	30-1	15-3	4-3	5-3

レーン配当表(9)

【成年女子・個人戦】

予選前半 9月30日(火) 16:00～19:35

予選後半 10月 1日(水) 11:50～15:25

都道府県	選手氏名	前半			後半		
		1G	2G	3G	4G	5G	6G
京都府	渡辺 希哩	15-3	4-3	5-3	22-1	23-1	26-1
	田口 詩友璃	10-1	11-1	14-1	27-3	30-3	17-3
	森下 美紀	29-3	18-3	19-3	8-1	9-1	12-1
	北田 真紀子	22-2	23-2	26-2	13-4	16-4	3-4
奈良県	松本 君代	14-3	15-3	4-3	21-1	24-1	25-1
	坂田 望実	9-2	12-2	13-2	18-4	19-4	22-4
	遠山 昌子	20-2	21-2	24-2	11-4	14-4	15-4
	越打 由樹	29-4	18-4	19-4	4-2	5-2	8-2
和歌山県	伊勢川 華愛	3-3	6-3	7-3	24-1	25-1	28-1
	安里 紗希	4-4	5-4	8-4	27-2	30-2	17-2
	山本 菜由	17-1	20-1	21-1	14-2	15-2	4-2
	川口 茉紀	30-3	17-3	20-3	9-1	12-1	13-1
岡山県	松本 歩奈美	11-3	14-3	15-3	18-1	19-1	22-1
	吉田 凜	4-1	5-1	8-1	21-3	24-3	25-3
	三原 唯	29-2	18-2	19-2	10-3	11-3	14-3
	難波 理恵子	24-4	25-4	28-4	5-2	8-2	9-2
広島県	折口 愛里沙	15-1	4-1	5-1	26-2	27-2	30-2
	門田 裕美	16-3	3-3	6-3	23-1	26-1	27-1
	石本 美来	27-1	30-1	17-1	10-2	11-2	14-2
	小川 美由希	20-3	21-3	24-3	13-1	16-1	3-1
山口県	倉林 亜夢	8-2	9-2	12-2	27-4	30-4	17-4
	山田 涼夏	11-1	14-1	15-1	22-2	23-2	26-2
	後田 いずみ	30-4	17-4	20-4	11-2	14-2	15-2
	川口 友加	24-2	25-2	28-2	15-4	4-4	5-4

レーン配当表(10)

【成年女子・個人戦】

予選前半 9月30日(火) 16:00～19:35

予選後半 10月 1日(水) 11:50～15:25

都道府県	選手氏名	前半			後半		
		1G	2G	3G	4G	5G	6G
徳島県	小林 愛理	7-1	10-1	11-1	18-3	19-3	22-3
	小林 茜	9-1	12-1	13-1	20-2	21-2	24-2
	武藤 美咲	30-2	17-2	20-2	7-4	10-4	11-4
	星合 美香	19-3	22-3	23-3	12-1	13-1	16-1
愛媛県	御手洗 加奈	8-4	9-4	12-4	17-2	20-2	21-2
	泉宗 心音	14-4	15-4	4-4	23-2	26-2	27-2
	高橋 遥夏	25-1	28-1	29-1	8-2	9-2	12-2
	牟田 智子	24-1	25-1	28-1	13-3	16-3	3-3
福岡県	長尾 梨沙	10-2	11-2	14-2	29-4	18-4	19-4
	藤田 亜美	6-3	7-3	10-3	27-1	30-1	17-1
	渡邊 美和	20-4	21-4	24-4	15-2	4-2	5-2
	本村 優佳	17-2	20-2	21-2	12-3	13-3	16-3
佐賀県	砂川 舞佳	6-1	7-1	10-1	23-3	26-3	27-3
	鈴木 波流	4-3	5-3	8-3	25-1	28-1	29-1
	笠原 裕奈	19-2	22-2	23-2	14-3	15-3	4-3
	吉村 澄栄	18-4	19-4	22-4	13-2	16-2	3-2
長崎県	堤 妃奈	12-4	13-4	16-4	21-2	24-2	25-2
	富永 知紗希	8-1	9-1	12-1	25-3	28-3	29-3
	山中 美智恵	24-3	25-3	28-3	3-1	6-1	7-1
	山崎 千代美	20-1	21-1	24-1	9-3	12-3	13-3
沖縄県	大城 美幸	3-2	6-2	7-2	26-3	27-3	30-3
	仲宗根 雅恵	13-1	16-1	3-1	24-2	25-2	28-2
	伊禮 美乃	21-3	24-3	25-3	14-1	15-1	4-1
	荻堂 純子	19-1	22-1	23-1	16-2	3-2	6-2

レーン配当表(11)

【成年男子・個人戦】

予選前半 10月 1日(水) 8:00～11:35

予選後半 10月 1日(水) 15:40～19:15

都道府県	選手氏名	前半			後半		
		1G	2G	3G	4G	5G	6G
北海道	高橋 麗也	4-3	5-3	8-3	25-1	28-1	29-1
	堤 遼馬	11-3	14-3	15-3	18-1	19-1	22-1
	鈴木 恒有	19-3	22-3	23-3	12-1	13-1	16-1
	松村 勇汰	26-3	27-3	30-3	5-1	8-1	9-1
青森県	西山 響	15-2	4-2	5-2	24-3	25-3	28-3
	中村 優也	5-3	8-3	9-3	26-1	27-1	30-1
	中村 祐麻	28-1	29-1	18-1	3-3	6-3	7-3
	石川 新	24-4	25-4	28-4	5-2	8-2	9-2
岩手県	菅原 奏	10-2	11-2	14-2	29-4	18-4	19-4
	一条 竜矢	12-3	13-3	16-3	19-1	22-1	23-1
	小森 和耶	19-1	22-1	23-1	16-2	3-2	6-2
	佐藤 信也	26-4	27-4	30-4	7-2	10-2	11-2
宮城県	熊澤 かうり	6-1	7-1	10-1	23-3	26-3	27-3
	松本 拓也	12-2	13-2	16-2	17-4	20-4	21-4
	中畑 豪	20-4	21-4	24-4	15-2	4-2	5-2
	小原 栄輝	30-4	17-4	20-4	11-2	14-2	15-2
茨城県	川上 諒	14-2	15-2	4-2	19-4	22-4	23-4
	増井 陸	13-1	16-1	3-1	24-2	25-2	28-2
	柳田 祐路	25-1	28-1	29-1	8-2	9-2	12-2
	斉藤 翼	24-1	25-1	28-1	13-3	16-3	3-3
群馬県	砂長 空	10-4	11-4	14-4	19-2	22-2	23-2
	瀧村 和則	8-4	9-4	12-4	17-2	20-2	21-2
	宮澤 拓哉	18-4	19-4	22-4	13-2	16-2	3-2
	牧 雅明	18-2	19-2	22-2	9-4	12-4	13-4
埼玉県	寺島 光希	5-1	8-1	9-1	30-2	17-2	20-2
	志摩 竜太郎	7-3	10-3	11-3	28-1	29-1	18-1
	坪井 亮太	28-4	29-4	18-4	9-2	12-2	13-2
	入江 健太	28-2	29-2	18-2	5-4	8-4	9-4

レーン配当表(12)

【成年男子・個人戦】

予選前半 10月 1日(水) 8:00～11:35

予選後半 10月 1日(水) 15:40～19:15

都道府県	選手氏名	前半			後半		
		1G	2G	3G	4G	5G	6G
東京都	植木 詠章	10-3	11-3	14-3	17-1	20-1	21-1
	熊沢 颯	9-3	12-3	13-3	30-1	17-1	20-1
	田窪 一翔	18-3	19-3	22-3	11-1	14-1	15-1
	和田 翔吾	29-4	18-4	19-4	4-2	5-2	8-2
石川県	川崎 拓也	7-1	10-1	11-1	18-3	19-3	22-3
	田中 椋也	11-2	14-2	15-2	20-3	21-3	24-3
	松本 健斗	27-3	30-3	17-3	6-1	7-1	10-1
	山本 青空	22-3	23-3	26-3	15-1	4-1	5-1
福井県	橋梅 広土	6-2	7-2	10-2	25-4	28-4	29-4
	漆崎 寛朗	3-2	6-2	7-2	26-3	27-3	30-3
	橋梅 令士	24-2	25-2	28-2	15-4	4-4	5-4
	佐藤 公紀	26-1	27-1	30-1	15-3	4-3	5-3
静岡県	内藤 広人	12-1	13-1	16-1	29-3	18-3	19-3
	長澤 椋	15-3	4-3	5-3	22-1	23-1	26-1
	堂元 孝修	27-2	30-2	17-2	8-3	9-3	12-3
	戸塚 翼	30-1	17-1	20-1	5-3	8-3	9-3
三重県	瀬戸 翔	13-3	16-3	3-3	20-1	21-1	24-1
	山本 晃	13-2	16-2	3-2	22-3	23-3	26-3
	高木 大輔	23-2	26-2	27-2	4-4	5-4	8-4
	加藤 勇紀	26-2	27-2	30-2	3-4	6-4	7-4
滋賀県	近藤 雄太	6-3	7-3	10-3	27-1	30-1	17-1
	伊吹 太陽	4-1	5-1	8-1	21-3	24-3	25-3
	新畑 雄飛	21-3	24-3	25-3	14-1	15-1	4-1
	千葉 鉄也	25-2	28-2	29-2	6-3	7-3	10-3

レーン配当表(13)

【成年男子・個人戦】

予選前半 10月 1日(水) 8:00～11:35

予選後半 10月 1日(水) 15:40～19:15

都道府県	選手氏名	前半			後半		
		1G	2G	3G	4G	5G	6G
京都府	紺谷 涼太	14-4	15-4	4-4	23-2	26-2	27-2
	内藤 慎之介	4-2	5-2	8-2	23-4	26-4	27-4
	松本 春樹	23-3	26-3	27-3	16-1	3-1	6-1
	勝元 貴也	29-3	18-3	19-3	8-1	9-1	12-1
兵庫県	森田 竜之助	16-2	3-2	6-2	21-4	24-4	25-4
	石橋 利一	11-1	14-1	15-1	22-2	23-2	26-2
	草留 智大	17-3	20-3	21-3	10-1	11-1	14-1
	立花 尚貴	17-2	20-2	21-2	12-3	13-3	16-3
和歌山県	和田 翔吾	12-4	13-4	16-4	21-2	24-2	25-2
	安里 秀策	8-1	9-1	12-1	25-3	28-3	29-3
	長谷川 龍	29-1	18-1	19-1	12-2	13-2	16-2
	池下 侑多朗	20-1	21-1	24-1	9-3	12-3	13-3
岡山県	錦織 秀	15-1	4-1	5-1	26-2	27-2	30-2
	能勢 啓喜	15-4	4-4	5-4	18-2	19-2	22-2
	飯野 恭平	23-1	26-1	27-1	6-2	7-2	10-2
	寺尾 隼	28-3	29-3	18-3	7-1	10-1	11-1
広島県	山本 智哉	4-4	5-4	8-4	27-2	30-2	17-2
	宮中 貴英	8-3	9-3	12-3	29-1	18-1	19-1
	濱野 柊矢	22-4	23-4	26-4	3-2	6-2	7-2
	星川 創	21-1	24-1	25-1	4-3	5-3	8-3
山口県	田代 晟彬	14-3	15-3	4-3	21-1	24-1	25-1
	大谷 駿斗	16-1	3-1	6-1	19-3	22-3	23-3
	奥田 悠介	21-2	24-2	25-2	16-3	3-3	6-3
	杉山 辰也	19-2	22-2	23-2	14-3	15-3	4-3

レーン配当表(14)

【成年男子・個人戦】

予選前半 10月 1日(水) 8:00～11:35

予選後半 10月 1日(水) 15:40～19:15

都道府県	選手氏名	前半			後半		
		1G	2G	3G	4G	5G	6G
徳島県	志磨 祐紀	16-4	3-4	6-4	25-2	28-2	29-2
	近藤 健一	10-1	11-1	14-1	27-3	30-3	17-3
	伊達 智	30-3	17-3	20-3	9-1	12-1	13-1
	薦 幸児	22-2	23-2	26-2	13-4	16-4	3-4
高知県	岡崎 力	3-1	6-1	7-1	28-2	29-2	18-2
	村田 和穂	7-2	10-2	11-2	30-3	17-3	20-3
	野坂 将希	25-3	28-3	29-3	4-1	5-1	8-1
	野村 佳弘	30-2	17-2	20-2	7-4	10-4	11-4
福岡県	長尾 脩甫	3-3	6-3	7-3	24-1	25-1	28-1
	樋口 幹人	8-2	9-2	12-2	27-4	30-4	17-4
	熊 凌汰	29-2	18-2	19-2	10-3	11-3	14-3
	升水 祐介	27-1	30-1	17-1	10-2	11-2	14-2
佐賀県	笠原 裕惺	5-2	8-2	9-2	28-3	29-3	18-3
	枝吉 誠	6-4	7-4	10-4	29-2	18-2	19-2
	西島本 有生	20-3	21-3	24-3	13-1	16-1	3-1
	村濱 裕紀	24-3	25-3	28-3	3-1	6-1	7-1
長崎県	福満 亮	14-1	15-1	4-1	17-3	20-3	21-3
	山下 知且	16-3	3-3	6-3	23-1	26-1	27-1
	徳久 祐紀	20-2	21-2	24-2	11-4	14-4	15-4
	山下 堯紘	22-1	23-1	26-1	11-3	14-3	15-3
沖縄県	野村 幸助	9-1	12-1	13-1	20-2	21-2	24-2
	大城 安史	9-2	12-2	13-2	18-4	19-4	22-4
	中里 隆和	18-1	19-1	22-1	7-3	10-3	11-3
	座波 政斗	17-1	20-1	21-1	14-2	15-2	4-2

レーン配当表(15)

【成年女子・団体戦(2人チーム)】

予選 10月 2日(木) 7:00~10:35

都道府県	第1投球者		第2投球者		予選		
					1G	2G	3G
北海道A	浜田	由衣	松本	ひとみ	29-1	18-1	19-1
北海道B	村瀬	聡子	古賀	直美	11-1	14-1	15-1
青森県A	武山	あ咲	高橋	咲紀	17-1	20-1	21-1
青森県B	青山	千詞	倉谷	美来	8-2	9-2	12-2
秋田県A	佐藤	陽由	田村	安恵	18-1	19-1	22-1
秋田県B	千葉	久恵	渡邊	久美子	6-2	7-2	10-2
福島県A	志賀	未来	鈴木	英子	24-1	25-1	28-1
福島県B	宇佐見	玲菜	林	香織	10-1	11-1	14-1
群馬県A	渡辺	莉央	近藤	眞桜	17-2	20-2	21-2
群馬県B	大野	萌葉	竹内	琴音	3-2	6-2	7-2
千葉県A	須藤	真海	清水	弘子	21-2	24-2	25-2
千葉県B	内野	ひかり	石橋	怜奈	15-2	4-2	5-2
東京都A	東野	桜子	中島	梨沙	25-1	28-1	29-1
東京都B	針谷	明日香	松野	琴美	7-2	10-2	11-2
神奈川県A	中森	麻衣	菅野	沙織	27-1	30-1	17-1
神奈川県B	畑	琴音	高田	真帆	16-2	3-2	6-2
富山県A	川縁	彩乃	川西	明子	22-2	23-2	26-2
富山県B	山崎	優	米田	有希	9-1	12-1	13-1
石川県A	横山	小枝	小西	寛子	26-2	27-2	30-2
石川県B	市田	彩華	吉田	美咲	6-1	7-1	10-1
愛知県A	林	育美	酒井	愛	20-2	21-2	24-2
愛知県B	熊澤	希香	林	久美子	15-1	4-1	5-1
三重県A	種瀬	楓華	入江	菜々美	22-1	23-1	26-1
三重県B	森	恵美	堀田	恵子	4-1	5-1	8-1
滋賀県A	谷原	美来	筈井	飛鳥	23-1	26-1	27-1

レーン配当表(16)

【成年女子・団体戦(2人チーム)】

予選 10月 2日(木) 7:00～10:35

都道府県	第1投球者	第2投球者	予選		
			1G	2G	3G
滋賀県B	河原田 沙穂	山本 さおり	12-1	13-1	16-1
京都府A	渡辺 希哩	田口 詩友璃	25-2	28-2	29-2
京都府B	森下 美紀	北田 真紀子	7-1	10-1	11-1
奈良県A	松本 君代	坂田 望実	28-1	29-1	18-1
奈良県B	遠山 昌子	越打 由樹	10-2	11-2	14-2
和歌山県A	伊勢川 華愛	安里 紗希	26-1	27-1	30-1
和歌山県B	山本 菜由	川口 茉紀	11-2	14-2	15-2
岡山県A	松本 歩奈美	吉田 凜	28-2	29-2	18-2
岡山県B	三原 唯	難波 理恵子	3-1	6-1	7-1
広島県A	折口 愛里沙	門田 裕美	20-1	21-1	24-1
広島県B	石本 美来	小川 美由希	14-1	15-1	4-1
山口県A	倉林 亜夢	山田 涼夏	24-2	25-2	28-2
山口県B	後田 いずみ	川口 友加	4-2	5-2	8-2
徳島県A	小林 愛理	小林 茜	21-1	24-1	25-1
徳島県B	武藤 美咲	星合 美香	5-1	8-1	9-1
愛媛県A	御手洗 加奈	泉宗 心音	30-1	17-1	20-1
愛媛県B	高橋 遥夏	牟田 智子	12-2	13-2	16-2
福岡県A	長尾 梨沙	藤田 亜美	29-2	18-2	19-2
福岡県B	渡邊 美和	本村 優佳	16-1	3-1	6-1
佐賀県A	砂川 舞佳	鈴木 波流	18-2	19-2	22-2
佐賀県B	笠原 裕奈	吉村 澄栄	14-2	15-2	4-2
長崎県A	堤 妃奈	富永 知紗希	19-1	22-1	23-1
長崎県B	山中 美智恵	山崎 千代美	13-1	16-1	3-1
沖縄県A	大城 美幸	仲宗根 雅恵	30-2	17-2	20-2
沖縄県B	伊禮 美乃	荻堂 純子	8-1	9-1	12-1

レーン配当表(17)

【成年男子・団体戦(2人チーム)】

予選 10月 2日(木) 10:50~14:25

都道府県	第1投球者	第2投球者	予選		
			1G	2G	3G
北海道A	高橋 麗也	堤 遼馬	24-2	25-2	28-2
北海道B	鈴木 恒有	松村 勇汰	13-1	16-1	3-1
青森県A	西山 響	中村 優也	21-2	24-2	25-2
青森県B	中村 祐麻	石川 新	15-2	4-2	5-2
岩手県A	菅原 奏	一条 竜矢	17-1	20-1	21-1
岩手県B	小森 和耶	佐藤 信也	8-1	9-1	12-1
宮城県A	熊澤 かうり	松本 拓也	26-2	27-2	30-2
宮城県B	中畑 豪	小原 栄輝	10-1	11-1	14-1
茨城県A	川上 諒	増井 陸	22-1	23-1	26-1
茨城県B	柳田 祐路	斉藤 翼	7-1	10-1	11-1
群馬県A	砂長 空	瀧村 和則	18-2	19-2	22-2
群馬県B	宮澤 拓哉	牧 雅明	11-2	14-2	15-2
埼玉県A	寺島 光希	志摩 竜太郎	20-2	21-2	24-2
埼玉県B	坪井 亮太	入江 健太	11-1	14-1	15-1
東京都A	植木 詠章	熊沢 颯	22-2	23-2	26-2
東京都B	田窪 一翔	和田 翔吾	9-1	12-1	13-1
石川県A	川崎 拓也	田中 椋也	27-1	30-1	17-1
石川県B	松本 健斗	山本 青空	16-2	3-2	6-2
福井県A	橋梅 広土	漆崎 寛朗	24-1	25-1	28-1
福井県B	橋梅 令士	佐藤 公紀	5-1	8-1	9-1
静岡県A	内藤 広人	長澤 棕	19-1	22-1	23-1
静岡県B	堂元 孝修	戸塚 翼	14-1	15-1	4-1
三重県A	瀬戸 翔	山本 晃	21-1	24-1	25-1
三重県B	高木 大輔	加藤 勇紀	15-1	4-1	5-1
滋賀県A	近藤 雄太	伊吹 太陽	28-1	29-1	18-1

レーン配当表(18)

【成年男子・団体戦(2人チーム)】

予選 10月 2日(木) 10:50~14:25

都道府県	第1投球者		第2投球者		予選		
					1G	2G	3G
滋賀県B	新畑	雄飛	千葉	鉄也	7-2	10-2	11-2
京都府A	紺谷	涼太	内藤	慎之介	20-1	21-1	24-1
京都府B	松本	春樹	勝元	貴也	12-2	13-2	16-2
兵庫県A	森田	竜之助	石橋	利一	25-2	28-2	29-2
兵庫県B	草留	智大	立花	尚貴	3-2	6-2	7-2
和歌山県A	和田	翔吾	安里	秀策	26-1	27-1	30-1
和歌山県B	長谷川	龍	池下	侑多朗	14-2	15-2	4-2
岡山県A	錦織	秀	能勢	啓喜	30-2	17-2	20-2
岡山県B	飯野	恭平	寺尾	隼	10-2	11-2	14-2
広島県A	山本	智哉	宮中	貴英	28-2	29-2	18-2
広島県B	濱野	柊矢	星川	創	4-1	5-1	8-1
山口県A	田代	晟彬	大谷	駿斗	25-1	28-1	29-1
山口県B	奥田	悠介	杉山	辰也	3-1	6-1	7-1
徳島県A	志磨	祐紀	近藤	健一	17-2	20-2	21-2
徳島県B	伊達	智	薦	幸児	12-1	13-1	16-1
高知県A	岡崎	力	村田	和穂	18-1	19-1	22-1
高知県B	野坂	将希	野村	佳弘	6-1	7-1	10-1
福岡県A	長尾	脩甫	樋口	幹人	29-1	18-1	19-1
福岡県B	熊	凌汰	升水	祐介	4-2	5-2	8-2
佐賀県A	笠原	裕惺	枝吉	誠	23-1	26-1	27-1
佐賀県B	西島本	有生	村濱	裕紀	8-2	9-2	12-2
長崎県A	福満	亮	山下	知且	29-2	18-2	19-2
長崎県B	徳久	祐紀	山下	堯紘	6-2	7-2	10-2
沖縄県A	野村	幸助	大城	安史	30-1	17-1	20-1
沖縄県B	中里	隆和	座波	政斗	16-1	3-1	6-1

レーン配当表(19)

【成年女子・団体戦(4人チーム)】

予選 10月 2日(木) 16:20~20:00

都道府県	第1投球者	第2投球者	予選		
	第3投球者	第4投球者	1G	2G	3G
北海道	浜田 由衣	松本 ひとみ	4	5	8
	村瀬 聡子	古賀 直美			
青森県	武山 あ咲	青山 千詞	21	24	25
	倉谷 美来	高橋 咲紀			
秋田県	千葉 久恵	佐藤 陽由	14	3	6
	田村 安恵	渡邊 久美子			
福島県	志賀 未来	宇佐見 玲菜	19	22	23
	林 香織	鈴木 英子			
群馬県	近藤 眞桜	竹内 琴音	12	13	4
	大野 萌葉	渡辺 莉央			
千葉県	須藤 真海	内野 ひかり	28	29	18
	石橋 怜奈	清水 弘子			
東京都	松野 琴美	東野 桜子	23	26	27
	針谷 明日香	中島 梨沙			
神奈川県	中森 麻衣	高田 真帆	18	19	22
	畑 琴音	菅野 沙織			
富山県	山崎 優	米田 有希	11	14	3
	川縁 彩乃	川西 明子			
石川県	横山 小枝	市田 彩華	3	6	7
	吉田 美咲	小西 寛子			
愛知県	熊澤 希香	林 育美	26	27	30
	酒井 愛	林 久美子			
三重県	森 恵美	種瀬 楓華	22	23	26
	堀田 恵子	入江 菜々美			
滋賀県	谷原 美来	河原田 沙穂	29	18	19
	山本 さおり	筈井 飛鳥			

レーン配当表(20)

【成年女子・団体戦(4人チーム)】

予選 10月 2日(木) 16:20~20:00

都道府県	第1投球者	第2投球者	予選		
	第3投球者	第4投球者	1G	2G	3G
京都府	渡辺 希哩	田口 詩友璃	27	30	17
	森下 美紀	北田 真紀子			
奈良県	坂田 望実	越打 由樹	6	7	10
	遠山 昌子	松本 君代			
和歌山県	伊勢川 華愛	安里 紗希	17	20	21
	山本 菜由	川口 茉紀			
岡山県	松本 歩奈美	難波 理恵子	10	11	14
	吉田 凜	三原 唯			
広島県	石本 美来	折口 愛里沙	24	25	28
	小川 美由希	門田 裕美			
山口県	倉林 亜夢	山田 涼夏	5	8	9
	後田 いずみ	川口 友加			
徳島県	小林 愛理	小林 茜	30	17	20
	武藤 美咲	星合 美香			
愛媛県	御手洗 加奈	高橋 遥夏	8	9	12
	牟田 智子	泉宗 心音			
福岡県	長尾 梨沙	本村 優佳	13	4	5
	渡邊 美和	藤田 亜美			
佐賀県	砂川 舞佳	吉村 澄栄	9	12	13
	笠原 裕奈	鈴木 波流			
長崎県	堤 妃奈	山中 美智恵	20	21	24
	富永 知紗希	山崎 千代美			
沖縄県	大城 美幸	伊禮 美乃	7	10	11
	荻堂 純子	仲宗根 雅恵			

レーン配当表(21)

【成年男子・団体戦(4人チーム)】

予選 10月 3日(金) 7:00~10:40

都道府県	第1投球者	第2投球者	予選		
	第3投球者	第4投球者	1G	2G	3G
北海道	高橋 麗也	鈴木 恒有	11	14	3
	堤 遼馬	松村 勇汰			
青森県	西山 響	中村 優也	23	26	27
	中村 祐麻	石川 新			
岩手県	菅原 奏	小森 和耶	24	25	28
	佐藤 信也	一条 竜矢			
宮城県	熊澤 かうり	松本 拓也	21	24	25
	中畑 豪	小原 栄輝			
茨城県	斉藤 翼	柳田 祐路	10	11	14
	増井 陸	川上 諒			
群馬県	砂長 空	瀧村 和則	18	19	22
	宮澤 拓哉	牧 雅明			
埼玉県	坪井 亮太	入江 健太	20	21	24
	寺島 光希	志摩 竜太郎			
東京都	植木 詠章	和田 翔吾	26	27	30
	熊沢 颯	田窪 一翔			
石川県	川崎 拓也	松本 健斗	22	23	26
	田中 椋也	山本 青空			
福井県	橋梅 広土	橋梅 令士	3	6	7
	佐藤 公紀	漆崎 寛朗			
静岡県	内藤 広人	堂元 孝修	5	8	9
	戸塚 翼	長澤 棕			
三重県	瀬戸 翔	高木 大輔	29	18	19
	山本 晃	加藤 勇紀			
滋賀県	近藤 雄太	伊吹 太陽	13	4	5
	千葉 鉄也	新畑 雄飛			

レーン配当表(22)

【成年男子・団体戦(4人チーム)】

予選 10月 3日(金) 7:00~10:40

都道府県	第1投球者	第2投球者	予選		
	第3投球者	第4投球者	1G	2G	3G
京都府	松本 春樹	勝元 貴也	28	29	18
	紺谷 涼太	内藤 慎之介			
兵庫県	森田 竜之助	石橋 利一	14	3	6
	草留 智大	立花 尚貴			
和歌山県	和田 翔吾	長谷川 龍	4	5	8
	池下 侑多朗	安里 秀策			
岡山県	能勢 啓喜	錦織 秀	17	20	21
	飯野 恭平	寺尾 隼			
広島県	山本 智哉	濱野 柊矢	19	22	23
	星川 創	宮中 貴英			
山口県	田代 晟彬	大谷 駿斗	12	13	4
	奥田 悠介	杉山 辰也			
徳島県	志磨 祐紀	近藤 健一	6	7	10
	伊達 智	薦 幸児			
高知県	岡崎 力	村田 和穂	27	30	17
	野坂 将希	野村 佳弘			
福岡県	樋口 幹人	長尾 脩甫	7	10	11
	熊 凌汰	升水 祐介			
佐賀県	枝吉 誠	笠原 裕惺	9	12	13
	西島本 有生	村濱 裕紀			
長崎県	福満 亮	徳久 祐紀	30	17	20
	山下 堯紘	山下 知且			
沖縄県	座波 政斗	中里 隆和	8	9	12
	野村 幸助	大城 安史			

レーン配当表(23)

【少年女子・個人戦】

決勝 9月30日(火) 10:30～11:45

予選順位	都道府県名	選手氏名	決勝		
			1G	2G	3G
1位			17	20	21
2位			18	19	22
3位			19	22	23
4位			20	21	24
5位			21	24	17
6位			22	23	18
7位			23	18	19
8位			24	17	20

【少年女子・団体戦】

決勝 9月30日(火) 12:05～14:00

予選順位	都道府県名	決勝		
		1G	2G	3G
1位		7	10	11
2位		8	9	12
3位		9	12	13
4位		10	11	14
5位		11	14	7
6位		12	13	8
7位		13	8	9
8位		14	7	10

レーン配当表(24)

【少年男子・個人戦】

決勝 9月30日(火) 10:30～11:45

予選順位	都道府県名	選手氏名	決勝		
			1G	2G	3G
1位			7	10	11
2位			8	9	12
3位			9	12	13
4位			10	11	14
5位			11	14	7
6位			12	13	8
7位			13	8	9
8位			14	7	10

【少年男子・団体戦】

決勝 9月30日(火) 12:05～14:00

予選順位	都道府県名	決勝		
		1G	2G	3G
1位		17	20	21
2位		18	19	22
3位		19	22	23
4位		20	21	24
5位		21	24	17
6位		22	23	18
7位		23	18	19
8位		24	17	20

レーン配当表(25)

【成年女子・個人戦】

決勝 10月 2日(木) 14:45～16:00

予選順位	都道府県名	選手氏名	決勝		
			1G	2G	3G
1位			17	20	21
2位			18	19	22
3位			19	22	23
4位			20	21	24
5位			21	24	17
6位			22	23	18
7位			23	18	19
8位			24	17	20

【成年女子・団体戦（2人チーム）】

決勝 10月 3日(金) 11:00～12:55

予選順位	都道府県名	決勝		
		1G	2G	3G
1位		7	10	11
2位		8	9	12
3位		9	12	13
4位		10	11	14
5位		11	14	7
6位		12	13	8
7位		13	8	9
8位		14	7	10

【成年女子・団体戦（4人チーム）】

決勝 10月 3日(金) 13:15～15:25

予選順位	都道府県名	決勝		
		1G	2G	3G
1位		7・8	9・10	11・12
2位		9・10	11・12	13・14
3位		11・12	13・14	7・8
4位		13・14	7・8	9・10
5位		17・18	19・20	21・22
6位		19・20	21・22	23・24
7位		21・22	23・24	17・18
8位		23・24	17・18	19・20

レーン配当表(26)

【成年男子・個人戦】

決勝 10月 2日(木) 14:45～16:00

予選順位	都道府県名	選手氏名	決勝		
			1G	2G	3G
1位			7	10	11
2位			8	9	12
3位			9	12	13
4位			10	11	14
5位			11	14	7
6位			12	13	8
7位			13	8	9
8位			14	7	10

【成年男子・団体戦（2人チーム）】

決勝 10月 3日(金) 11:00～12:55

予選順位	都道府県名	決勝		
		1G	2G	3G
1位		17	20	21
2位		18	19	22
3位		19	22	23
4位		20	21	24
5位		21	24	17
6位		22	23	18
7位		23	18	19
8位		24	17	20

【成年男子・団体戦（4人チーム）】

決勝 10月 3日(金) 15:45～17:55

予選順位	都道府県名	決勝		
		1G	2G	3G
1位		7・8	9・10	11・12
2位		9・10	11・12	13・14
3位		11・12	13・14	7・8
4位		13・14	7・8	9・10
5位		17・18	19・20	21・22
6位		19・20	21・22	23・24
7位		21・22	23・24	17・18
8位		23・24	17・18	19・20

男女総合成績(天皇杯得点)・女子総合成績(皇后杯得点)一覧表

区 分	天 皇 杯 得 点									
						皇 后 杯 得 点				
	成年男子			少年男子		成年女子			少年女子	
	個人戦	2人 チーム戦	4人 チーム戦	個人戦	団体戦	個人戦	2人 チーム戦	4人 チーム戦	個人戦	団体戦
都道府県名										
北海道										
青森県										
岩手県										
宮城県										
秋田県										
山形県										
福島県										
茨城県										
栃木県										
群馬県										
埼玉県										
千葉県										
東京都										
神奈川県										
山梨県										
新潟県										
長野県										
富山県										
石川県										
福井県										
静岡県										
愛知県										
三重県										
岐阜県										
滋賀県										
京都府										
大阪府										
兵庫県										
奈良県										
和歌山県										
鳥取県										
島根県										
岡山県										
広島県										
山口県										
香川県										
徳島県										
愛媛県										
高知県										
福岡県										
佐賀県										
長崎県										
熊本県										
大分県										
宮崎県										
鹿児島県										
沖縄県										

男女総合成績(天皇杯得点)・女子総合成績(皇后杯得点)順位一覧表

都道府県名	男女総合得点 (天皇杯得点)				女子総合得点 (皇后杯得点)			
	競技得点 合 計	参加得点	合 計	順 位	競技得点 合 計	参加得点	合 計	順 位
北海道								
青森県								
岩手県								
宮城県								
秋田県								
山形県								
福島県								
茨城県								
栃木県								
群馬県								
埼玉県								
千葉県								
東京都								
神奈川県								
山梨県								
新潟県								
長野県								
富山県								
石川県								
福井県								
静岡県								
愛知県								
三重県								
岐阜県								
滋賀県								
京都府								
大阪府								
兵庫県								
奈良県								
和歌山県								
鳥取県								
島根県								
岡山県								
広島県								
山口県								
香川県								
徳島県								
愛媛県								
高知県								
福岡県								
佐賀県								
長崎県								
熊本県								
大分県								
宮崎県								
鹿児島県								
沖縄県								

ボウリング競技規則(抜粋)

1. 競技規程

第 128 条(アプローチの状態変更の禁止、ハンドコンディショナーの使用)

アプローチのいずれの部分にも、他の競技者の平常な状態を損なう異物の塗布を禁止する。これには、靴に付着するベビーパウダー、軽石粉、ロージンなどを含む。また、柔らかいゴム製またはアプローチ上で擦れ落ちるような靴底も禁止する。

競技会において、指定された場所以外でロージンやパウダー等のハンドコンディショナーを使用してはならない。競技会役員が使用場所を指定するものとする。

第 134 条(スローボウリングの禁止)

競技者は自分の投球順が来たら投球できるよう準備をしておき、左右のすぐ隣のボックスが空いているときは、アプローチまたは投球の開始を遅らせてはならない(1 ペアレーンカーティシー／1ボックス牽制)。

- (1) 競技者は常に 1 ペアレーンカーティシーを遵守すること(ただし、競技会ごとのルールで指定できるものとする)。同じボックスの競技者は、左右のボックスでそれぞれ 1 名の競技者が投球を完了しない内に連続して投球することはできない。ただし、左右のボックスの競技者の投球準備ができていない場合、または順番を譲った場合は除く。
- (2) 競技者が前項の手順を遵守しない場合、スローボウリングと判定する。これらの手順を遵守しない競技者は、競技会役員から以下のように宣告を受けるものとする。
 - (イ)初回の違反には注意(ペナルティなし)
 - (ロ)2 回目の違反には警告(ペナルティなし)
 - (ハ)1 日のシフトごとに 3 回目以降の違反にはペナルティとしてそのフレームを 0 点とする。
- (3) 審判員は本規定の施行を解釈するために、最も進行の早いところと比べて、1 レーンに 1 名又は 2 名で競技する場合は原則として 4 フレーム以上、3 名以上で競技する場合は 2 フレーム以上遅れている競技者またはチームを特に監視するものとする(ただし端のレーンは除く)。

第 136 条(ボウリングボールの表面調整及び表面加工)

ボウリングボールの表面調整及び表面加工については次のとおりとする。

- (1) 化学物質を使った製品は、IBF Web サイト(www.IBF.org)内の「使用可能製品リスト(Acceptable list)」の「公認競技中に使用可能(Acceptable during certified competition)」に記載されているもののみを使用可能とする。「固体または研磨剤を含む製品(Products Containing Solids or Abrasives)」、また「いかなる場合も使用不可(Not acceptable at any time)」に記載されているものは一切使用できない。ボールを調整及び加工した後は、表面を必ずきれいに拭き取らなければならない。
- (2) 手によるボールの表面調整は、ゲーム間(その競技者がゲームを終了してから、次のゲームの第一投を投球するまでの間)に指定されたエリア内で、他の競技者の競技に遅延をさせないという条件で許可される。
- (3) ボールの表面加工は上記以外に、公式練習中、競技直前の練習ボール中、及びシフト間に指定されたエリア内でのみ許可される。
- (4) ゲーム中にボールの表面調整及び加工をすることは認められない。ゲーム中に表面調整及び加工をおこなった場合、そのゲームは 0 点とする。

2. 競技会規程

第 221 条(審判の宣告への干渉)

競技中、競技者は審判員の指示に従い、審判員の宣告に干渉することを禁止する。

3. 選手権競技会規程

第 406 条(遅 刻)

競技者は、競技開始予定時間の 30 分前までに、あらかじめ定められた場所に集合し、受付を通過する。通過しない場合は、その種目は失格となる。

第 407 条(ボウラーズエリア)

選手権競技会において競技者、観客に識別できるようボウラーズエリアを定めるものとする。

- 2 各団体において、ボウラーズエリアに入ることのできるのは監督 1 名とする。ただし、各選手権競技会において別の定めがある場合、この限りではない。
- 3 ボウラーズエリアに入ることのできる範囲は、自チームの競技しているボウラーズエリア内とする。

第 410 条(使用ボール)

選手権競技会に使用するボールは、次の各号に基づいて使用するものとする。

- (1) 選手権競技会に出場する者の使用ボールは、すべて競技会開始日の最新の USBC 公認ボールリスト(<https://bowl.com/approved-ball-list>)に掲載されているボール又はこの法人の公式認定ボールで認証検査に合格したものであること。また、常にこの法人規定の「ボール検査合格証」を携帯していなければならない。
- (2) 合格したボールでも、表面にテープ、ペンキ等で目印をしたり、明らかに故意にキズをつけた場合は、失格とする。
- (3) ボールの表面調整及び表面加工については、競技規程第 136 条を適用する。
- (4) 競技者は、大会に使用するすべてのボールを登録しなければならない。
- (5) 1991 年 1 月 1 日以降に製造されたボールのみ使用が認められる。
- (6) 上記のほか、競技規程第 135 条を適用する。

第 411 条(ボールの再検査)

競技中参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。登録されていないボールを会場に持ち込んだ場合、大会の記録はすべて無効となる。

第 412 条(審判の裁定)

次のような場合には、必ず審判の裁定を受ける事項とする。

- (1) ファール判定器の故障によって生じたとみられる場合。
- (2) ゲーム途中のリセットの場合、ただし、第 10 フレームの第 3 投球後を除く。
- (3) ピンの脱落やマシンタッチ及びアウトオブレンジの場合。

※現在競技進行のスピード化をはかる目的で次の通り指導事項とする。

- ① 明らかなピンの脱落の場合、同じボックスの競技者の了解を得てリセットすることを認める。
- ② ボールづまりの場合は、トラブルボタンを押してから審判員を呼ぶこと。

第 41 条(記録、計算、転記ミス)

スコアの計算違い、記録カードへの転記の間違い、記録カードの計算違い等は、発見次第、競技会役員が訂正する。

第 417 条(施設条件についての抗議)

競技者はテレビ中継、その他照明、施設条件等について一切の異議の申し立てはできない。

第 418 条(競技者の服装)

選手権競技会に参加する競技者の服装は、競技規程第 137 条及びこの法人の服装規則を遵守すること。

※国民スポーツ大会では、この規定の他、公益財団法人日本スポーツ協会制定の国民スポーツ大会ユニフォーム規程が適用される。

第 419 条(競技中の飲食、喫煙)

競技中の飲食、喫煙は一切禁止する。ただし、アルコールを含まない飲料をボウラースエリア以外の指定された場所で飲むことは許される。

また、競技者はボウラースエリアをみだりに離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず審判員に申し出て承認を得なければならない。

※ その他は、すべてJB競技規則を適用する。

【同順位の裁定】

1. 個人戦、団体戦の予選において同点が出た場合は、競技規程第 133 条により裁定する。
2. 個人戦、団体戦の決勝において同得点の場合は、国民スポーツ大会総則により、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

競技者が国スポの参加資格に 違反していることが判明したときの措置

1 参加得点について

個人の資格違反者が判明しても、団体の参加得点は与える。

2 種目の得点について

(1) 競技前に判明したとき

- ① 当該選手の参加を認めない。
- ② 当該選手がメンバーになっている団体戦の参加も認めない。

(2) 競技中に判明したとき

- ① 当該選手は失格とし、競技成績は0とする。
- ② 決勝戦中に判明したときも失格とし、成績順位の8位は空位とする。
(予選終了後に判明したときは、次点者を決勝戦に出場させる。)

(3) 終了後に判明したとき

- ① 成績発表前するとき
当該選手および団体戦も失格とし、下位者の順位を繰り上げて順位を決定し、競技得点を与える。また、8位は空位とする。
- ② 表彰後に判明したとき
当該選手またはチームが入賞しているときは、入賞を取り消し、その競技得点を0とし、該当する順位には下位者を繰り上げ8位は空位とする。

J B 褒 賞

優秀技能賞

… ジュニアは満18歳未満、シニアは満50歳以上とする。

1 ゲーム賞 → 1ゲームの優秀成績に対して授与

- 一般男子 … 270、280、290、296～300
- 一般女子 … 260、270、280、290、296～300
- ジュニア男子 … 260、270、280、290、296～300
- ジュニア女子 … 250、260、270、280、290、296～300
- シニア男子 … 260、270、280、290、296～300
- シニア女子 … 250、260、270、280、290、296～300

2 シリーズ賞 → 3ゲームシリーズの優秀成績に対し授与

- 一般男子 … 750、800、850、900
- 一般女子 … 700、750、800、850、900
- ジュニア男子 … 700、750、800、850、900
- ジュニア女子 … 650、700、750、800、850、900
- シニア男子 … 700、750、800、850、900
- シニア女子 … 650、700、750、800、850、900

特別技能賞

- 1 オールスペア賞 … 1ゲームの全フレームをスペアのみにより完成した場合
ただし、第10フレームの第3投は関係ない。
- 2 トリプルキット賞 … 3ゲームシリーズで各ゲームのスコアが同一の場合
- 3 ダッチマン賞 … スペアとストライクが交互に記録され、得点が200点となった
ただし、カレントフレームスコアリングの場合、得点は不問とする
- 4 スプリット賞 … 7-10番、4-6-7-10番ピンスプリットを倒した場合

栄 光 の 記 録

男女総合成績(天皇杯得点)

順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
第43回 (京都)	京都府 (51)	福岡県 (50)	石川県 (41)	兵庫県 (37)	熊本県 (33)	東京都 (31)	埼玉県 (30)	広島県(29) 長野県(29)
第44回 (北海道)	北海道 (86. 5)	福岡県 (57. 5)	京都府 (56)	岡山県 (43. 5)	大阪府 (40)	愛知県 (39)	神奈川県 (35)	石川県 (34)
第45回 (福岡)	福岡県 (106. 5)	東京都 (55)	北海道 (47)	京都府 (43. 5)	大阪府(42) 熊本県(42)	—	埼玉県 (38)	長崎県 (35. 5)
第46回 (石川)	石川県 (68)	愛知県 (51)	神奈川県 (49)	北海道 (47)	福岡県 (46. 5)	茨城県 (42)	東京都 (40)	京都府 (38)
第47回 (山形)	山形県 (65)	三重県 (47)	東京都 (42)	愛知県 (41)	北海道 (39)	兵庫県 (38. 5)	神奈川県(37) 富山県(37) 京都府(37)	—
第48回 (徳島)	徳島県 (77)	京都府 (47)	福岡県 (45)	群馬県 (41)	東京都 (39)	千葉県 (38)	埼玉県(35) 広島県(35)	—
第49回 (愛知)	北海道 (69)	愛知県 (64. 5)	福岡県 (55)	大阪府 (51. 5)	岡山県 (43)	広島県 (38)	千葉県(36) 静岡県(36)	—
第50回 (福島)	北海道 (58)	静岡県(47) 福岡県(47)	—	富山県 (44)	兵庫県 (42)	長崎県 (41. 5)	東京都 (40)	京都府 (39)
第51回 (広島)	北海道 (66)	静岡県 (52)	大阪府 (51)	長崎県 (45)	京都府 (40. 5)	福岡県 (37)	愛媛県 (35. 5)	愛知県(33) 広島県(33)
第52回 (大阪)	大阪府 (81)	北海道 (71)	京都府 (50)	神奈川県 (41)	兵庫県 (38)	富山県(32) 沖縄県(32)	—	埼玉県(30) 熊本県(30)
第53回 (神奈川)	福岡県 (53)	北海道(46) 広島県(46)	—	大阪府 (43)	神奈川県 (41)	東京都 (37)	愛知県 (36)	静岡県 (32)
第54回 (熊本)	長崎県 (55. 5)	大阪府 (53. 5)	広島県 (52)	北海道 (50)	福岡県(44) 熊本県(44)	—	愛知県 (38)	東京都 (37)
第55回 (富山)	神奈川県 (53)	福岡県 (50)	埼玉県 (46)	富山県 (39)	北海道 (38)	京都府 (33.5)	大阪府 (33)	鹿児島県 (30. 5)
第56回 (宮城)	大阪府 (54)	宮城県(43) 石川県(43)	—	神奈川県 (41)	福岡県 (36)	静岡県(33) 京都府(33) 岡山県(33)	—	—
第57回 (高知)	大阪府 (60. 5)	神奈川県(46) 福岡県(46)	—	静岡県 (40. 5)	北海道 (37)	愛知県 (33)	千葉県(31) 熊本県(31)	—
第58回 (静岡)	静岡県 (95)	大阪府 (84)	福岡県 (76)	神奈川県 (54)	北海道(49) 新潟県(49) 兵庫県(49)	—	—	東京都 (48)
第59回 (埼玉)	埼玉県 (96)	静岡県 (94)	神奈川県 (69)	北海道 (68)	大阪府 (62)	福島県 (48)	福岡県 (47)	宮城県 (46)
第60回 (岡山)	沖縄県 (72)	岡山県 (71)	福岡県 (70. 5)	北海道 (69)	大阪府 (67)	兵庫県 (62)	神奈川県 (57)	石川県 (56)
第61回 (兵庫)	愛知県 (73)	神奈川県 (72. 5)	大阪府 (70)	兵庫県 (69)	北海道 (64)	福島県 (61)	大分県 (52)	福岡県 (46)
第62回 (秋田)	埼玉県 (75)	愛知県 (68)	山梨県 (65)	北海道 (57)	福岡県 (56. 5)	広島県 (53)	静岡県 (52)	沖縄県 (49. 5)
第63回 (大分)	福岡県 (150)	埼玉県 (85)	岡山県 (79)	静岡県 (67)	大阪府 (66)	北海道 (54)	神奈川県 (46)	千葉県 (45)
第64回 (新潟)	福岡県 (90)	埼玉県 (86)	石川県 (81)	大阪府 (73)	広島県 (65)	千葉県(64) 徳島県(64) 静岡県(64)	—	—
第65回 (千葉)	大阪府 (81)	千葉県 (71. 5)	神奈川県 (70)	岐阜県 (66)	北海道 (64)	広島県 (58)	愛知県 (54)	群馬県 (52)
第66回 (山口)	東京都 (77)	北海道 (75)	大阪府 (74)	神奈川県(66) 岐阜県(66)	—	千葉県 (62)	福岡県 (58)	群馬県 (55)
第67回 (岐阜)	北海道 (105)	神奈川県 (87)	福岡県 (82. 5)	埼玉県 (72. 5)	大阪府 (61)	群馬県 (56)	京都府 (48)	静岡県 (44)

栄 光 の 記 録

男女総合成績(天皇杯得点)

第68回 (東京)	大阪府 (119)	広島県 (85)	千葉県 (84)	長崎県 (77)	神奈川県 (67)	福岡県 (65)	埼玉県 (56)	東京都 (44)
第69回 (長崎)	長崎県 (85)	東京都 (77)	北海道(76) 大阪府(76)	—	埼玉県 (69)	神奈川県 (61)	広島県 (58)	福岡県 (50)
第70回 (和歌山)	愛知県 (139)	神奈川県 (82. 5)	東京都 (72. 5)	北海道(69) 大阪府(69)	—	広島県 (54)	和歌山県 (47)	岡山県 (46)
第71回 (岩手)	千葉県 (98)	神奈川県 (80)	北海道 (67)	大阪府 (54)	和歌山県 (52)	茨城県(46) 東京都(46)	—	群馬県 (45)
第72回 (愛媛)	神奈川県 (128)	群馬県 (70)	愛媛県 (69)	東京都 (64)	愛知県 (63)	和歌山県 (62)	広島県 (58)	大阪府 (53)
第73回 (福井)	神奈川県 (123)	大阪府 (71. 5)	愛知県 (66)	福岡県 (65)	広島県 (64)	和歌山県 (43)	兵庫県 (42)	福井県 (40)
第74回 (茨城)	和歌山県 (120)	神奈川県 (100)	愛知県 (97)	北海道 (77)	東京都 (59)	三重県 (53)	熊本県 (52)	広島県 (46.5)
第77回 (栃木)	群馬県 (79)	和歌山県 (74)	愛知県 (71)	茨城県 (70. 5)	鹿児島県 (58. 5)	神奈川県 (51)	千葉県(44) 福岡県(44)	—
特別国体 (鹿児島)	神奈川県 (104)	群馬県 (83)	大阪府 (74)	三重県 (58)	静岡県 (54)	東京都 (47)	滋賀県 (43)	広島県 (41)
第78回 (佐賀)	熊本県 (91)	神奈川県 (90)	佐賀県 (76)	京都府 (74)	長崎県 (62)	静岡県 (48)	沖縄県 (46)	三重県 (44)

栄 光 の 記 録

女子総合成績(皇后杯得点)

順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
第43回 (京都)	京都府 (40)	東京都 (31)	熊本県 (30)	埼玉県 (28)	大阪府 (27)	石川県 (25)	兵庫県 (24)	福岡県 (23)
第44回 (北海道)	北海道 (61)	京都府 (42)	福岡県 (37. 5)	熊本県 (32)	大阪府 (29)	岡山県 (28. 5)	神奈川県 (27)	東京都 (26)
第45回 (福岡)	福岡県 (64)	埼玉県 (38)	北海道 (34)	京都府 (33)	静岡県 (31)	愛知県(28) 長崎県(28)	—	東京都 (27)
第46回 (石川)	愛知県 (51)	福岡県 (44)	北海道 (33)	石川県(30) 大阪府(30)	—	京都府 (27)	兵庫県(26) 広島県(26)	—
第47回 (山形)	愛知県 (41)	北海道 (34)	兵庫県 (33. 5)	三重県(33) 宮崎県(33)	—	大阪府 (32)	神奈川県 (30)	東京都 (26)
第48回 (徳島)	徳島県 (43)	京都府 (37)	福岡県 (35)	東京都(30) 千葉県(30)	—	埼玉県(27) 愛知県(27)	—	北海道(25) 群馬県(25)
第49回 (愛知)	北海道 (48)	愛知県 (47)	大阪府 (34)	千葉県 (29)	京都府 (28)	岡山県(27) 徳島県(27) 福岡県(27)	—	—
第50回 (福島)	北海道 (45)	東京都(34) 愛知県(34)	—	京都府 (33)	富山県 (29)	群馬県 (28)	福島県(25) 福岡県(25)	—
第51回 (広島)	北海道 (49. 5)	大阪府(36) 長崎県(36)	—	静岡県 (32)	愛媛県 (26)	京都府 (22. 5)	長野県(22) 愛知県(22) 広島県(22)	—
第52回 (大阪)	大阪府 (55)	北海道 (41)	千葉県 (28)	愛媛県 (27)	神奈川県 (26)	兵庫県(25) 沖縄県(25)	—	広島県 (21)
第53回 (神奈川)	東京都 (37)	広島県 (32)	熊本県 (30)	北海道(28) 沖縄県(28)	—	愛知県 (25)	神奈川県(24) 長崎県(24)	—
第54回 (熊本)	福岡県 (39)	北海道 (35)	広島県(34) 長崎県(34)	—	大阪府 (32. 5)	東京都 (29)	愛知県(26) 熊本県(26)	—
第55回 (富山)	神奈川県 (43)	埼玉県 (40)	福岡県 (29)	和歌山県 (24)	富山県(23) 石川県(23)	—	北海道(21) 東京都(21)	—
第56回 (宮城)	静岡県 (33)	石川県(32) 岡山県(32)	—	東京都 (31)	和歌山県 (27)	宮城県 (26)	大阪府 (25)	京都府(24) 長崎県(24)
第57回 (高知)	大阪府 (51. 5)	福岡県 (46)	北海道 (28)	静岡県 (26)	埼玉県(24) 神奈川県(24)	—	広島県 (21)	新潟県 (20)
第58回 (静岡)	静岡県 (61. 0)	新潟県 (49)	福岡県 (43)	大阪府 (41)	福島県 (36)	東京都(35) 兵庫県(35) 宮崎県(35)	—	—
第59回 (埼玉)	埼玉県 (62)	北海道 (58)	福岡県 (47)	兵庫県 (32)	福島県 (31)	神奈川県 (30)	岡山県 (29)	静岡県 (28)
第60回 (岡山)	沖縄県 (68)	兵庫県 (55)	大阪府 (47)	北海道 (39)	石川県 (35)	鹿児島県 (33)	山梨県(29) 静岡県(29)	—
第61回 (兵庫)	愛知県 (52)	大分県 (47)	大阪府 (44)	北海道 (41)	福島県 (40)	神奈川県 (37. 5)	群馬県 (36)	熊本県 (31. 5)
第62回 (秋田)	埼玉県 (67)	北海道 (47)	山梨県 (45)	東京都 (37)	愛知県 (35)	神奈川県(33) 福岡県(33)	—	栃木県 (31)
第63回 (大分)	埼玉県 (64)	福岡県 (58)	北海道 (54)	岡山県 (52)	静岡県 (46)	栃木県(38) 愛知県(38)	—	千葉県 (36)
第64回 (新潟)	福岡県 (60)	徳島県 (54)	静岡県 (49)	広島県 (43)	千葉県 (39)	三重県 (38)	埼玉県(34) 沖縄県(34)	—
第65回 (千葉)	神奈川県 (70)	北海道 (64)	千葉県 (59. 5)	広島県 (35)	愛知県 (33)	福岡県 (32)	徳島県 (31)	静岡県 (29)
第66回 (山口)	北海道 (75)	東京都 (67)	千葉県 (56)	岐阜県 (43)	青森県 (41)	神奈川県 (39)	岡山県 (31)	福岡県 (28)
第67回 (岐阜)	北海道 (84)	福岡県 (60. 5)	千葉県 (42. 5)	静岡県 (38)	長崎県 (34)	埼玉県 (32. 5)	東京都 (31)	徳島県 (29. 5)

栄 光 の 記 録

女子総合成績(皇后杯得点)

第68回 (東京)	千葉県 (84)	埼玉県 (56)	大阪府 (51)	長崎県 (47)	福岡県 (46)	愛知県 (37)	広島県 (35)	北海道 (31)
第69回 (長崎)	長崎県 (58)	北海道(52) 大阪府(52)	—	東京都 (47)	埼玉県 (44)	千葉県 (39)	静岡県(37) 広島県(37)	—
第70回 (和歌山)	愛知県 (67)	東京都 (64. 5)	岡山県(41) 愛媛県(41)	—	北海道 (40)	千葉県 (39)	大阪府 (36)	和歌山県 (34)
第71回 (岩手)	千葉県 (68)	北海道 (46)	大阪府 (45)	和歌山県 (40)	鳥取県 (39)	神奈川県(35) 愛知県(35)	—	岐阜県 (34)
第72回 (愛媛)	和歌山県 (59)	千葉県 (47)	愛媛県 (46)	東京都 (40)	神奈川県 (38)	群馬県(36) 愛知県(36)	—	福島県 (32)
第73回 (福井)	神奈川県 (76)	大阪府 (60. 5)	広島県 (54)	徳島県 (37)	愛知県(36) 岡山県(35)	—	福井県 (34)	群馬県 (33)
第74回 (茨城)	神奈川県 (60)	三重県 (53)	北海道 (51)	和歌山県 (43)	愛知県 (42)	千葉県 (40)	東京都 (37)	茨城県 (28)
第77回 (栃木)	和歌山県 (56)	茨城県 (45. 5)	群馬県 (44)	愛知県 (38)	北海道 (36. 5)	大阪府 (34)	広島県 (34)	宮城県 (28)
特別国体 (鹿児島)	大阪府 (66)	群馬県 (55)	静岡県 (54)	東京都(47) 神奈川県(47)	—	広島県 (41)	三重県 (35)	奈良県 (33)
第78回 (佐賀)	神奈川県 (76)	京都府(52) 佐賀県(52)	—	三重県 (44)	沖縄県(43) 滋賀県(43)	—	群馬県 (37)	岡山県 (34)

栄 光 の 記 録

第69回「長崎がんばらんば国体」

順 位		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
成年男子	個人戦	安里秀策 (岐阜県) 2, 223	村濱裕紀 (沖縄県) 2, 144	大秋 稜 (大分県) 2, 083	手島大地 (長崎県) 2, 041	伊藤 丈 (福島県) 1, 996	立木芳邦 (北海道) 1, 947	林 優介 (福島県) 1, 897	山中將吉 (埼玉県) 1, 860
	団体戦 (2人チーム)	神奈川A (佐々木・村上) 4, 048	長野A (竹下・中島) 4, 007	大分B (大秋・緒方) 3, 972	宮崎B (大山・加治佐) 3, 960	広島B (竹本・森本) 3, 951	沖縄B (比嘉・下地) 3, 858	宮城A (千葉・早坂) 3, 777	岡山B (牧・志摩) 3, 771
	団体戦 (4人チーム)	愛知県 5, 426	福岡県 5, 307	長崎県 5, 278	神奈川県 5, 265	北海道 5, 228	広島県 5, 216	埼玉県 5, 145	滋賀県 4, 984
成年女子	個人戦	向谷美咲 (千葉県) 2, 091	内藤真裕実 (東京都) 2, 041	霜出佳奈 (千葉県) 1, 961	石嶺可奈子 (沖縄県) 1, 932	亀島愛永 (和歌山県) 1, 919	浅田梨奈 (長崎県) 1, 885	川口友加 (山口県) 1, 875	山中 香 (埼玉県) 1, 842
	団体戦 (2人チーム)	大阪A (中野・武部) 3, 958	北海道A (保木・松田) 3, 892	長崎A (浅田・手島) 3, 889	千葉B (霜出・向谷) 3, 842	北海道B (清野・福園) 3, 820	東京B (飯田・吉田) 3, 819	青森A (齋藤・鳥谷部) 3, 768	秋田A (大淵・千葉) 3, 707
	団体戦 (4人チーム)	静岡県 5, 153	東京都 5, 092	大阪府 5, 061	埼玉県 5, 053	和歌山県 4, 997	北海道 4, 935	長崎県 4, 900	沖縄県 4, 589
少年男子	個人戦	宮澤拓哉 (群馬県) 2, 053	小野在由 (東京都) 2, 035	飯島一馬 (埼玉県) 2, 029	夏目智樹 (岐阜県) 1, 981	山本達也 (長崎県) 1, 950	工藤陽一郎 (青森県) 1, 926	佐古健太郎 (東京都) 1, 903	岸崎大知 (福岡県) 1, 888
	団体戦	大阪府 3, 994	東京都 3, 909	福岡県 3, 908	群馬県 3, 812	埼玉県 3, 704	北海道 3, 699	山口県 3, 635	岐阜県 3, 627
少年女子	個人戦	泉宗心音 (愛媛県) 1, 940	原田菜津実 (長崎県) 1, 924	石本美来 (広島県) 1, 912	今井双葉 (長崎県) 1, 908	西中川茉央 (岡山県) 1, 839	本橋優美 (埼玉県) 1, 824	入江菜々美 (愛知県) 1, 817	山本菜由 (和歌山県) 1, 738
	団体戦	三重県 3, 799	広島県 3, 769	愛媛県 3, 749	埼玉県 3, 715	神奈川県 3, 706	長崎県 3, 693	愛知県 3, 665	静岡県 3, 623

【第68回大会以前の成績について】

第43回「京都国体」(昭和63年)から第68回「スポーツ祭東京2013」(平成25年)までの歴代成績は、公益財団法人 JAPAN BOWLINGのホームページ上で公開しています。

([https://www.japan-bowling.or.jp/wp-](https://www.japan-bowling.or.jp/wp-content/uploads/2024/08/b99bd56e6d5fb9f2a8a75941c51bbc4e.pdf)

[content/uploads/2024/08/b99bd56e6d5fb9f2a8a75941c51bbc4e.pdf](https://www.japan-bowling.or.jp/wp-content/uploads/2024/08/b99bd56e6d5fb9f2a8a75941c51bbc4e.pdf))

QRコードからご確認いただけます ⇒



栄 光 の 記 録

第70回「紀の国わかやま国体」

順 位		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
成 年 男 子	個人戦	升水祐介 (福岡県) 2, 042	伊吹太陽 (滋賀県) 2, 020	宇良 晃 (沖縄県) 2, 015	高淵玲志 (岡山県) 1, 999	坂本政武 (徳島県) 第5位	斎藤祐太 (神奈川県) 1, 989	松永歳広 (北海道) 1, 953	川崎拓也 (石川県) 1, 880
	団体戦 (2人チーム)	神奈川A (菊地・佐々木) 3, 847	愛知A (大月・吉田) 3, 802	福岡B (渡邊・升水) 3, 787	北海道B (小濱・保木) 3, 757	京都A (上手・上手) 3, 750	神奈川B (斎藤・川田) 3, 710	福島A (遠藤・伊藤) 3, 639	熊本B (村上・下林) 3, 629
	団体戦 (4人チーム)	神奈川県 5, 308	愛知県 5, 051	大阪府 4, 960	宮城県 4, 826	北海道 4, 823	大分県 4, 811	茨城県 4, 703	青森県 4, 630
成 年 女 子	個人戦	向谷美咲 (千葉県) 2, 031	木村香津美 (東京都) 第2位	木村真理 (徳島県) 1, 904	竹川ひかる (岐阜県) 1, 871	松尾星伽 (愛知県) 1, 867	山崎多鶴 (京都府) 1, 846	中野麻希 (大阪府) 1, 833	大嶋有香 (埼玉県) 1, 801
	団体戦 (2人チーム)	東京A (箕輪・木村) 3, 664	福島A (大河内・鈴木) 3, 660	愛知B (片伯部・吉田) 3, 601	和歌山A (垣添・川口) 3, 570	広島A (石本・門田) 3, 550	北海道B (清野・古賀) 3, 520	宮城A (遠藤・岩本) 3, 511	東京B (秋山・吉田) 3, 410
	団体戦 (4人チーム)	大阪府 4, 737	北海道 4, 710	岐阜県 4, 615	東京都 4, 531	愛知県 4, 494	広島県 4, 471	千葉県 4, 452	熊本県 4, 441
少 年 男 子	個人戦	山下諄也 (東京都) 1, 989	上村弥奨 (和歌山県) 1, 933	高平沙也斗 (愛知県) 1, 917	宮脇秀輔 (広島県) 1, 915	鎌田隆一 (徳島県) 1, 856	上村壮汰 (和歌山県) 1, 823	増井 陸 (茨城県) 1, 817	畑川侑太 (青森県) 1, 721
	団体戦	愛知県 3, 968	三重県 3, 819	広島県 3, 779	大阪府 3, 742	京都府 3, 689	茨城県 3, 682	熊本県 3, 633	和歌山県 3, 616
少 年 女 子	個人戦	大林令奈 (岡山県) 1, 998	泉宗心音 (愛媛県) 1, 992	浦野未瑚 (埼玉県) 1, 888	河野悠佳 (岡山県) 1, 842	坂倉 凜 (三重県) 1, 816	小澤茉莉 (静岡県) 1, 797	水谷若菜 (愛知県) 1, 778	小野瑞歩 (静岡県) 1, 757
	団体戦	愛媛県 3, 834	愛知県 3, 672	岡山県 3, 593	千葉県 3, 590	神奈川県 3, 506	和歌山県 3, 483	東京都 3, 413	静岡県 3, 405

栄 光 の 記 録

第71回「希望郷いわて国体」

順 位		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
成年男子	個人戦	石川裕大 (群馬県) 2, 082	竹林俊介 (岐阜県) 1, 986	千葉達也 (宮城県) 1, 984	和田翔吾 (和歌山県) 1, 970	佐々木智之 (神奈川県) 1, 955	大下耕平 (愛媛県) 1, 947	早坂友伸 (宮城県) 1, 945	宮澤拓哉 (群馬県) 1, 911
	団体戦 (2人チーム)	千葉B (吉野・吉野) 3, 645	群馬A (佐藤・宮澤) 3, 638	福島A (遠藤・伊藤) 3, 626	神奈川B (斎藤・川田) 3, 618	北海道A (小濱・保木) 3, 617	静岡A (鈴木・石島) 3, 572	大阪A (武本・濱田) 3, 571	宮崎B (大山・加治佐) 3, 569
	団体戦 (4人チーム)	山口県 5, 030	広島県 4, 986	神奈川県 4, 959	熊本県 4, 928	埼玉県 4, 903	北海道 4, 794	千葉県 4, 789	大阪府 4, 666
成年女子	個人戦	武部公英 (大阪府) 1, 890	木村真理 (徳島県) 1, 872	向谷美咲 (千葉県) 1, 840	鈴木順子 (千葉県) 1, 837	藤原聖佳 (神奈川県) 1, 829	北村 恵 (東京都) 1, 800	菅原要子 (岩手県) 1, 799	倉岡順子 (岡山県) 1, 776
	団体戦 (2人チーム)	岐阜A (谷原・竹川) 3, 690	千葉A (霜出・向谷) 3, 651	東京A (北村・吉田) 3, 594	京都B (川崎・山崎) 3, 535	大阪A (中野・武部) 3, 519	神奈川A (藤原・佐藤) 3, 476	福島B (斎藤・石塚) 3, 367	京都A (宮城・鍵野) 3, 360
	団体戦 (4人チーム)	千葉県 4, 579	北海道 4, 513	和歌山県 4, 474	大阪府 4, 416	神奈川県 4, 396	徳島県 4, 361	福島県 4, 341	石川県 4, 199
少年男子	個人戦	畑 秀明 (神奈川県) 2, 001	上村弥奨 (和歌山県) 1, 970	山本智哉 (広島県) 1, 904	中村優也 (青森県) 1, 882	阿部航希 (岩手県) 1, 873	増井 陸 (茨城県) 1, 825	鈴木涼平 (群馬県) 1, 785	東 莉大 (愛知県) 1, 778
	団体戦	三重県 3, 799	茨城県 3, 663	長崎県 3, 648	東京都 3, 626	青森県 3, 572	兵庫県 3, 535	宮崎県 3, 493	群馬県 3, 490
少年女子	個人戦	浦川滯奈 (鳥取県) 1, 920	大林令奈 (岡山県) 1, 788	泉宗心音 (愛媛県) 1, 772	鈴木波流 (静岡県) 1, 742	小坂梨聖 (福岡県) 1, 732	小杉真穂 (茨城県) 1, 681	向谷優那 (千葉県) 1, 629	早川知里 (愛知県) 1, 579
	団体戦	愛知県 3, 540	鳥取県 3, 537	静岡県 3, 385	北海道 3, 380	和歌山県 3, 334	茨城県 3, 321	岡山県 3, 313	京都府 3, 203

栄 光 の 記 録

第72回「愛顔つなぐえひめ国体」

順 位		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
成年男子	個人戦	安里秀策 (沖縄県) 2, 024	宮澤拓哉 (群馬県) 第2位 2, 006	佐藤貴啓 (群馬県)	山下知且 (長崎県) 1, 971	春田恒平 (茨城県) 1, 947	吉田健大 (福井県) 1, 943	八鍬良太 (埼玉県) 1, 932	小原栄輝 (宮城県) 1, 854
	団体戦 (2人チーム)	神奈川B (土方・佐々木) 3, 871	広島A (中塩・難波江)	神奈川A (斎藤・川田) 3, 751	愛知B (高平・白井) 3, 747	岡山A (河崎・飯野) 3, 716	宮城A (千葉・早坂) 3, 681	埼玉A (八鍬・今北) 3, 642	茨城A (斉藤・増井) 3, 597
	団体戦 (4人チーム)	神奈川県 4, 940	群馬県 4, 918	大阪府 4, 915	青森県 4, 831	埼玉県 4, 788	茨城県 4, 551	京都府 4, 513	広島県 4, 491
成年女子	個人戦	今井双葉 (熊本県) 1, 910	藤原聖佳 (神奈川県) 1, 764	箕輪加奈 (東京都) 1, 762	向谷美咲 (千葉県) 1, 760	大河内未来 (福島県) 1, 732	川口茉紀 (和歌山県) 1, 724	高山実樹 (千葉県) 1, 686	鹿山まり子 (徳島県) 1, 682
	団体戦 (2人チーム)	和歌山A (山本・川口) 3, 449	神奈川B (藤原・太田) 3, 425	千葉A (高山・向谷) 3, 424	広島B (畠田・小川) 3, 364	北海道B (村瀬・古賀) 3, 325	群馬B (生方・戸塚) 3, 312	北海道A (清野・保木) 3, 307	岐阜A (入江・竹川) 3, 280
	団体戦 (4人チーム)	東京都 4, 593	大阪府 4, 550	福島県 4, 494	京都府 4, 447	徳島県 4, 430	岡山県 4, 379	群馬県 4, 359	和歌山県 4, 345
少年男子	個人戦	高橋晃大 (愛媛県) 1, 978	長澤知靖 (埼玉県) 1, 925	本橋竜輔 (東京都) 1, 904	山本青空 (石川県) 1, 900	山田成人 (大阪府) 1, 893	新舎拓巳 (岡山県) 1, 883	徳久恵大 (長崎県) 1, 857	植松智之 (静岡県) 1, 827
	団体戦	神奈川県 3, 885	長崎県 3, 622	東京都 3, 596	愛媛県 3, 549	愛知県 3, 535	広島県 3, 486	石川県 3, 452	和歌山県 3, 414
少年女子	個人戦	泉宗心音 (愛媛県) 1, 764	越智真南 (愛媛県) 1, 743	坂井百望 (福岡県) 1, 738	川田菜摘 (群馬県) 1, 725	大林令奈 (岡山県) 1, 694	森内菜摘 (徳島県) 1, 693	水谷秋穂 (愛知県) 1, 691	赤田稀歌 (和歌山県) 1, 687
	団体戦	愛知県 3, 520	愛媛県 3, 468	和歌山県 3, 392	福岡県 3, 370	千葉県 3, 362	静岡県 3, 335	群馬県 3, 279	長崎県 3, 264

栄 光 の 記 録

第73回「福井しあわせ元気国体」

順 位		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
成 年 男 子	個人戦	守屋雄斗 (大阪府) 2, 087	佐々木智之 (神奈川県) 2, 080	片山寛史 (北海道) 1, 991	大城安史 (沖縄県) 1, 989	石川裕大 (群馬県) 1, 969	堀田紘佑 (徳島県) 1, 957	伊藤拓摩 (富山) 1, 931	保木慎吾 (北海道) 1, 876
	団体戦 (2人チーム)	神奈川A (斎藤・佐々木) 4, 104	和歌山B (渡邊・川崎) 3, 978	新潟A (金子・廣川) 3, 923	岩手A (阿部・佐藤) 3, 908	愛媛A (大下・虎尾) 3, 898	長崎A (原口・山下) 3, 896	愛知B (高平・白井) 3, 819	茨城A (川上・春田) 3, 738
	団体戦 (4人チーム)	愛知県 5, 207	福岡県 5, 198	三重県 5, 100	石川県 5, 084	滋賀県 5, 065	神奈川県 4, 906	福井県 4, 903	大阪府 4, 893
成 年 女 子	個人戦	大林令奈 (岡山県) 1, 976	武部公英 (大阪府) 1, 887	北村 恵 (東京都) 1, 866	石本美来 (広島県) 1, 865	浦野実紅 (福井県) 1, 854	高橋由菜 (京都府) 1, 846	亀島愛永 (福井県) 1, 820	今井双葉 (熊本県) 1, 817
	団体戦 (2人チーム)	広島A (石本・小川) 3, 558	神奈川A (藤原・菅野) 3, 519	岡山A (伊原・大林) 3, 511	大阪A (中野・武部) 3, 483	千葉A (向谷・向谷) 第5位	大阪B (庭月野・谷口) 3, 463	福井A (浦野・亀島) 3, 453	神奈川B (柴田・佐藤) 3, 365
	団体戦 (4人チーム)	神奈川県 4, 720	岐阜県 4, 652	大阪府 4, 598	広島県 4, 488	千葉県 4, 462	福井県 4, 450	北海道 4, 391	山口県 4, 351
少 年 男 子	個人戦	浅川啓大 (兵庫県) 1, 956	吉原正明 (埼玉県) 1, 877	竹田 航 (和歌山県) 1, 874	徳久恵大 (長崎県) 1, 841	羽ヶ崎匠海 (神奈川県) 1, 838	五十嵐勇樹 (北海道) 1, 770	清水嵐太 (群馬県) 1, 767	井上巧眞 (広島県) 1, 749
	団体戦	兵庫県 3, 970	静岡県 3, 869	福岡県 3, 821	青森県 3, 794	長崎県 3, 725	広島県 3, 714	東京都 3, 631	神奈川県 3, 629
少 年 女 子	個人戦	渡辺莉央 (群馬県) 1, 952	尾上萌楓 (山口県) 1, 834	伊勢川華愛 (和歌山県) 1, 815	森内菜摘 (徳島県) 1, 780	原野萌花 (福岡県) 1, 770	野仲美咲 (東京都) 1, 742	山田悠畝奈 (愛知県) 1, 709	小林 茜 (徳島県) 1, 654
	団体戦	愛知県 3, 465	徳島県 3, 439	神奈川県 3, 396	群馬県 3, 353	福岡県 3, 318	熊本県 3, 312	山口県 3, 239	福井県 3, 225

栄 光 の 記 録

第74回「いきいき茨城ゆめ国体」

順 位		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
成年男子	個人戦	鶴見亮剛 (神奈川県) 2,133	村濱裕紀 (沖縄県) 2,100	宮野史隆 (山口県) 2,099	千葉鉄也 (滋賀県) 2,054	徳久恵大 (長崎県) 2,050	和田翔吾 (和歌山県) 2,038	佐々木智之 (神奈川県) 2,008	武本真明 (大阪府) 2,007
	団体戦 (2人チーム)	和歌山A (和・安里) 3,991	神奈川A (斎藤・佐々木) 3,977	広島A (山本・中塩) 3,893	沖縄A (大城・村濱) 3,869	滋賀A (伊吹・千葉) 3,868	和歌山B (渡邊・川崎) 3,867	埼玉A (塚越・櫛笥) 3,828	愛媛A (西村・高橋) 3,741
	団体戦 (4人チーム)	熊本県 5,236	愛知県 5,233	和歌山県 5,178	静岡県 5,049	栃木県 5,034	愛媛県 5,007	広島県 4,998	千葉県 4,741
成年女子	個人戦	横山実美 (神奈川県) 1,926	清野えみり (北海道) 1,904	入江菜々美 (三重県) 1,883	阪本和江 (福岡県) 1,877	谷原美来 (三重県) 1,846	大林令奈 (岡山県) 1,840	久松美穂 (静岡県) 1,836	中馬亜希子 (富山県) 1,804
	団体戦 (2人チーム)	三重A (谷原・入江) 3,693	千葉A (向谷・鈴木) 3,677	神奈川B (菅野・佐藤) 3,659	北海道B (工藤・清野) 3,647	和歌山B (伊勢川・安里) 3,533	千葉B (水野・藤田) 3,445	広島B (細戸・門田) 3,422	福岡A (坂井・藤田)
	団体戦 (4人チーム)	神奈川県 4,939	和歌山県 4,916	茨城県 4,833	北海道 4,788	埼玉県 4,625	三重県 4,603	熊本県 4,533	静岡県 4,379
少年男子	個人戦	坂原慎平 (和歌山県) 2,052	林 元輝 (愛知県) 1,973	齋藤 翔 (愛知県) 1,960	井上巧眞 (広島県) 1,923	熊澤 颯 (東京都) 1,892	西島本有生 (沖縄県) 1,884	紺谷涼太 (北海道) 1,881	田窪一翔 (青森県) 1,863
	団体戦	北海道 3,932	愛知県 3,877	東京都 3,752	和歌山県 3,693	熊本県 3,686	神奈川県 3,676	香川県 3,665	広島県 3,625
少年女子	個人戦	水谷秋穂 (愛知県) 1,902	小林 茜 (徳島県) 1,824	野仲美咲 (東京都) 1,788	鈴木波流 (静岡県) 1,768	工藤こまち (北海道) 1,753	遠藤彩香 (新潟県) 1,720	遠藤優香 (新潟県) 1,686	石田玲奈 (群馬県) 1,670
	団体戦	愛知県 3,623	東京都 3,615	京都府 3,502	佐賀県 3,477	兵庫県 3,455	徳島県 3,365	新潟県 3,347	群馬県 3,322

栄 光 の 記 録

第77回「いちご一会とちぎ国体」

順 位		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
成年男子	個人戦	斉藤 翔 (京都府) 1,956	志摩竜太郎 (埼玉県) 1,945	宮澤拓哉 (群馬県)	福満 亮 (長崎県) 1,939	藤永北斗 (熊本県) 1,865	野村経博 (鹿児島県) 1,842	山本智哉 (広島県) 1,805	脇坂裕貴 (石川県)
	団体戦 (2人チーム)	愛知A (山田・白井) 2,465	鹿児島A (久富木・日置) 2,464	青森A (中村・石岡) 2,433	三重A (高木・瀬戸) 2,426	埼玉B (寺島・今北) 2,378	神奈川A (木村・菅野) 2,365	神奈川B (畑・鶴見) 2,342	埼玉A (志摩・新城) 2,307
	団体戦 (4人チーム)	鹿児島県 4,787	山口県 4,638	和歌山県 4,612	京都府 4,593	神奈川県 4,571	群馬県 4,568	佐賀県 4,515	愛知県 4,419
成年女子	個人戦	小林 茜 (徳島県) 1,722	三原 唯 (岡山県) 1,717	高橋咲紀 (青森県) 1,705	菅野沙織 (神奈川県) 1,702	向谷美咲 (千葉県) 1,700	門田裕美 (広島県) 1,698	長尾梨沙 (福岡県) 1,687	山本菜由 (和歌山県) 1,662
	団体戦 (2人チーム)	大阪A (石本・中野) 2,329	和歌山B (伊勢川・安里) 2,285	宮城A (山田・遠藤) 2,238	滋賀A (竹山・石橋) 2,227	愛知A (山田・近藤) 2,214	千葉A (菅原・向谷) 2,208	徳島B (藤岡・鹿山) 2,192	神奈川A (菅野・大槻) 2,143
	団体戦 (4人チーム)	和歌山県 4,291	広島県 4,269	沖縄県 4,223	茨城県 4,212	新潟県 4,210	三重県 4,163	神奈川県 4,152	愛知県 3,922
少年男子	個人戦	熊 凌汰 (福岡県) 1,942	渡邊 楓 (茨城県) 1,873	須田風海音 (群馬県) 1,852	内藤広人 (静岡県) 1,787	星合一希 (徳島県) 1,773	孫 榮峻 (東京都) 1,771	座波政斗 (沖縄県) 1,708	河内唯斗 (石川県) 1,704
	団体戦	福岡県 2,380	千葉県 2,358	茨城県 2,337	徳島県 2,327	群馬県	静岡県 2,276	愛知県 2,262	沖縄県 2,245
少年女子	個人戦	渡辺希哩 (群馬県) 1,710	森 恵美 (奈良県) 1,646	井崎寛菜 (茨城県) 1,631	番井琴音 (北海道) 1,629	徳田有紀 (静岡県) 1,624	熊田菜奈海 (埼玉県) 1,611	近藤眞桜 (群馬県) 1,611	林 育美 (愛知県) 1,535
	団体戦	群馬県 2,404	北海道 2,231	大分県 2,168	茨城県 2,130	愛知県 2,114	埼玉県 2,113	奈良県 2,101	兵庫県 2,053

栄 光 の 記 録

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」

順 位		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
成年男子	個人戦	菅原 奏 岩手県 2,103	宮澤拓哉 (群馬県) 2,079	橋梅広土 (福井県) 2,009	安里秀策 (和歌山県) 1,967	志摩竜太郎 (埼玉県) 1,957	斉藤 翔 (京都府) 1,896	山本青空 (石川県) 1,893	村上一広 (熊本県) 1,879
	団体戦 (2人チーム)	滋賀B (伊吹・新畑) 2,626	神奈川A (畑・鶴見) 2,612	京都A (斉藤・立花) 2,606	神奈川B (木村・増田) 2,475	北海道A (松村・鈴木) 2,473	青森A (中村・西山) 2,466	岐阜B (石川・村瀬) 2,438	青森B (中村・石川) 2,419
	団体戦 (4人チーム)	長崎県 5,122	群馬県 5,067	青森県 4,987	和歌山県 4,961	神奈川県 4,919	埼玉県 4,896	沖縄県 4,862	岩手県 4,827
成年女子	個人戦	中野麻希 (大阪府) 1,878	石本美来 (広島県) 1,814	谷原美来 (滋賀県) 1,773	久松美穂 (静岡県) 1,720	金子智恵子 (新潟県) 1,717	大河内未来 (福島県) 1,711	野仲美咲 (東京都) 1,705	番井琴音 (北海道) 1,675
	団体戦 (2人チーム)	大阪B (石本・庭月野) 2,332	静岡A (鈴木・久松) 2,282	神奈川A (菅野・大槻) 2,230	東京A (野仲・中島) 2,228	佐賀A (笠原・伊勢川) 2,200	茨城A (工藤・鴨下) 2,145	山口B (山田・林) 2,136	鹿児島A (片野坂・片野坂) 2,119
	団体戦 (4人チーム)	大阪府 4,628	広島県 4,563	静岡県 4,410	群馬県 4,323	神奈川県 4,321	愛知県 4,306	岡山県 4,285	滋賀県 4,277
少年男子	個人戦	横内結樹 (大阪府) 2,020	田中陽貴 (佐賀県) 1,981	増田優希 (愛知県) 1,938	高橋宏輔 (茨城県) 1,913	岡田有翔 (愛知県) 1,901	渡邊 楓 (茨城県) 1,882	丸本佳一郎 (三重県) 1,866	長尾脩甫 (福岡県) 1,848
	団体戦	沖縄県 2,676	三重県 2,548	福岡県 2,506	徳島県 2,457	石川県 2,382	神奈川県 2,364	宮崎県 2,334	福島県 2,317
少年女子	個人戦	森 恵美 (奈良県) 1,875	濱崎りりあ (神奈川県) 1,778	伊藤有来 (和歌山県) 1,711	渡辺希哩 (群馬県) 1,708	近藤眞桜 (群馬県) 1,699	我孫子美葵 (宮城県) 1,680	渡辺音彩 (東京都) 1,679	種瀬楓華 (三重県) 1,653
	団体戦	三重県 2,304	群馬県 2,234	東京都 2,187	奈良県 2,182	宮城県 2,150	千葉県 2,145	埼玉県 2,135	広島県 2,094

栄 光 の 記 録

第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」

順 位		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
成 年 男 子	個人戦	長澤 棕 (静岡県) 2,086	福満 亮 (長崎県) 2,080	中村優也 (青森県) 2,072	川上 諒 (茨城県) 2,060	菅原 奏 (岩手県) 2,058	西山 響 (青森県) 2,045	鶴見亮剛 (神奈川県) 2,034	石川巧真 (岐阜県) 2,021
	団体戦 (2人チーム)	大分B (前田・桜庭) 2,800	熊本A (中川・藤永) 2,671	青森B (成田・工藤) 2,632	長崎A (福満・山下) 2,622	広島A (山本・井上) 2,612	佐賀B (枝吉・野田) 2,595	神奈川B (木村・阿部) 2,584	岐阜A (村瀬・村瀬) 2,572
	団体戦 (4人チーム)	長崎県 5,379	熊本県 5,365	静岡県 5,268	佐賀県 5,051	福岡県 5,048	東京都 5,046	神奈川県 5,036	新潟県 4,745
成 年 女 子	個人戦	石本美来 (広島県) 2,095	濱崎りりあ (神奈川県) 2,055	泉宗心音 (愛媛県) 1,988	入江菜々美 (三重県) 1,971	井崎寛菜 (茨城県) 1,957	渡辺希哩 (京都府) 1,925	増井ひかる (茨城県) 1,905	林 香織 (福島県) 1,878
	団体戦 (2人チーム)	京都A (渡辺・安田) 2,648	滋賀A (谷原・菅井) 2,608	佐賀A (伊勢川・鈴木) 2,539	熊本B (今井・中川) 2,499	群馬A (渡辺・近藤) 2,480	神奈川B (村田・菅野) 2,399	佐賀B (笠原・中島) 2,353	三重A (森・堀田) 2,246
	団体戦 (4人チーム)	岡山県 4,949	神奈川県 4,815	佐賀県 4,681	群馬県 4,680	滋賀県 4,635	和歌山県 4,539	長崎県 4,509	沖縄県 4,501
少 年 男 子	個人戦	品川圭佑 (山口県) 2,179	三苫総太 (福岡県) 2,118	松本拓也 (宮城県) 2,088	御手洗彰彦 (愛媛県) 2,063	山口直矢 (京都府) 2,043	宮城快仁 (沖縄県) 2,017	佐野裕葵矢 (山口県) 1,978	藤部飛龍 (石川県) 1,930
	団体戦	熊本県 2,705	愛知県 2,630	京都府 2,572	東京都 2,558	静岡県 2,539	茨城県 2,521	徳島県 2,515	広島県 2,508
少 年 女 子	個人戦	我孫子美葵 (宮城県) 2,003	網代羅夢 (神奈川県) 1,943	砂川舞佳 (沖縄県) 1,928	森川好葉 (三重県) 1,919	濱崎姫琉 (神奈川県) 1,859	中村結依 (青森県) 1,839	内野ひかり (千葉県) 1,810	豊田ころろ (愛知県) 1,790
	団体戦	沖縄県 2,379	三重県 2,370	神奈川県 2,296	京都府 2,220	山口県 2,208	広島県 2,198	石川県 2,166	徳島県 2,077

参考記録(種目別最高得点)

トータルピン

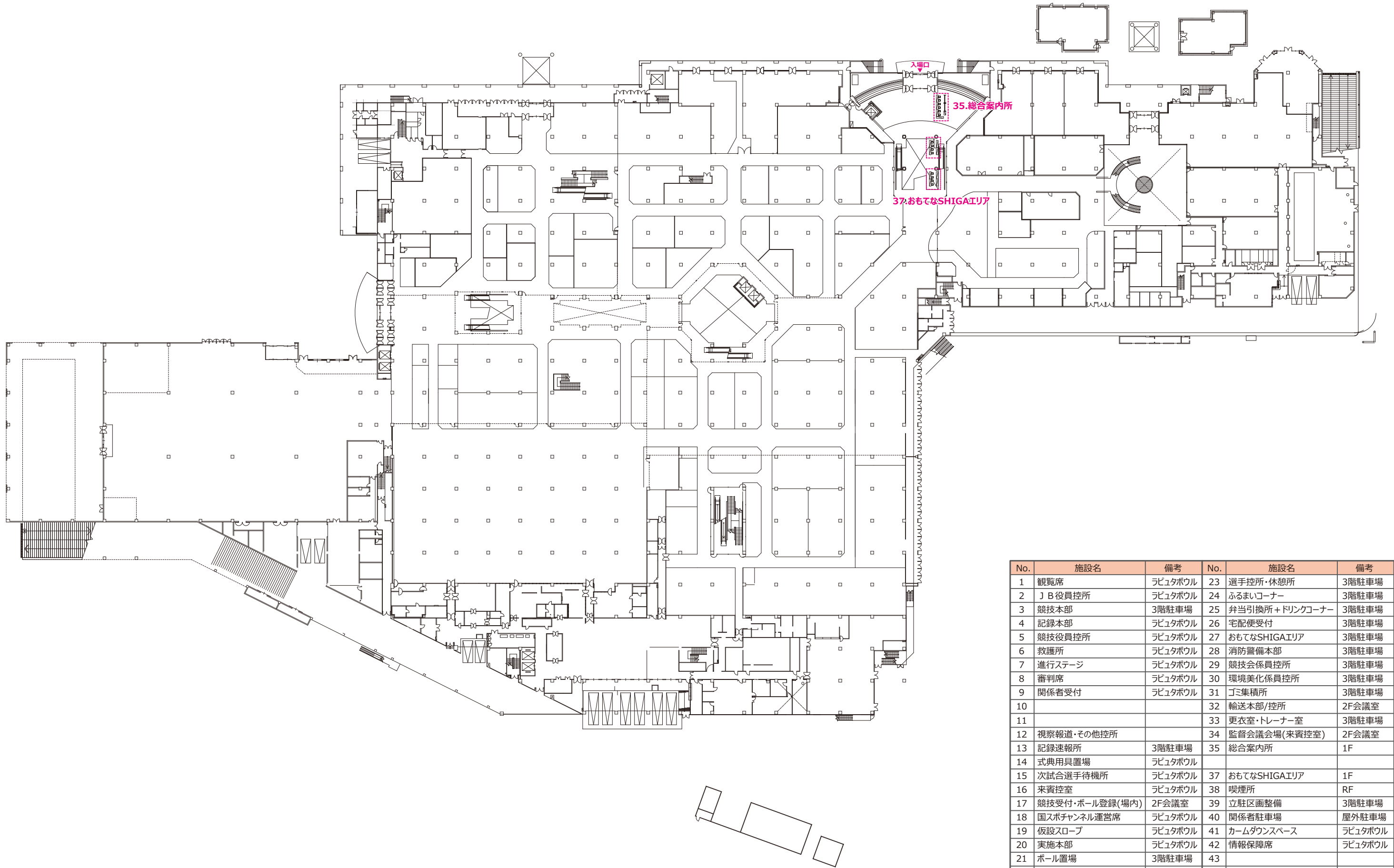
種 目			選 手 名	都道府県名	得 点		大 会 名
成年男子	年齢別個人戦	ユースの部 (29歳以下)	宮澤 國彦	埼玉県	2,140	9G	第52回なみはや国体
		ミドルの部 (30歳代)	大 秋 俊典	大分県	2,089	9G	第56回新世紀・みやぎ国体
		ハイミドルの部 (40歳代)	松崎 寿夫	岡山県	2,080	9G	第60回晴れの国岡山国体
		マスターズの部 (50歳以上)	石井 幾二夫 吉川 道夫	宮崎県 神奈川県	2,027 2,027	9G 9G	第51回ひろしま国体 第56回新世紀・みやぎ国体
	個人戦	安里 秀策	岐阜県	2,223	9G	第69回長崎がんばらば国体	
	団体戦	榎田 尚・倉岡 武志 松崎 寿夫・小林 哲幸	岡山県	7,651	9G×4	第60回晴れの国岡山国体	
	団体戦(2人)	斎藤 祐太・佐々木 智之	神奈川県	4,104	9G×2	第73回福井しあわせ元気国体	
	団体戦(2人)	前田 祐輔・桜庭 良弘	大分県	2,800	6G×2	第78回SAGA2024	
	団体戦(4人)	大月 光浩・田村 浩也 吉田 大祐・入口 光司	愛知県	5,426	6G×4	第69回長崎がんばらば国体	
	2部個人戦	杉戸 政仁	群馬県	1,896	9G	第49回わかしゃち国体	
成年女子	年齢別個人戦	ユースの部 (29歳以下)	片井 文乃	静岡県	2,013	9G	第51回ひろしま国体
		ミドルの部 (30歳代)	山下 貴子	福岡県	1,959	9G	第51回ひろしま国体
		ハイミドルの部 (40歳代)	稲津 久美子	北海道	2,022	9G	第51回ひろしま国体
		マスターズの部 (50歳以上)	長谷川 芳江	石川県	1,880	9G	第56回新世紀・みやぎ国体
	個人戦	石本 美来	広島県	2,095	9G	第78回SAGA2024	
	団体戦	金藤 由香利・阿部 公英 西村 孝美・茶谷 晴美	大阪府	7,230	9G×4	第57回よさこい高知国体	
	団体戦(2人)	中野 麻希・武部 公英	大阪府	3,958	9G×2	第69回長崎がんばらば国体	
	団体戦(2人)	渡辺 希哩・安田 明香里	京都府	2,648	6G×2	第78回SAGA2024	
	団体戦(4人)	野島 はるな・小川 智美 笹木 郁枝・久松 美穂	静岡県	5,153	6G×4	第69回長崎がんばらば国体	
	2部個人戦	白井 久美子	愛知県	1,753	9G	第49回わかしゃち国体	
少年男子	個人戦	品川 圭佑	山口県	2,179	9G	第78回SAGA2024	
	団体戦	中倉 啓太・脇坂 裕貴	石川県	4,148	9G×2	第64回トキめき新潟国体	
	団体戦	本田 陽土・林田 壮真	熊本県	2,705	6G×2	第78回SAGA2024	
少年女子	個人戦	向谷 美咲	千葉県	2,112	9G	第64回トキめき新潟国体	
	団体戦	大庭 恵莉加・中岡 知郷	三重県	3,914	9G×2	第64回トキめき新潟国体	
	団体戦	渡辺 希哩・近藤 真桜	群馬県	2,404	6G×2	第77回いちご一会とちぎ国体	

ハイゲーム

成 年 男 子	田 形 研 吾	福 岡 県	300	第45回とびうめ国体
	大 西 正 己	大 阪 府	300	第51回ひろしま国体
	富 永 尚	京 都 府	300	第52回なみはや国体
	山 下 充	山 梨 県	300	第55回2000年とやま国体
	石 川 和 樹	山 梨 県	300	第63回チャレンジ！おおいた国体
	安 里 秀 策	岐 阜 県	300	第65回ゆめ半島千葉国体
	平 塚 拓 也	群 馬 県	300	第65回ゆめ半島千葉国体
	安 里 秀 策	岐 阜 県	300	第68回スポーツ祭東京2013
	山 本 優 介	茨 城 県	300	第68回スポーツ祭東京2013
	川 上 諒	栃 木 県	300	第69回長崎がんばらば国体
	今 北 侑 吾	埼 玉 県	300	第71回希望郷いわて国体
	田 中 智 之	石 川 県	300	第73回福井しあわせ元気国体
	高 木 裕 太	三 重 県	300	第73回福井しあわせ元気国体
	清 水 嵐 太	群 馬 県	300	特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体
	村 濱 裕 紀	佐 賀 県	300	第78回SAGA2024
藤 永 北 斗	熊 本 県	300	第78回SAGA2024	
成 年 女 子	大 丸 谷 香	埼 玉 県	299	第64回トキめき新潟国体
少 年 男 子	森 本 浩 史	奈 良 県	300	第49回わかしゃち国体
	安 里 秀 策	福 岡 県	300	第63回チャレンジ！おおいた国体
	宮 澤 拓 哉	群 馬 県	300	第69回長崎がんばらば国体
	宮 脇 秀 輔	広 島 県	300	第70回紀の国わかやま国体
	高 平 沙 也 斗	愛 知 県	300	第70回紀の国わかやま国体
少 年 女 子	向 谷 美 咲	千 葉 県	300	第64回トキめき新潟国体
	松 尾 星 伽	愛 知 県	300	第65回ゆめ半島千葉国体

ハイシリーズ

成年男子	加 治 佐 崇	宮崎県	812	第69回長崎がんばらば国体
成年女子	大 丸 谷 香	埼玉県	781	第64回トキめき新潟国体
少年男子	安 里 秀 策	福岡県	775	第63回チャレンジ！おおいた国体
少年女子	渡 辺 莉 央	群馬県	777	第73回福井しあわせ元気国体



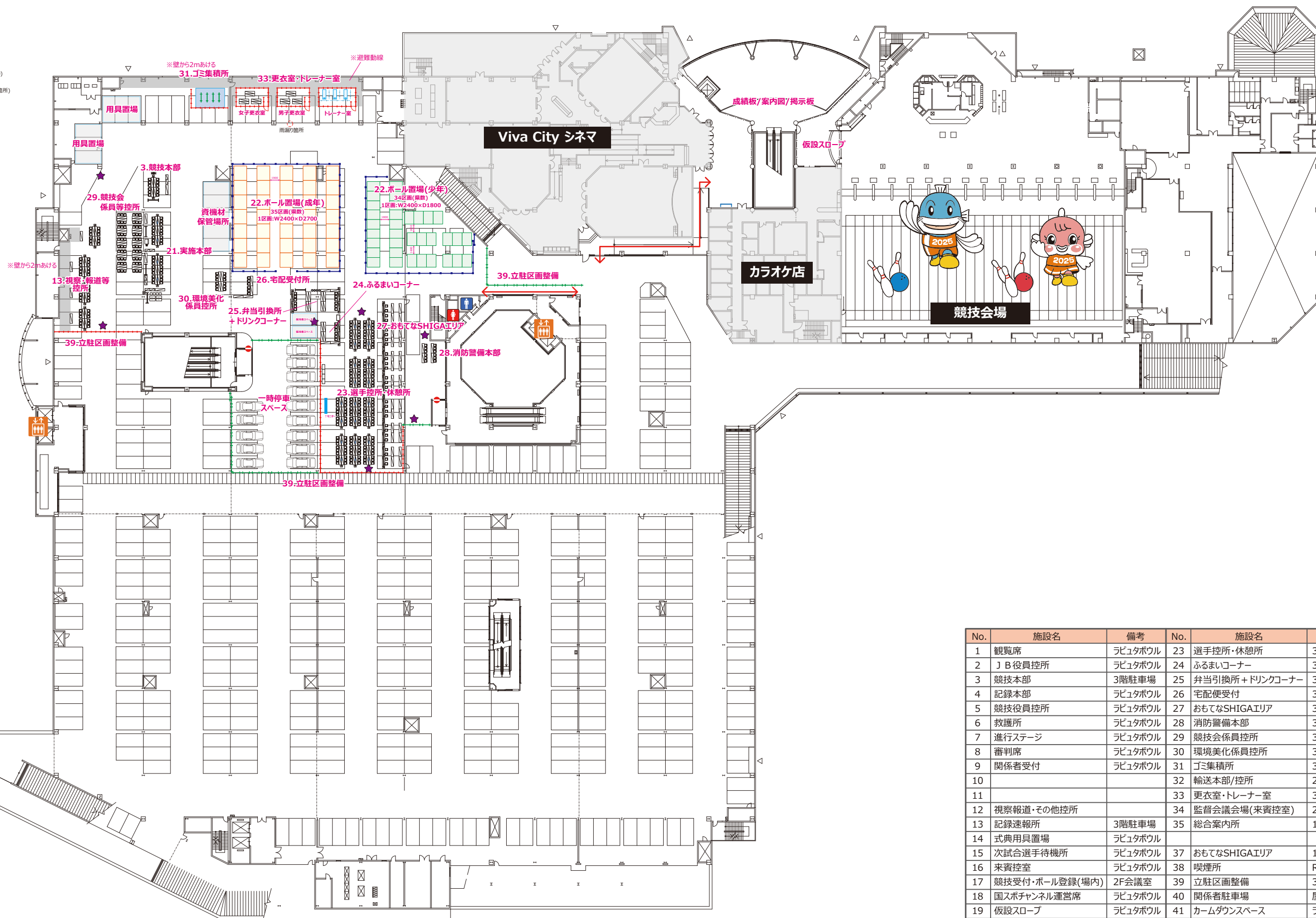
No.	施設名	備考	No.	施設名	備考
1	観覧席	ラピュタボウル	23	選手控所・休憩所	3階駐車場
2	J B 役員控所	ラピュタボウル	24	ふるまいコーナー	3階駐車場
3	競技本部	3階駐車場	25	弁当引換所+ドリンクコーナー	3階駐車場
4	記録本部	ラピュタボウル	26	宅配便受付	3階駐車場
5	競技役員控所	ラピュタボウル	27	おもてなSHIGAエリア	3階駐車場
6	救護所	ラピュタボウル	28	消防警備本部	3階駐車場
7	進行ステージ	ラピュタボウル	29	競技係員控所	3階駐車場
8	審判席	ラピュタボウル	30	環境美化係員控所	3階駐車場
9	関係者受付	ラピュタボウル	31	ゴミ集積所	3階駐車場
10			32	輸送本部/控所	2F会議室
11			33	更衣室・トレーナー室	3階駐車場
12	視察報道・その他控所		34	監督会議会場(来賓控室)	2F会議室
13	記録速報所	3階駐車場	35	総合案内所	1F
14	式典用具置場	ラピュタボウル			
15	次試合選手待機所	ラピュタボウル	37	おもてなSHIGAエリア	1F
16	来賓控室	ラピュタボウル	38	喫煙所	RF
17	競技受付・ボール登録(場内)	2F会議室	39	立駐区画整備	3階駐車場
18	国スポチャンネル運営席	ラピュタボウル	40	関係者駐車場	屋外駐車場
19	仮設スロープ	ラピュタボウル	41	カームダウンスペース	ラピュタボウル
20	実施本部	ラピュタボウル	42	情報保障席	ラピュタボウル
21	ボール置場	3階駐車場	43		
22		3階駐車場	44		

EZパネル (W900×H2100)

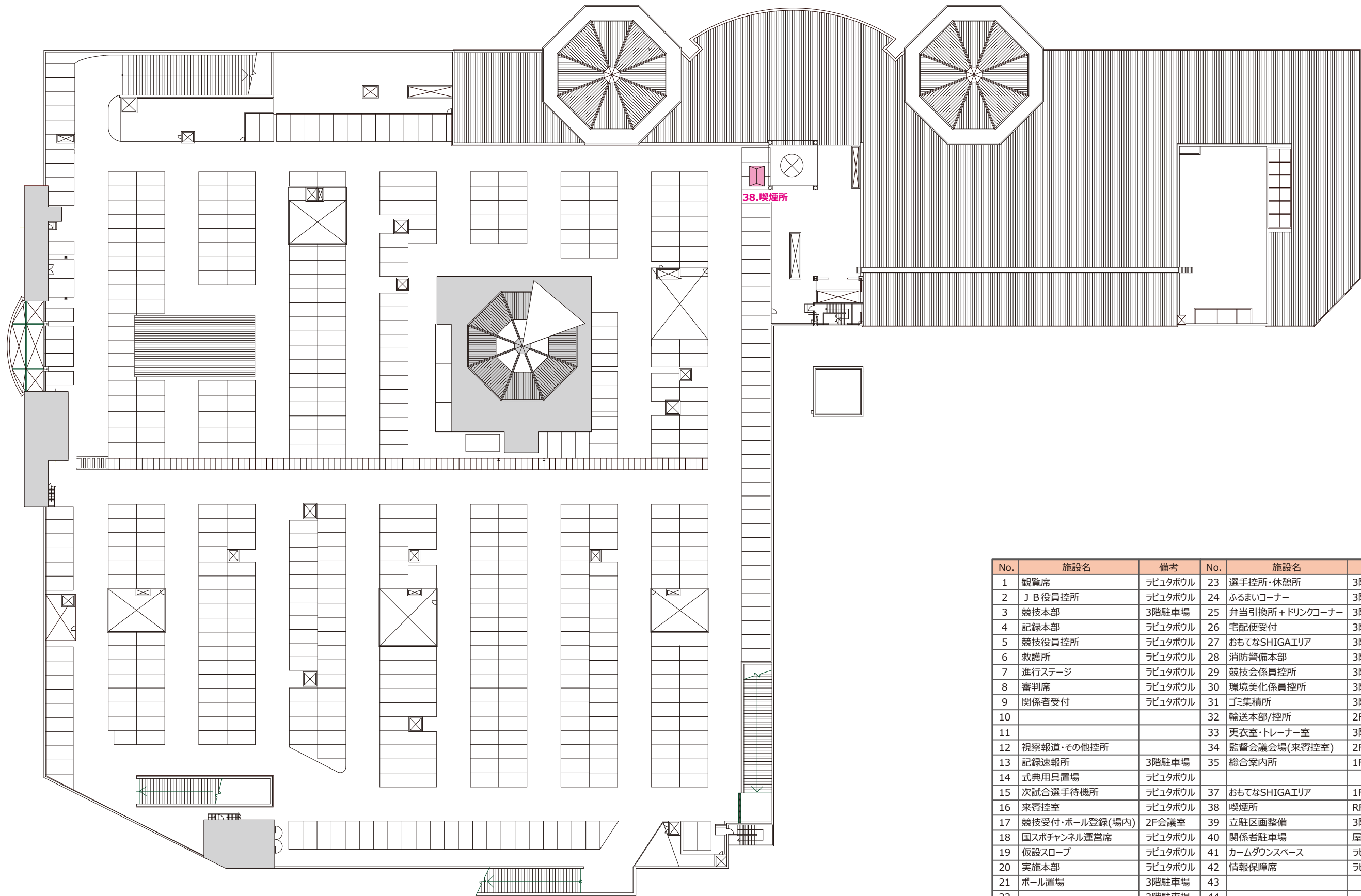
青スクリーンパーテーション (W1800)



No.	施設名	備考	No.	施設名	備考
1	観覧席	ラピタボウル	23	選手控所・休憩所	3階駐車場
2	J B 役員控所	ラピタボウル	24	ふるまいコーナー	3階駐車場
3	競技本部	3階駐車場	25	弁当引換所+ドリンクコーナー	3階駐車場
4	記録本部	ラピタボウル	26	宅配便受付	3階駐車場
5	競技役員控所	ラピタボウル	27	おもてなSHIGAエリア	3階駐車場
6	救護所	ラピタボウル	28	消防警備本部	3階駐車場
7	進行ステージ	ラピタボウル	29	競技会係員控所	3階駐車場
8	審判席	ラピタボウル	30	環境美化係員控所	3階駐車場
9	関係者受付	ラピタボウル	31	ゴミ集積所	3階駐車場
10			32	輸送本部/控所	2F会議室
11			33	更衣室・トレーナー室	3階駐車場
12	視察報道・その他控所		34	監督会議会場(来賓控室)	2F会議室
13	記録速報所	3階駐車場	35	総合案内所	1F
14	式典用具置場	ラピタボウル			
15	次試合選手待機所	ラピタボウル	37	おもてなSHIGAエリア	1F
16	来賓控室	ラピタボウル	38	喫煙所	RF
17	競技受付・ボール登録(場内)	2F会議室	39	立駐区画整備	3階駐車場
18	国スポチャンネル運営席	ラピタボウル	40	関係者駐車場	屋外駐車場
19	仮設スロープ	ラピタボウル	41	カムダウンスペース	ラピタボウル
20	実施本部	ラピタボウル	42	情報保障席	ラピタボウル
21	ボール置場	3階駐車場	43		
22		3階駐車場	44		

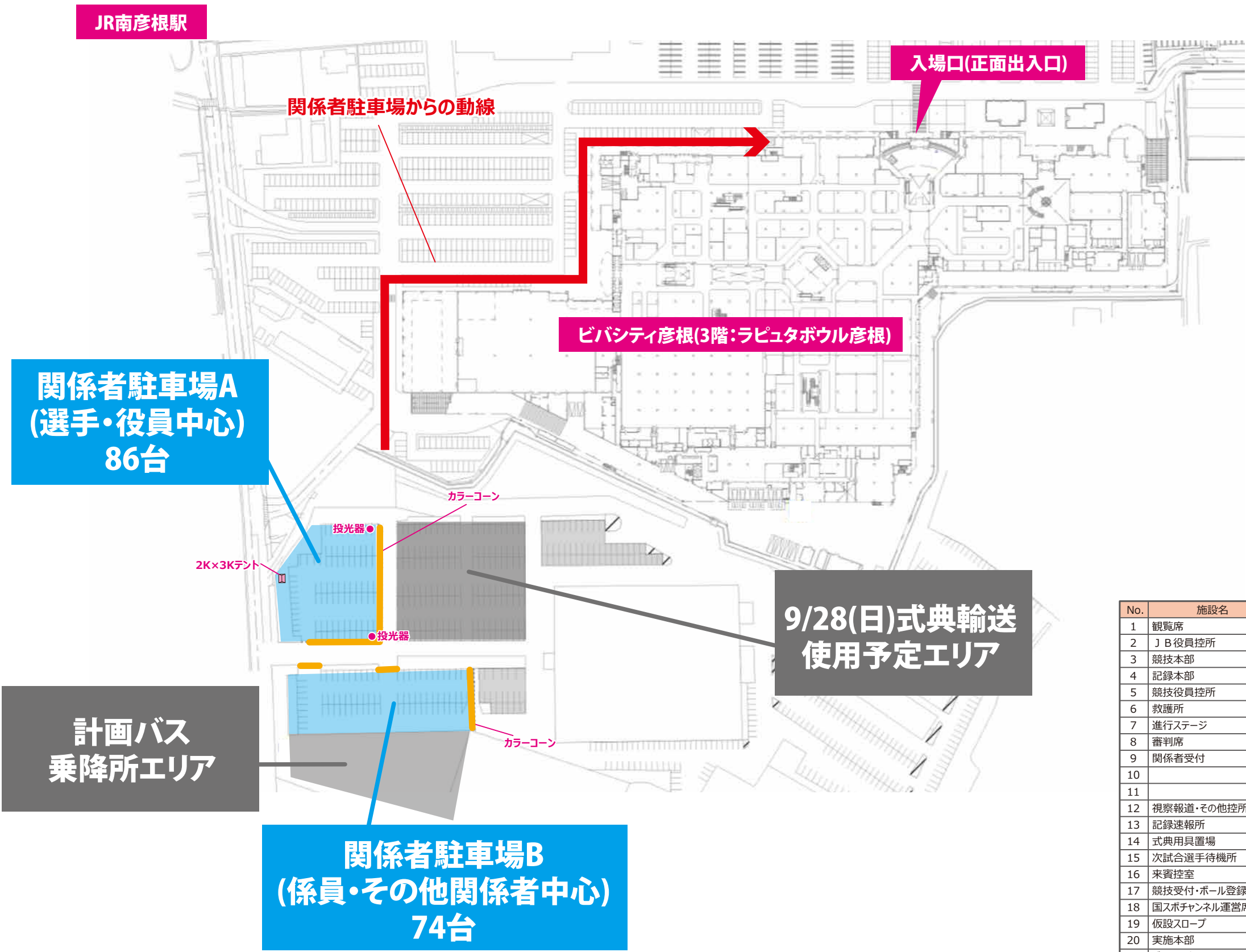


No.	施設名	備考	No.	施設名	備考
1	観覧席	ラピュタボウル	23	選手控所・休憩所	3階駐車場
2	J B 役員控所	ラピュタボウル	24	ふるまいコーナー	3階駐車場
3	競技本部	3階駐車場	25	弁当引換所＋ドリンクコーナー	3階駐車場
4	記録本部	ラピュタボウル	26	宅配便受付	3階駐車場
5	競技役員控所	ラピュタボウル	27	おもてなSHIGAエリア	3階駐車場
6	救護所	ラピュタボウル	28	消防警備本部	3階駐車場
7	進行ステージ	ラピュタボウル	29	競技会係員控所	3階駐車場
8	審判席	ラピュタボウル	30	環境美化係員控所	3階駐車場
9	関係者受付	ラピュタボウル	31	ゴミ集積所	3階駐車場
10			32	輸送本部/控所	2F会議室
11			33	更衣室・トレーナー室	3階駐車場
12	視察報道・その他控所		34	監督会議会場(来賓控室)	2F会議室
13	記録速報所	3階駐車場	35	総合案内所	1F
14	式典用具置場	ラピュタボウル			
15	次試合選手待機所	ラピュタボウル	37	おもてなSHIGAエリア	1F
16	来賓控室	ラピュタボウル	38	喫煙所	RF
17	競技受付・ボール登録(場内)	2F会議室	39	立駐区画整備	3階駐車場
18	国スポチャンネル運営席	ラピュタボウル	40	関係者駐車場	屋外駐車場
19	仮設スロープ	ラピュタボウル	41	カムダウンスペース	ラピュタボウル
20	実施本部	ラピュタボウル	42	情報保障席	ラピュタボウル
21	ボール置場	3階駐車場	43		
22		3階駐車場	44		



No.	施設名	備考	No.	施設名	備考
1	観覧席	ラピュタボウル	23	選手控所・休憩所	3階駐車場
2	J B 役員控所	ラピュタボウル	24	ふるまいコーナー	3階駐車場
3	競技本部	3階駐車場	25	弁当引換所＋ドリンクコーナー	3階駐車場
4	記録本部	ラピュタボウル	26	宅配便受付	3階駐車場
5	競技役員控所	ラピュタボウル	27	おもてなSHIGAエリア	3階駐車場
6	救護所	ラピュタボウル	28	消防警備本部	3階駐車場
7	進行ステージ	ラピュタボウル	29	競技会係員控所	3階駐車場
8	審判席	ラピュタボウル	30	環境美化係員控所	3階駐車場
9	関係者受付	ラピュタボウル	31	ゴミ集積所	3階駐車場
10			32	輸送本部/控所	2F会議室
11			33	更衣室・トレーナー室	3階駐車場
12	視察報道・その他控所		34	監督会議会場(来賓控室)	2F会議室
13	記録速報所	3階駐車場	35	総合案内所	1F
14	式典用具置場	ラピュタボウル			
15	次試合選手待機所	ラピュタボウル	37	おもてなSHIGAエリア	1F
16	来賓控室	ラピュタボウル	38	喫煙所	RF
17	競技受付・ボール登録(場内)	2F会議室	39	立駐区画整備	3階駐車場
18	国スポチャンネル運営席	ラピュタボウル	40	関係者駐車場	屋外駐車場
19	仮設スロープ	ラピュタボウル	41	カームダウンスペース	ラピュタボウル
20	実施本部	ラピュタボウル	42	情報保障席	ラピュタボウル
21	ボール置場	3階駐車場	43		
22		3階駐車場	44		

40.関係者駐車場



No.	施設名	備考	No.	施設名	備考
1	観覧席	ラピュタボウル	23	選手控所・休憩所	3階駐車場
2	J B 役員控所	ラピュタボウル	24	ふるまいコーナー	3階駐車場
3	競技本部	3階駐車場	25	弁当引換所+ドリンクコーナー	3階駐車場
4	記録本部	ラピュタボウル	26	宅配便受付	3階駐車場
5	競技役員控所	ラピュタボウル	27	おもてなSHIGAエリア	3階駐車場
6	救護所	ラピュタボウル	28	消防警備本部	3階駐車場
7	進行ステージ	ラピュタボウル	29	競技会係員控所	3階駐車場
8	審判席	ラピュタボウル	30	環境美化係員控所	3階駐車場
9	関係者受付	ラピュタボウル	31	ゴミ集積所	3階駐車場
10			32	輸送本部/控所	2F会議室
11			33	更衣室・トレーナー室	3階駐車場
12	視察報道・その他控所		34	監督会議会場(来賓控室)	2F会議室
13	記録速報所	3階駐車場	35	総合案内所	1F
14	式典用具置場	ラピュタボウル			
15	次試合選手待機所	ラピュタボウル	37	おもてなSHIGAエリア	1F
16	来賓控室	ラピュタボウル	38	喫煙所	RF
17	競技受付・ボール登録(場内)	2F会議室	39	立駐区画整備	3階駐車場
18	国スポチャンネル運営席	ラピュタボウル	40	関係者駐車場	屋外駐車場
19	仮設スロープ	ラピュタボウル	41	カームダウンスペース	ラピュタボウル
20	実施本部	ラピュタボウル	42	情報保障席	ラピュタボウル
21	ボール置場	3階駐車場	43		
22		3階駐車場	44		

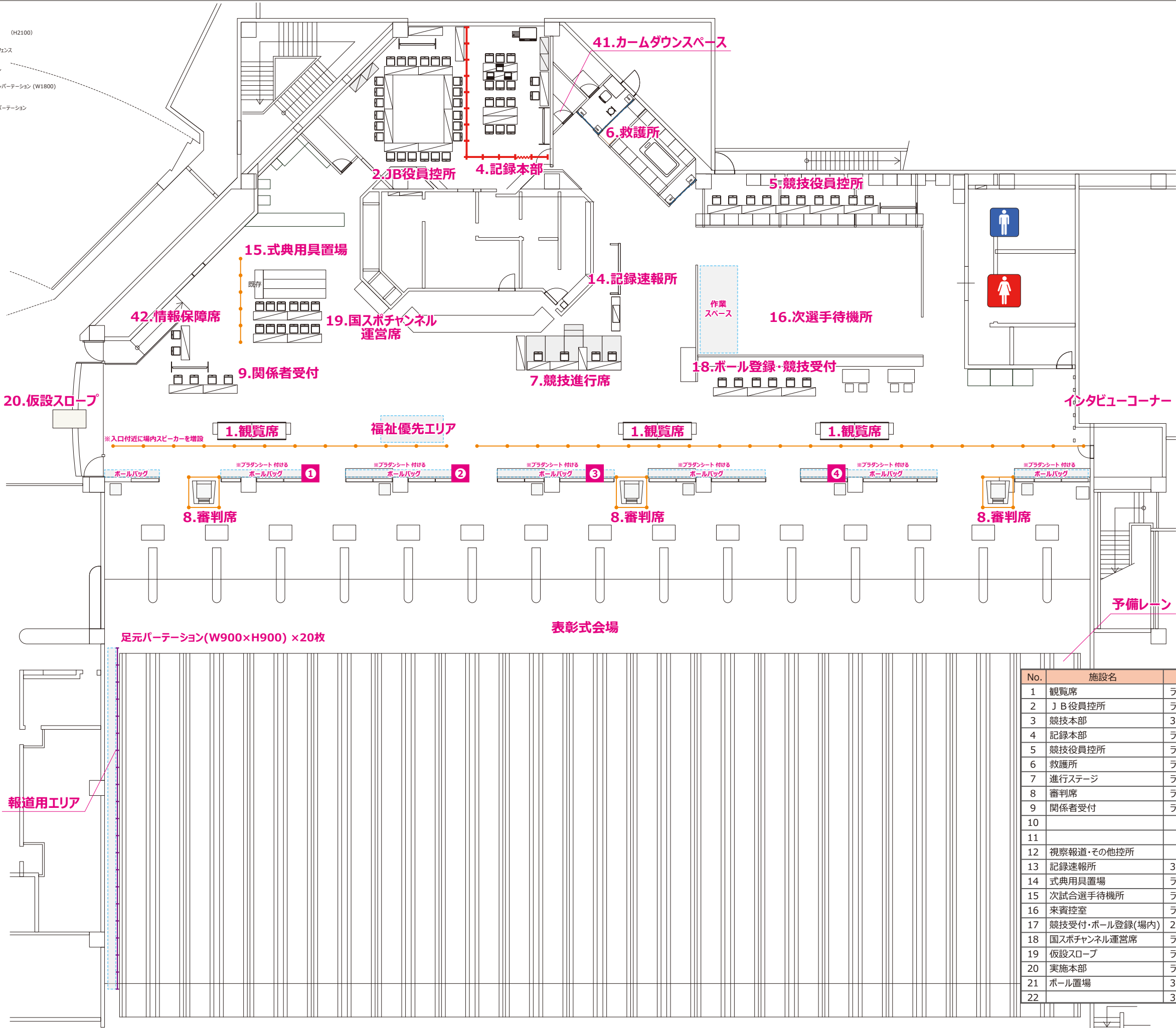
- EZパネル (H2100)

イレクターフェンス

カラーコーン

背スグリーンパーテーション (W1800)

ベルトインパーテーション



No.	施設名	備考	No.	施設名	備考
1	観覧席	ラビュタボウル	23	選手控所・休憩所	3階駐車場
2	J B 役員控所	ラビュタボウル	24	ふるまいコーナー	3階駐車場
3	競技本部	3階駐車場	25	弁当引換所+ドリンクコーナー	3階駐車場
4	記録本部	ラビュタボウル	26	宅配便受付	3階駐車場
5	競技役員控所	ラビュタボウル	27	おもてなSHIGAエリア	3階駐車場
6	救護所	ラビュタボウル	28	消防警備本部	3階駐車場
7	進行ステージ	ラビュタボウル	29	競技会係員控所	3階駐車場
8	審判席	ラビュタボウル	30	環境美化係員控所	3階駐車場
9	関係者受付	ラビュタボウル	31	ゴミ集積所	3階駐車場
10			32	輸送本部/控所	2F会議室
11			33	更衣室・トレーナー室	3階駐車場
12	視察報道・その他控所		34	監督会議会場(来賓控室)	2F会議室
13	記録速報所	3階駐車場	35	総合案内所	1F
14	式典用具置場	ラビュタボウル			
15	次試合選手待機所	ラビュタボウル	37	おもてなSHIGAエリア	1F
16	来賓控室	ラビュタボウル	38	喫煙所	RF
17	競技受付・ボール登録(場内)	2F会議室	39	立駐区画整備	3階駐車場
18	国スポチャンネル運営席	ラビュタボウル	40	関係者駐車場	屋外駐車場
19	仮設スロープ	ラビュタボウル	41	カムダウンスペース	ラビュタボウル
20	実施本部	ラビュタボウル	42	情報保障席	ラビュタボウル
21	ボール置場	3階駐車場	43		
22		3階駐車場	44		

PROJECT.

わたSHIGA輝く国スポ

SUBJECT.

わたSHIGA輝く国スポ ボウリング競技 本大会
ラビュタボウル 会場配置図

SCALE. 1/200
SIZE. A3

DATE. 2025.09.16



関係機関 連絡先一覧

◇実施本部事務局

名称	施設住所	電話番号	FAX 番号
わた SHIGA 輝く国スポ・障 スポ 実行委員会事務局	〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目 2-1	077-528- 3349	077-528- 4836

◇競技会場

名称	施設住所	電話番号
ラピュタボウル彦根	〒522-0044 滋賀県彦根市竹ノ鼻町 43 番地の 1 (ビバシティ3階)	0749-27-5590

◇警察・消防など

分類	名称	電話番号
警察	彦根警察署	0749-27-0110
消防・救急	彦根消防本部	0749-22-0337
保健所	彦根保健所	0749-22-1770

◇救急医療機関

名称	URL	QR コード
医療情報ネット(ナビイ)	https://www.shiga.iryonavi.jp/qqport/kenmintop/ (厚生労働省サイト)	

◇配宿センター・輸送センター

名称	電話番号
わた SHIGA 輝く国スポ 配宿センター	077-510-1370
わた SHIGA 輝く国スポ 輸送デスク	077-528-3349

◇国スポ関連SNS

大会ホームページ	Instagram	X (旧 Twitter)	YouTube
			



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN  GAMES を応援しています。



大塚製薬



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメント^{など}）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPPO

Japan Sport Association



NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント
(暴力・暴言・ハラスメントなど) に、
みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書>>



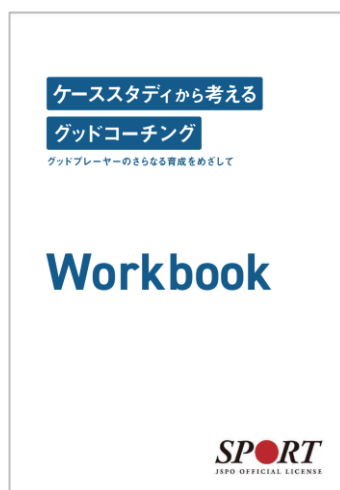
『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPO

Japan Sport Association

グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

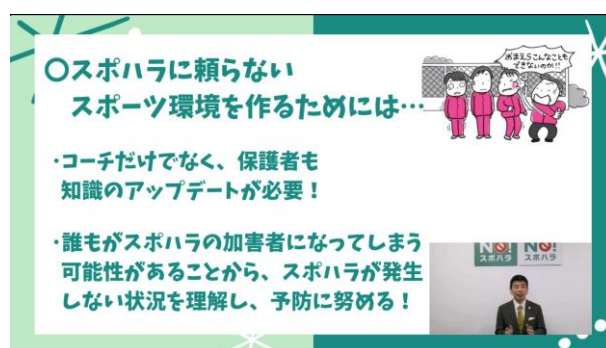


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

JAPAN GAMESパートナー（JSPO）



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

JAPAN GAMESパートナー（SHIGA）

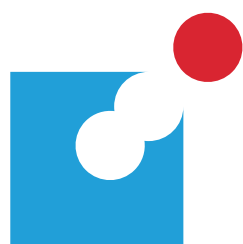
SEKISUI



滋賀銀行



平和堂



綾羽

muRata

協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

JAPAN GAMESパートナー（SHIGA）

'TORAY'



SGH文化スポーツ振興財団

Nitto



協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

オフィシャルスポンサー

大和証券

Daiwa Securities



高分子素材のハード&ソフトメーカー

甲賀高分子株式会社



NTT西日本



ISHIDA

HORIBA



日本軽金属ケル-7°

日軽/パネルシステム 滋賀日軽

HEISHIN



食材データバンク

フジノ食品



JAグループ滋賀

公益財団法人

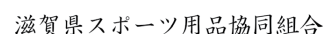
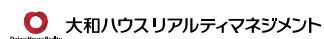
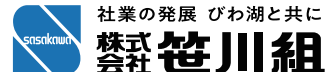
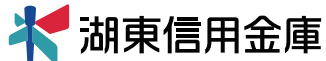


平和堂財団

協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

オフィシャルスポンサー



協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

オフィシャルサプライヤー



トヨタ モビリティ滋賀株式会社



ネットトヨタびわこ株式会社



滋賀日産自動車

日産プリンス滋賀販売株式会社



株式会社 京滋マツダ



滋賀スバル自動車株式会社

株式会社スズキ自販滋賀



Honda Cars 滋賀南



Honda Cars 滋賀東



株式会社 アスタリスク



全国マツダ労働組合連合会



協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

オフィシャルサプライヤー



たね也

協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

大会協力企業

- | | | |
|-----------------------|-----------------------------|--------------------|
| ■滋賀県生活協同組合連合会 | ■三井化学株式会社 | ■滋賀県遊技業協同組合 |
| ■びわ湖放送株式会社 | ■日本体育施設株式会社 | ■株式会社セブン-イレブン・ジャパン |
| ■株式会社エフエム滋賀 | ■たち建設株式会社 | ■JAレーク滋賀 |
| ■株式会社ルイ高 | ■住友生命保険相互会社滋賀支社 | ■JAこうか |
| ■一般社団法人滋賀県警備業協会 | ■株式会社あいむ | ■JAグリーン近江 |
| ■近江鍛工株式会社 | ■株式会社山久 | ■JA滋賀蒲生町 |
| ■一般社団法人滋賀県造園協会 | ■セコム株式会社 | ■JA東能登川 |
| ■げんさん | ■株式会社Liam | ■JA湖東 |
| ■ニッポンレンタカー関西株式会社 | ■日本生命保険相互会社滋賀支社 | ■JA東びわこ |
| ■株式会社中広 | ■リコージャパン株式会社 滋賀支社 | ■JAレーク伊吹 |
| ■株式会社activo | ■キャノンマシナリー株式会社 | ■JA北びわこ |
| ■株式会社山正 | ■アインズ株式会社 | ■JAバンク滋賀信連 |
| ■株式会社ファミリーマート | ■株式会社アダムスセキュリティ | ■JA全農しが |
| ■株式会社誠進堂 | ■株式会社UACJ押出加工滋賀 | ■JA共済連滋賀 |
| ■高木メリヤス株式会社 | ■株式会社サンセブン エグズ | |
| ■MARUGO株式会社 | ■株式会社ユタカファーマシー | |
| ■積水多賀化工株式会社 | ■AZUSA SKIN&WELLNESS CLINIC | |
| ■野村證券株式会社 大津支店 | ■琵琶湖汽船株式会社 | |
| ■ヤマジックス株式会社 | ■花キューピット 滋賀支部 | |
| ■株式会社ディーソル | ■日野精機株式会社 | |
| ■株式会社IHI回転機械エンジニアリング | ■バイオエックス株式会社 | |
| ■株式会社ディーアクト | ■滋賀県司法書士会 | |
| ■株式会社滋賀松風 | ■キッコーマン食品株式会社 | |
| ■トラヤ商事株式会社 | ■株式会社ジーテクト | |
| ■共栄工業株式会社 | ■株式会社ホテルクス | |
| ■株式会社Grape Marketing | ■東洋紡株式会社 | |
| ■JNCファイバース株式会社 | ■アマナエレン株式会社 | |
| ■株式会社聖心製作所 | ■近江印刷株式会社 | |
| ■日本中央競馬会栗東トレーニング・センター | ■新旭電子工業株式会社 | |
| ■株式会社尾賀亀 | ■サカタインクス株式会社 | |
| ■東洋化学株式会社 | ■村井建設株式会社 | |

協賛企業・団体一覧

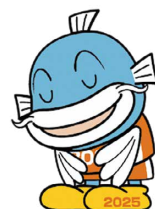
令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

募金者一覧

- | | | |
|------------------|------------------------|-------------------|
| ■綾羽株式会社 | ■関西電力株式会社 | ■湖北工業株式会社 |
| ■滋賀県ゴルフ場協会 | ■滋賀運送株式会社 | ■公益財団法人日母おぎやー献金基金 |
| ■株式会社滋賀銀行 | ■株式会社SCREENホールディングス | ■三菱ロジスネクスト株式会社 |
| ■公益財団法人河本文教福祉振興会 | ■京滋信用組合 | ■白井商事株式会社 |
| ■株式会社関西みらい銀行 | ■有限会社竜王興産 | |
| ■JAグループ滋賀 | ■彦根ライオンズクラブ | |
| ■株式会社奥田工務店 | ■滋賀建機株式会社 | |
| ■株式会长栄 | ■株式会社アヤハレークサイドホテル | |
| ■ツルタホールディングス株式会社 | ■新江州株式会社 | |
| ■株式会社桑原組 | ■大幸生コン株式会社 | |
| ■株式会社大山建設 | ■大戸警備保障株式会社 | |
| ■株式会社内田組 | ■株式会社ビュー | |
| ■アース製薬株式会社 | ■株式会社MURANAGA | |
| ■株式会社伊藤組 | ■株式会社アクト | |
| ■株式会社コスモネット | ■株式会社秋村組 | |
| ■アヤハ不動産株式会社 | ■西嶋 栄治 | |
| ■株式会社アヤハディオ | ■高島鋳建株式会社 | |
| ■伊藤忠商事株式会社 | ■大阪ガス株式会社 | |
| ■フジテック株式会社 | ■馬場 貴也 | |
| ■河本 英典 | ■株式会社来来亭 | |
| ■公益財団法人平和堂財団 | ■株式会社メタルアート | |
| ■金山 昭夫 | ■株式会社ホリゾン | |
| ■株式会社山崎砂利商店 | ■滋賀中央信用金庫 | |
| ■朝日電器株式会社 | ■株式会社佐藤医科器械製作所 | |
| ■滋賀倉庫土地株式会社 | ■杉橋建設株式会社 | |
| ■株式会社叶匠寿庵 | ■日本生命保険相互会社 | |
| ■旭化成株式会社守山製造所 | ■株式会社水研設備 | |
| ■山田運送株式会社 | ■株式会社ビルディング・コンサルタントワイズ | |
| ■奥田 秀 | ■大塚オーミ陶業株式会社 | |
| ■平山 正 | ■TOPPAN株式会社 | |
| ■株式会社山久 | ■ダイキン工業株式会社 | |

多額の募金をいただいた方を掲載しています。

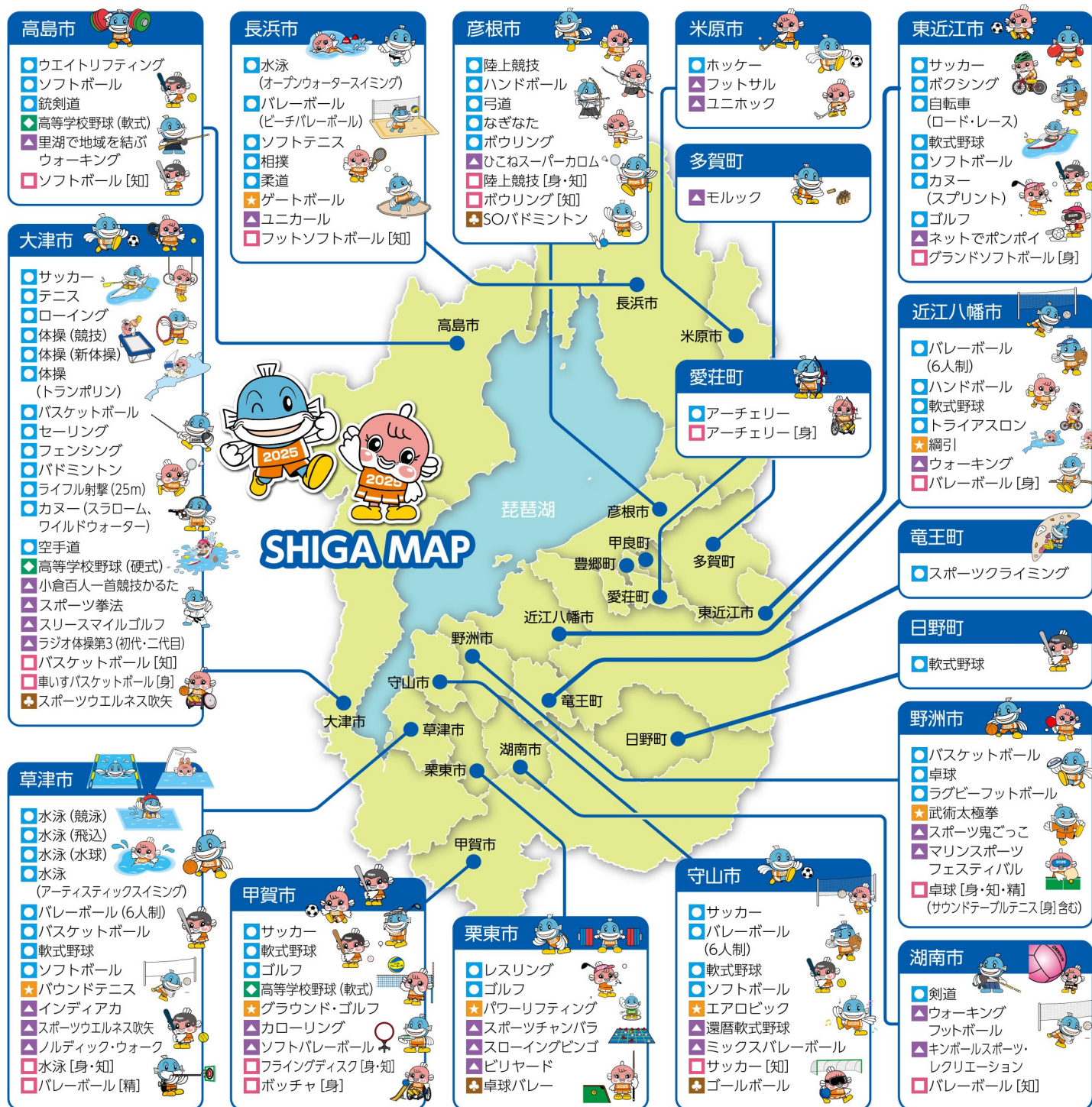
このほか、多くの企業・団体・個人の皆様にご協力をいただいております。



This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在



国民スポーツ大会

- 正式競技 (37競技)
 ◆ 特別競技 (1競技)
 ★ 公開競技 (7競技)
 ▲ デモンストラティオンスポーツ (26競技)

全国障害者スポーツ大会

- 正式競技(14競技) オープン競技(4競技)

[身] = 身体障害者 [知] = 知的障害者 [精] = 精神障害者

※国スポ競技会の詳細については各競技会場市町にお問合せください。
※所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

県外開催競技

京都府

- 
自転車
 (トラック・レース)

大阪府

- 豊能都能勢町
- ライフル射撃
(50m、10m、BR・BP)
- 

兵庫県

- 三木市
- 馬術
- 

びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

国スポ実施期間 令和7年 9月28日(日)～10月8日(水) [11日間開催]

国入会期前実施競技 令和7年9月6日(土)～9月15日(月)、令和7年9月21日(日)～9月25日(木)

障スポ実施期間 令和7年10月25日(土)～10月27日(月) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから!

滋賀2025

檢 索

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

大会 PR
動画を公開！



X



大会HP



- 用 紙:責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC® 認証用紙
- インキ:植物油インキを使用

競技記録結果

わたSHIGA輝く国スポ（正式・特別・公開）
競技記録結果速報URL

▽PC・スマホURL

<https://kirokukensaku.net/5NS25/index.html>



▽フィーチャーフォンURL

<http://kirokukensaku.net/5NS25/mob/index.html>



競技記録結果（競技団体）

公益財団法人 JAPAN BOWLING 試合速報Facebook

▽URL

<https://www.facebook.com/jbcscore/>



JAPAN
GAMES

国スポチャンネル

37の正式競技の
決勝戦を中心に
「国スポチャンネル」で配信！



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会